

平成 25 年度
修士論文

公立美術館における劇場的空間・活動に関する研究



指導教員 大月 淳准教授

三重大学大学院工学研究科建築学専攻
馬込 慶太

三重大学大学院 工学研究科

目次

第1章 序章

1-1 研究背景

1-2 研究の目的

1-3 研究方法

1-3-1 用語の定義

1-3-2 研究の構成

1-3-3 分析方法

第2章 公立美術館における劇場的空間（ハード）

2-1 本章の概要

2-1-1 本章の目的

2-1-2 分析方法

2-2 公立美術館における空間の機能と形式

2-2-1 空間の機能

2-2-2 空間の形式

2-3 各施設の特性と劇場的空間の関連性

2-4 劇場的空間と施設属性との関係

2-5.まとめ

第3章 公立美術館における劇場的活動（ソフト）

3-1 本章の概要

3-1-1 本章の目的

3-1-2 分析方法

3-2 劇場的活動のジャンルと形式

3-3 施設の開館時間と劇場的活動の実施時間

3-4 劇場的活動の料金

3-5 まとめ

第4章 公立美術館における劇場的活動（ソフト）

と劇場的空間（ハード）の相関性

4-1 本章の概要

4-1-1 本章の目的

4-1-2 分析方法

4-2 劇場的活動における劇場的空間

4-3 劇場的空間とジャンルと形式の相関性

4-4 劇場的空間と実施時間の相関性

4-5 劇場的空間と開館時間の相関性

4-6 劇場的空間と料金体系の相関性

4-7 まとめ

第5章 金沢 21 世紀美術館における劇場的活動

5-1 本章の概要

5-1-1 本章の目的

5-1-2 分析方法

5-2 金沢 21 世紀美術館における開館時間

5-3 劇場的活動の企画主催者

5-5 まとめ

第6章 総括

・謝辞

第 1 章

序論

1-1 研究背景

1-2 研究の目的

1-3 研究方法

1-3-1 用語の定義

1-3-2 研究の構成

1-3-3 分析方法

1-1 研究の背景

経済成長期においては所謂「ハコ」もの行政ため自治体において公立美術館が多く建設されたが、バブル経済崩壊以後は公立美術館もその影響を受け、財政面での縮小化や自治体内の美術館・博物館と統廃合、入場者数の減少など今日においても様々な運営状況の厳しさが言われて久しい。

更に近年の公共施設全体の兆候として、指定管理制度の導入など、民間事業者のノウハウを活用し、多様化する住民ニーズに円滑に対応することが必要となっている。公立美術館においてもそれは例外ではなく、開かれた施設を目指し、なおかつ各館が入館者増に貢献するような独自性を持った活動をしていく必要性がある。

一方で、美術館内で実施する展覧会の様相も時代の移り変わりと共に変貌を遂げている。コンピューター技術やプロジェクターの導入などの新技術の発達と普及、また弛まぬアーティストによる表現の追及により、美術館における展示・企画はより多面的で空間的な演出を可能にした。例えばインスタレーションやアートパフォーマンスは空間自体を展示に置き換える体験的展示手法が採用されている。

展覧会以外でも、美術館を舞台とする様々なイベント活動自体も多様化している。展覧会に関連するイベントとして講演会やワークショップなどが行われているが、直接的には展覧会と関係のない子供向けのイベントや茶会の開催、あるいはギャラリーで行われるコンサート、演劇などの開催も多くみられるようになった。

美術以外でも音楽・演劇・舞踊などの芸術を取り入れることで、芸術表現・理解の幅を広げることに繋がるが、美術館における役割が拡張しているともいえる。

1-2 研究の目的

このような美術、音楽、ダンス等のジャンルがある種融解していくような芸術をめぐる状況に対して、活動の器である建築においても従来の美術館とは異なるあり方が望まれよう。本研究では、一般的には劇場で行われる活動である実演芸術・芸能が美術館において実施されうる空間－劇場的空間－を有しうるかを探り、更に実施している実演芸術・芸能－劇場的活動－の状況を分析することを通じて、劇場的空間と劇場的活動の対応の在り方を明らかにし、今後の美術館を計画するにあたっての知見を得ることを目的とする。

1-3 研究方法

1-3-1 用語の定義

まず本研究で取り上げる用語の定義を行う。

『美術館』: 博物館法^{*注}上の美術博物館であり、博物館の内の一つ、特に美術作品に特化したものを指す。本研究では「登録博物館」の「美術博物館」とするものを取り上げ、その中でも運営主体を地方公共団体とするものを「公立美術館」とする。

『劇場』: 「実演芸術・芸能を上演・鑑賞を主たる目的とすることが施設。舞台と客席を基本空間要素とする。

『劇場的空間』: 実演芸術・芸能に係る活動の行われる劇場以外の空間。

『劇場的活動』: 劇場以外で行われる実演芸術・芸能に係る活動。

『劇場性』: 劇場的空間における空間形式面での劇場との近似性。劇場に近いものを「劇場性の強い空間」とする。

注) 博物館は博物館法上の博物館である所管地域の教育委員会で博物館法に基づいて登録を受けた「登録博物館」、それに準じた法制上の扱いを受ける「博物館相当施設」、博物館法の適用外となる「博物館類似施設」の3つに分かれる。

1-3-2 研究の構成

本研究は図 1-3-1 で示すように 6 章で構成する。まず 1 章で序論を示し、後に 2 章で公立美術館における劇場的空間（ハード）劇場建築の観点から分類し、劇場的空間の整備状況について検証し、3 章において実際に公立美術館で行われている劇場的活動（ソフト）の性質について言及する。4 章ではそれらの活動が実施される会場空間を取り上げ、劇場的活動の性質と空間の相関関係を検証する。

以上の傾向を踏まえて、5 章では特殊事例である金沢 21 世紀美術館における劇場的活動と空間の特性についての言及し、6 章で総括する。

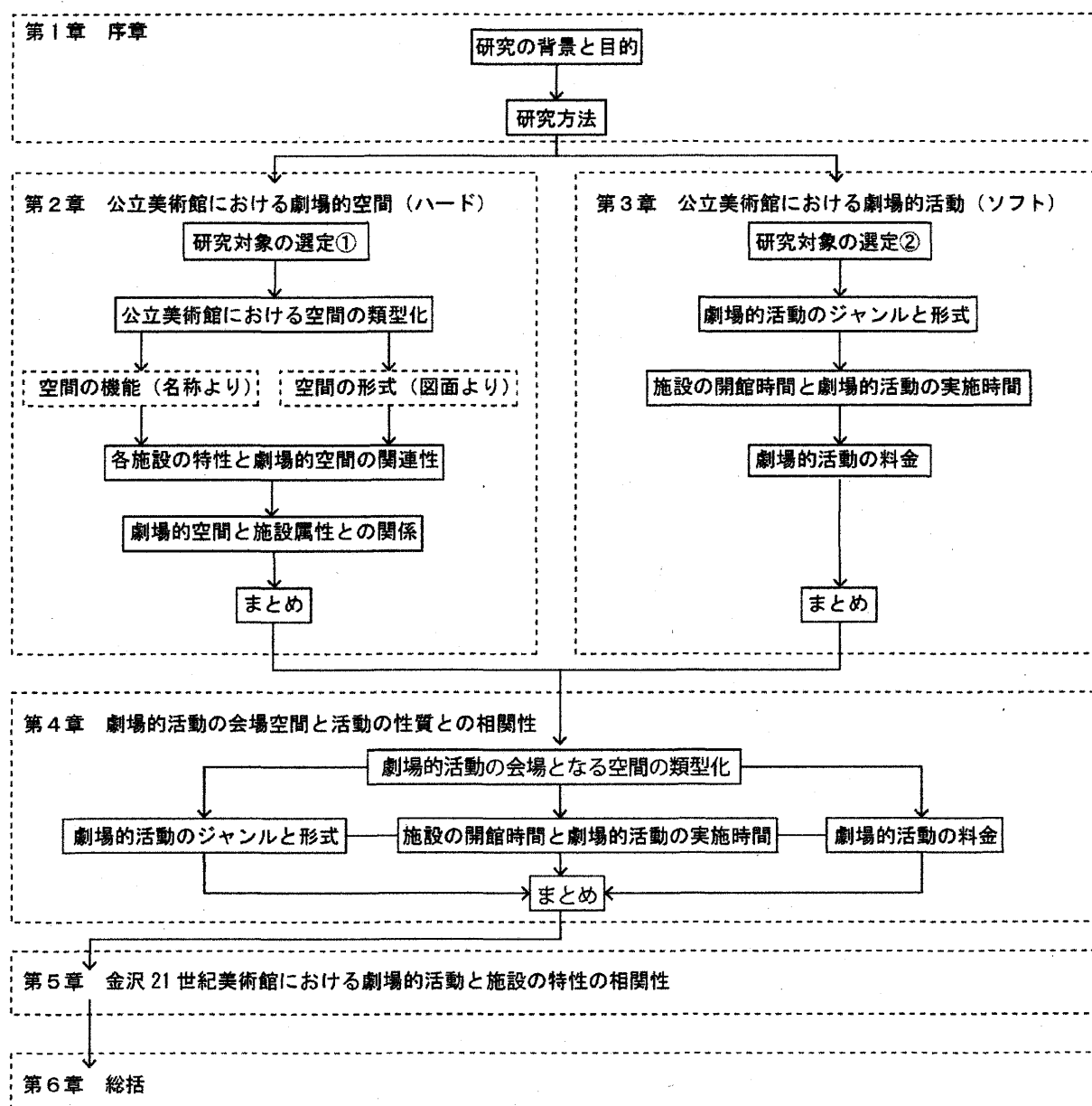


図 1-3-1 研究の流れ

1-3-3 分析方法

本研究において研究対象の抽出にあたり、まず全国の公立美術館が加盟する美術館連絡協議会名簿を用いる。2012年10月現在、加盟施設135のうち建築雑誌「新建築」に掲載されている施設59を本研究の対象として選定する。対象施設の属性（竣工年、延床面積、階数）を表1-3-1に示す。

表 1-3-1 研究対象施設属性

施設名称	竣工年	延床面積	地上階数	地下階数	施設名称	竣工年	延床面積	地上階数	地下階数
1 北海道立近代美術館	1977	8737	3	1	31 長野県信濃美術館	1989	1698	2	なし
2 北海道立帯広美術館	1991	3426	2	1	32 飯田市美術博物館	1988	4938	2	1
3 北海道立三好好太郎美術館	1983	1201	2	1	33 松本市美術館	2002	9174	4	なし
4 札幌芸術の森美術館	1990	2561	2	なし	34 静岡県立美術館	1986	9247	2	なし
5 青森県立美術館	2005	21133	3	2	35 名古屋市美術館	1987	7125	2	1
6 十和田市現代美術館	2008	2078	2	なし	36 豊田市美術館	1995	11238	3	2
7 宮城県美術館	1981	10597	2	1	37 岡崎市美術博物館	1996	6444	2	1
8 福島県立美術館	1984	9879	2	1	38 三重県立美術館	1982	8036	2	1
9 茨城県近代美術館	1988	10502	2	1	39 滋賀県立近代美術館	1983	8544	2	1
10 茨城県陶芸美術館	1999	6751	2	1	40 京都府京都文化博物館	1988	15287	7	1
11 宇都宮美術館	1996	9388	2	1	41 兵庫県立美術館	2001	27461	4	なし
12 群馬県立近代美術館	1974	7976	3	なし	42 姫路市立美術館	1982	3841	2	なし
13 群馬県立館林美術館	2000	6856	2	なし	43 芦屋市立美術博物館	1990	3530	2	なし
14 埼玉県立近代美術館	1982	8577	3	1	44 和歌山県立近代美術館	1994	18705	2	1
15 千葉県立美術館	1976	7470	2	1	45 島根県立美術館	1998	12499	2	なし
16 佐倉市立美術館	1994	5137	5	2	46 岡山県立美術館	1987	14270	4	2
17 東京都美術館	1975	31943	2	3	47 広島市現代美術館	1988	9291	2	2
18 東京都現代美術館	1994	33515	3	3	48 山口県立美術館	1979	5327	2	1
19 東京都江戸東京博物館	1992	48001	7	1	49 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	1991	11414	4	1
20 世田谷美術館	1985	8223	2	1	50 愛媛県美術館	1998	10921	3	1
21 目黒区美術館	1987	4059	3	1	51 高知県立美術館	1993	11724	3	1
22 町田市立国際版画美術館	1986	7840	3	1	52 北九州市立美術館	1974	7864	4	2
23 神奈川県立近代美術館	1984	1600	2	1	53 福岡市美術館	1979	14526	2	なし
24 横浜美術館	1989	26829	8	1	54 長崎県美術館	2005	9898	3	なし
25 川崎市市民ミュージアム	1988	19543	3	1	55 熊本県立美術館	1976	6814	3	1
26 横須賀美術館	2006	12095	2	2	56 大分市美術館	1998	9085	2	なし
27 富山県立近代美術館	1980	8181	3	1	57 宮崎県立美術館	1995	10333	3	1
28 高岡市美術館	1993	9237	2	1	58 沖縄県立博物館・美術館	2007	23722	4	1
29 金沢21世紀美術館	2004	28160	2	2	59 浦添市美術館	1989	3361	2	1
30 福井市美術館	1996	5263	3	1					

第 2 章

公立美術館における劇場的空間（ハード）

2-1 本章の概要

2-1-1 本章の目的

2-1-2 分析方法

2-2 公立美術館における空間の機能と形式

2-2-1 空間の機能

2-2-2 空間の形式

2-3 各施設の特性と劇場的空間の関連性

2-4 劇場的空間と施設属性との関係

2-5 まとめ

2-1 本章の概要

2-1-1 本章の目的

本章では既存の公立美術館における実演芸術・芸能（ライブパフォーマンス）を上演・鑑賞することが可能である劇場的空間になり得る空間—潜在的劇場的空間—の整備状況を把握し、それらの性質について知見を得ることを目的とする。

2-1-2 分析方法

本章では新建築および各施設における美術館ホームページ若しくは関連自治体ホームページ（以下公式 HP）掲載の平面図に記された室及びそれ以外の空間（以下まとめて空間とする）を抽出し、それらを美術館が備えるべき機能と空間の形式より分類を設定し、その成果と各施設の属性（竣工年、延床面積）を用いる。

本章の構成は、2-2 では空間を機能と形式についての分類を定義し、2-3 で施設ごとの特性と分類した空間の関係について言及し、2-4 で特に劇場性が強い空間に関しての特性を施設ごとの属性との相関を用いてより詳細に言及し、2-5 で章まとめとする。

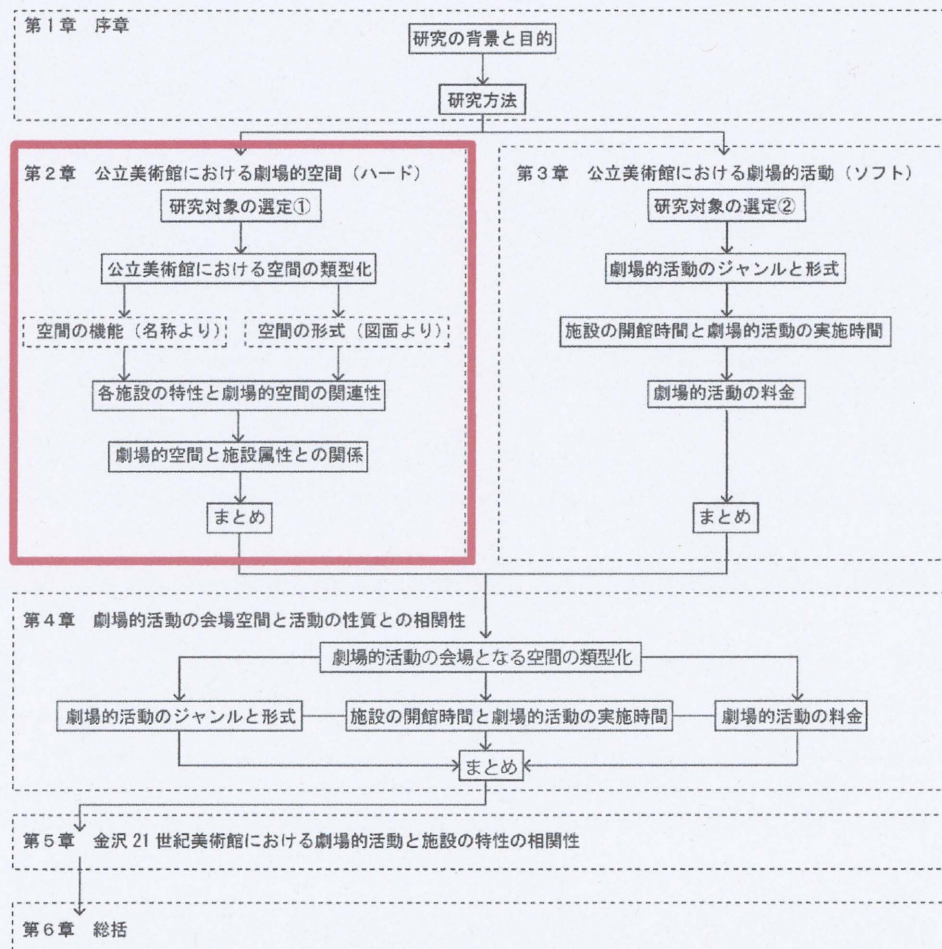


図 2-1-1 研究の流れ

2-2 公立美術館における空間の機能と形式

2-2-1 空間の機能

ここでは分析に当たって平面図に記された空間の名称を用いる。文部省告示第164条「公立博物館の設置および運営に関する基準」には設置すべき部門の基準が示されている。

1) 収蔵部門、2) 展示部門、3) 教育・普及・情報部門、4) 調査・研究部門、5) 管理・共用部門の5つである。

それを参考に収蔵と管理などの機能を除外し、劇場的空間に成り得る空間の機能として以下の5つを設定する。

展示機能：常設・企画を含むさまざまな展示を行うことが前提とされている機能、

学習機能：講義・講習等学習が前提とされている機能、

上映機能：映像表現の上映が前提とされている機能、

創作機能：創作活動が前提とされている機能、

集会機能：その他複数の人員が集まって使用することが前提とされている機能とする。

表 2-2-1 に平面図中の空間名称とその機能との対応を示す。

表 2-2-1 空間名称と機能の対応

展示機能 53種類 合計:450	学習機能 17種類 合計82	上映機能 17種類 合計31	創作機能 38種類 合計:218	集会機能 131種類 合計:383
一般展示室 インсталेशनルーム 金山平三記念館 カブーアの部屋 上條信山記念展示室 企画ギャラリー 企画の常設展示室 企画展示室 ギャラリー 郷土工芸展示室 展示室 区民ギャラリー グランドギャラリー 現代美術展示室 県民ギャラリー 小磯良平記念室 小出権重アトリエ 古墳展示室 コレクションギャラリー	装飾古墳室 大展示室 公募展示室 高橋節郎ロビー 谷内六郎館 田村一男記念展示室 タレルの部屋 特別展示室 両国ポンプ室 展覧会場 日本展示室 博物館常設展示室 春草記念室 版画展示室 プラネタリウム プロムナードギャラリー フロントプラザ 棟方志功展示室 ...	ガイダンスルーム 教室 教養講座室 研究室 研究資料室 研究図書室 研修室 講義室 講義室 講義室 講義室 講義室 国際交流室 セミナールーム 特別会議室 レクチャーホール レクチャーホール ...	AVコーナー AV室 AVブース 映写室 映像ギャラリー 映像室 映像ホール 視聴覚コーナー 視聴覚室 プロジェクションギャラリー ハイビジョン・シアター ハイビジョン・ギャラリー ハイビジョンホール ビデオギャラリー ビデオコーナー ミニホール ...	アートライブラリー アートラウンジ アトリエ 科学工作室 キッズスタジオ キッズルーム 窯業室 工房 子供アトリエ 子供創作室 作業室 県民アトリエ 研究・工作室 工作室 工作修復室 子供創作室 子供のアトリエ 撮影室 実技学習室 創作室 創作の広場 彫塑・工芸室 版画・印刷工房 版画興賢 標本作製室 ふれあい体験室 保存修復室 ボランティアスペース ボランティアルーム ワークショップ室 実技研修室 実技指導教室 実験工房 彫塑室 スタジオ 造形室 造形スタジオ 彫刻家のアトリエ 2階エントランスホール エントランスポーチ 2階ロビー エントランスホール エントランスロビー アトリエ アトリウム アトリエブリッジ アトリエロビー アプローチ アプローチグッド アプローチテラス アプローチ広場 アプローチプラザ アリスの庭 アレコホール 受付ホール 基ホール 運河劇場 エスプラナード エスプロムナード ...

表 2-2-2（左半分）に対象施設において抽出された空間を各機能別に分類して集計したものを記す。まず機能別空間数に関しては各施設によって大きなばらつきがあることが分かり、それらの平均値をみると展示機能と集会機能が多くを占め、次いで創作機能、学習機能、上映機能の順であることが分かる。

表 2-2-2 対象施設における機能・形式別空間数

番号	施設名	空間数	機能別空間数					形式別空間数				
			展示	学習	上映	創作	集会	i	ii	iii	iv	v
1	北海道立近代美術館	15	4	2	1	4	4	1	0	2	10	2
2	北海道立帯広美術館	7	3	1	0	0	3	0	1	2	3	1
3	北海道立三好太郎美術館	11	6	0	1	1	3	0	0	4	7	0
4	札幌芸術の森美術館	9	1	1	0	1	6	0	0	4	3	2
5	青森県立美術館	34	22	0	1	7	4	1	0	7	24	2
6	十和田市現代美術館	23	18	0	0	1	4	0	0	2	13	8
7	宮城県美術館	24	8	2	0	5	9	1	0	6	14	3
8	福島県立美術館	15	8	3	0	2	2	0	1	2	12	0
9	茨城県近代美術館	15	4	2	0	1	8	0	1	7	6	1
10	茨城県陶芸美術館	13	6	2	0	0	5	0	1	5	5	2
11	宇都宮美術館	9	4	1	0	1	3	0	1	4	4	0
12	群馬県立近代美術館	19	5	1	1	4	8	0	1	8	8	2
13	群馬県立館林美術館	20	5	1	0	4	10	0	1	7	8	4
14	埼玉県立近代美術館	20	10	0	2	2	6	0	1	8	8	3
15	千葉県立美術館	17	8	0	0	6	3	0	0	2	13	2
16	佐倉市立美術館	13	5	0	1	0	7	0	1	7	4	1
17	東京都美術館	41	23	2	0	8	8	0	1	8	28	4
18	東京都現代美術館	28	8	3	1	3	13	0	1	7	16	4
19	東京都江戸東京博物館	20	7	3	1	2	7	0	2	9	9	0
20	世田谷美術館	23	10	3	0	8	2	0	1	5	16	1
21	目黒区美術館	13	4	1	1	3	4	0	0	3	7	3
22	町田市立国際版画美術館	14	4	1	0	5	4	0	1	5	8	0
23	神奈川県立近代美術館	15	3	0	0	3	9	0	1	5	6	3
24	横浜美術館	30	13	1	0	7	9	1	0	13	11	5
25	川崎市市民ミュージアム	21	4	3	3	7	4	0	1	3	16	1
26	横須賀美術館	25	13	0	0	7	5	0	0	5	16	4
27	富山県立近代美術館	10	2	2	0	1	5	0	0	4	6	0
28	高岡市美術館	17	10	0	1	3	3	0	0	5	10	2
29	金沢21世紀美術館	34	15	1	0	8	10	1	1	7	21	4
30	福井市美術館	21	8	1	0	8	4	0	1	5	12	3
31	長野県信濃美術館	20	8	1	1	0	10	0	0	6	11	3
32	飯田市美術博物館	16	6	1	0	6	3	0	2	4	10	0
33	松本市美術館	26	8	1	0	9	8	0	1	7	16	2
34	静岡県立美術館	24	9	1	1	2	11	1	2	8	9	4
35	名古屋市美術館	26	8	1	1	4	12	0	3	7	9	7
36	豊田市美術館	24	8	1	2	4	9	1	2	11	8	2
37	岡崎市美術博物館	11	2	2	1	4	2	0	1	5	5	0
38	三重県立美術館	18	9	2	0	3	4	0	1	4	11	2
39	滋賀県立近代美術館	13	5	1	0	2	5	0	2	5	5	1
40	京都府京都文化博物館	8	2	1	2	0	3	0	1	1	4	2
41	兵庫県立美術館	30	17	3	0	5	5	1	0	5	16	8
42	姫路市立美術館	6	3	1	0	0	2	0	1	3	2	0
43	芦屋市立美術博物館	11	4	2	0	1	4	0	1	4	5	1
44	和歌山県立近代美術館	15	7	1	1	2	4	0	0	5	9	1
45	島根県立美術館	19	7	2	1	3	6	1	0	6	10	2
46	岡山県立美術館	18	8	2	0	2	6	1	0	5	10	2
47	広島市現代美術館	21	7	0	0	4	10	1	0	6	9	5
48	山口県立美術館	15	6	2	0	2	5	0	1	6	8	0
49	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	19	3	0	0	9	7	1	0	7	9	2
50	愛媛県美術館	19	6	3	2	1	7	0	1	8	8	2
51	高知県立美術館	20	3	1	1	5	10	1	0	9	9	1
52	北九州市立美術館	21	4	3	0	6	8	0	1	9	8	3
53	福岡市美術館	29	12	3	0	6	8	1	0	7	20	1
54	長崎県美術館	25	9	3	0	3	10	1	0	9	11	4
55	熊本県立美術館	36	14	1	2	4	15	0	0	4	20	12
56	大分市美術館	28	8	1	1	1	17	1	0	11	7	9
57	宮崎県立美術館	21	8	2	1	6	4	0	1	3	16	1
58	沖縄県立博物館・美術館	29	11	2	0	7	9	1	0	13	12	3
59	浦添市美術館	20	7	1	0	5	7	0	1	5	11	3
平均値		19.7	7.6	1.4	0.5	3.7	6.5	0.3	0.7	5.8	10.4	2.5
i) 屋内における、客席と舞台(奥行き3間以上)を有する空間 ii) 屋内における、客席と舞台(奥行き3間以下)を有する空間 iii) 屋内における、それ以外の室としての空間 iv) 屋内における、玄関ホール、廊下等の共有空間 v) 平面図に名称が記された屋外空間												

2-2-2 空間の形式

ここでは抽出された空間について、その形式において劇場性の強さに従い以下のように分類する。

- i) 屋内における、客席と舞台（奥行き3間以上）を有する空間（図2-2-1）
- ii) 屋内における、客席と舞台（奥行き3間未満）を有する空間（図2-2-2）
- iii) 屋内における、それ以外の室としての空間（図2-2-3）
- iv) 屋内における、玄関ホール、廊下等の共有空間（図2-2-4）
- v) 平面図に名称が記された屋外空間（図2-2-5）とする。

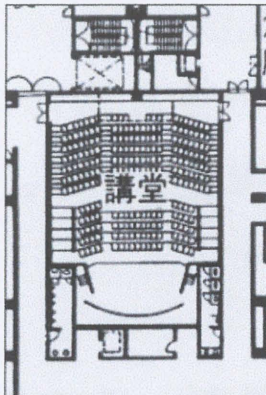


図2-2-1 i 例
(北海道近代美術館講堂)

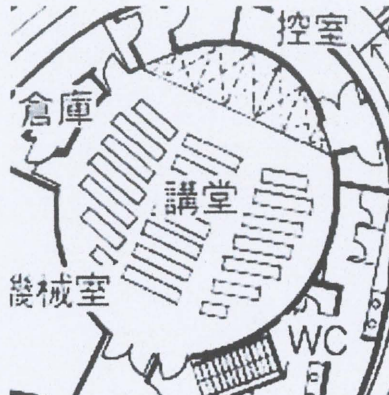


図2-2-2 ii 例
(福井市美術館講堂)

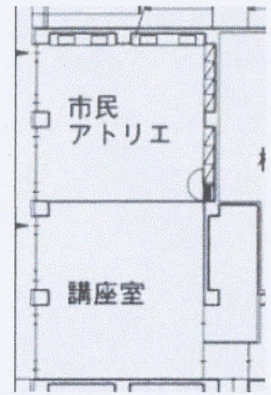


図2-2-3 iii 例 (松本市美術館
市民アトリエ・講座室)

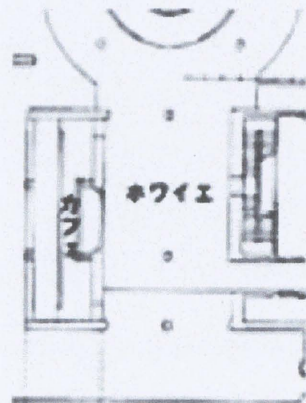


図2-2-4 iv 例 (兵庫県立美術館ホワイエ)

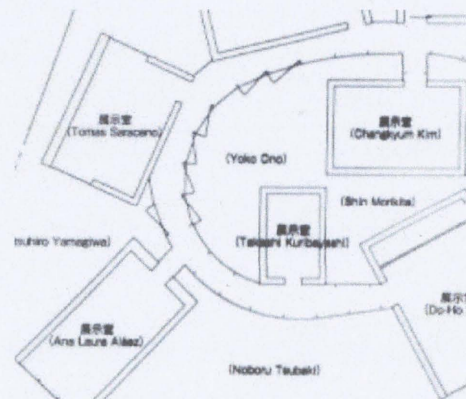


図2-2-5 v 例 (十和田市現代美術館屋外展示空間)

また、i と ii の項目は順に美術館にありながら順に劇場性の強い空間である。表3（右半分）に対象施設における空間を各形式別に分類して集計したものを記す。

ここからivが最も多く、次いでiii・vとなり、劇場性の強い空間であるiとiiは少ないことがわかる。

2-3 各施設の特性と劇場的空間の関連性

まず表1で挙げた対象施設の竣工年と延床面積について注目する。表2-3-1において、竣工年代を10年ごとにまとめた。年代別施設数については1980年代・1990年代のものが多く、これらは全国的に美術館として開設された施設数の動向と同様³であることが分かる。延床面積については1980年代に一旦減少するが全般的に年代を追うごとに大きくなる傾向である。

表 2-3-1 対象施設における機能・形式別空間数の竣工年代別平均値

竣工年代	施設数	延床面積(m ²)	空間数	機能別空間数					形式別空間数				
				展示	学習	上映	創作	集会	i	ii	iii	iv	v
1970年代	8	11332	24.1	9.5	1.8	0.5	5.0	7.4	0.3	0.5	5.8	14.4	3.3
1980年代	23	8812	17.4	6.4	1.3	0.5	3.2	6.0	0.2	0.9	5.2	9.0	2.1
1990年代	19	12062	17.1	5.7	1.4	0.7	2.8	6.4	0.3	0.7	6.2	8.0	1.9
2000年代	9	15620	27.3	13.1	1.2	0.1	5.7	7.2	0.6	0.3	6.9	15.2	4.3
全体平均値(合計施設数59)		11239	19.7	7.6	1.4	0.5	3.7	6.5	0.3	0.7	5.8	10.4	2.5

次に竣工年代別に機能からの空間分類についてみると、2000年代は展示機能・創作機能が他の年代に比べて多く、これは延床面積の増加に伴うものとも判断できるが、近年の展示スペースの多様化が反映しているものとも考えられる。また、上映機能はどの年代においても平均1以下であり、全般的に数自体が多くはないがとりわけ2000年代に少ない。映像技術の一般化により、上映機能を室名に冠する必要性がなくなったことが理由として考えられる。

形式からの空間分類に関しては、最も劇場性の強いiは2000年代に多く、一方iiは1980年代に多く、2000年代には最も低い。劇場的空間に成り得る空間の中で劇場性の強いiとiiの設置においてiiからiへの移行の傾向を見ることができる。また廊下などの共用空間であるivは1970年代、2000年代が残りの年代に比べて高い値であり、また屋外空間であるvは2000年代が高いことが分かる。これは施設規模を反映するものだと思われる。

続いて表 2-3-2 において建物の延床面積の規模を 5000 m²ごとにまとめた。

表 2-3-2 対象施設における機能・形式別空間数の延床規模別の平均値

延床面積規模	施設数	竣工年平均	空間数	機能別空間数					形式別空間数				
				展示	学習	上映	創作	集会	i	ii	iii	iv	v
～5000m ²	11	1989	13.7	5.7	0.8	0.3	1.9	5.0	0.0	0.6	3.8	7.1	2.2
5001m ² ～10000m ²	26	1988	18.8	6.8	1.3	0.5	3.5	6.7	0.2	0.8	5.8	9.3	2.7
10001m ² ～15000m ²	11	1992	21.2	7.3	1.6	0.6	4.5	7.2	0.6	0.5	6.7	11.5	1.9
15001m ² ～20000m ²	3	1990	14.7	4.3	1.7	2.0	3.0	3.7	0.0	0.7	3.0	9.7	1.3
20001m ² ～	8	1996	30.8	14.5	1.9	0.4	5.9	8.1	0.6	0.6	8.6	17.1	3.8
全体平均値(合計施設数59)		1990	19.7	7.6	1.4	0.5	3.7	6.5	0.3	0.7	5.8	10.4	2.5

延床面積の規模ごとに見ると、まず空間数に関しては 20000 m²以上のものが最も多いが延床面積規模に対応して増加しているわけではない。空間の機能については展示、学習、創作、集会機能に関して 20000 m²以上の空間数の平均値が大きく、概ね規模に比例し、上映機能に関してはそれがない。

これから延床面積の規模が増加に伴い様々な機能の充実を図るが、上映機能に関してはその限りではないことが考えられる。空間の形式については i・ii などの劇場性の強い空間に関しては規模に関して比例関係は見られず、それ以外の空間の割合に関しては概ね比例関係がみられる。

2-4 劇場的空間と施設属性との関係

前章における空間の形式の分類で i、ii にあたるより劇場性の強い空間を持つ施設を抽出し、その属性と併せて各施設の竣工年順に並べたものを表 2-4-1 に示す。

表 2-4-1 空間形式 i 及び ii の空間を有する施設

番号	施設名	年代	竣工年	延床面積	階数	空間名称	学習	上映	集会	i	ii	
12	群馬県立近代美術館	1970年代	1974	7976	2	講堂	1	-	-	-	1	
52	北九州市立美術館		1974	7864	B1	講堂	1	-	-	-	1	
17	東京都美術館		1975	31943	B1	講堂	1	-	-	-	1	
55	熊本県立美術館		1976	6814	2	講堂	1	-	-	-	1	
1	北海道立近代美術館		1977	8737	2	講堂	1	-	-	1	-	
48	山口県立美術館	1980年代	1979	5327	1	レクチャールーム	1	-	-	-	1	
53	福岡市立美術館		1979	14526	1	ホール	-	-	1	1	-	
7	宮城県美術館		1981	10597	1	講堂	1	-	-	1	-	
14	埼玉県立近代美術館		1982	8577	2	講堂視聴覚室	-	1	-	-	1	
38	三重県立美術館		1982	8036	1	講堂	1	-	-	-	1	
42	姫路市立美術館		1982	3841	2	講堂	1	-	-	-	1	
39	滋賀県立近代美術館		1983	8544	1	講堂	1	-	-	-	1	
8	福島県立美術館		1984	9879	1	講堂	1	-	-	-	1	
23	神奈川県立近代美術館		1984	1600	1	講堂	1	-	-	-	1	
20	世田谷美術館		1985	8223	1	講堂	1	-	-	-	1	
22	町田市立国際版画美術館		1986	7840	1	講堂	1	-	-	-	1	
34	静岡県立美術館		1986	9247	1	講堂	1	-	-	1	-	
35	名古屋市美術館		1987	7125	2	講堂	1	-	-	-	1	
46	岡山県立美術館		1987	14270	2	ホール	-	-	1	1	-	
9	茨城県近代美術館		1988	10502	B1	講堂	1	-	-	-	1	
25	川崎市市民ミュージアム		1988	19543	1	映像ホール	-	1	-	-	1	
32	飯田市美術館		1988	4938	2	講堂	1	-	-	-	1	
40	京都府京都文化博物館		1988	15287	3	映像ホール	-	1	-	-	1	
47	広島市現代美術館		1988	9291	B1	スタジオミュージアム	-	-	1	1	-	
24	横浜美術館		1989	26829	1	レクチャーホール	1	-	-	1	-	
59	浦添市美術館		1989	3361	1	講堂	1	-	-	-	1	
43	芦屋市立美術館	1990年代	1990	3530	1	講義室	1	-	-	-	1	
2	北海道立帯広美術館		1991	3426	1	講堂	1	-	-	-	1	
49	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館		1991	11414	2	ミュージアムホール	-	-	1	1	-	
19	東京都江戸東京博物館		1992	48001	1	映像ホール	-	1	-	-	1	
"	"		"	48001	1	ホール	-	-	1	-	1	
51	高知県立美術館		1993	11724	1	美術館ホール	-	-	1	1	-	
16	佐倉市立美術館		1994	5137	4	ハイビジョンホール	-	1	-	-	1	
18	東京都現代美術館		1994	33515	B2	講堂	1	-	-	-	1	
36	豊田市美術館		1995	11238	1	講堂	1	-	-	1	-	
57	宮崎県立美術館		1995	10333	1	ハイビジョンギャラリー	-	1	-	-	1	
11	宇都宮美術館		1996	9388	1	講義室	1	-	-	-	1	
30	福井市美術館		1996	5263	3	講堂	1	-	-	-	1	
37	岡崎市美術館		1996	6444	1	セミナールーム	1	-	-	-	1	
45	島根県立美術館		1998	12499	M2	多目的ホール	-	-	1	1	-	
50	愛媛県美術館		1998	10921	1	講堂	1	-	-	-	1	
56	大分市美術館		1998	9085	2	ハイビジョンホール	-	1	-	1	-	
10	茨城県陶芸美術館		1999	6751	1	多目的ホール	-	-	1	-	1	
13	群馬県立館林美術館	2000年代	2000	6856	1	講堂	1	-	-	-	1	
41	兵庫県立美術館		2001	27461	1	ミュージアムホール	-	-	1	1	-	
33	松本市美術館		2002	9174	2	多目的ホール	-	-	1	-	1	
29	金沢21世紀美術館		2004	28160	1	シアター21	-	-	1	1	-	
"	"		"	"	1	レクチャーホール	1	-	-	-	1	
5	青森県美術館		2005	21133	1	シアター	-	-	1	1	-	
54	長崎県美術館		2005	9898	2	ホール	-	-	1	1	-	
58	沖縄県立博物館・美術館		2007	23722	3	講堂	1	-	-	1	-	
合計 51室			平均値: 12876		全体からの割合:		60.8%	13.7%	25.5%	33.3%	66.7%	
合計							31	7	13	17	34	

ここでの空間の全てにおいて、展示機能、創作機能は該当しない。ここで挙げた空間において前章と同様に竣工年代を10年ごとにまとめ、空間形式 i、ii に対応する空間数の平均値を表 2-4-2 に示す。

表 2-4-2 竣工年代別 空間形式 i、ii に対応する空間数の平均と割合

竣工年代	対象年代施設数	i、ii 空間保有施設数	延床面積平均	i、ii 空間数 (a)	機能・形式別空間数(b)				
					学習	上映	集会	i	ii
1970年代	8	7	11884	7	6 (86%)	0 (0%)	1 (14%)	2 (29%)	5 (71%)
1980年代	22	19	9870	19	14 (74%)	3 (16%)	2 (11%)	5 (26%)	14 (74%)
1990年代	19	16	14510	17	8 (47%)	4 (24%)	5 (29%)	5 (29%)	12 (71%)
2000年代	9	7	18058	8	3 (38%)	0 (0%)	5 (63%)	5 (63%)	3 (38%)
全体平均	14.5	12.25	11239	12.75	7.75 (61%)	1.75 (14%)	3.25 (25%)	4.25 (33%)	8.50 (67%)

※()内 b/a

同様にここで挙げた空間において延床面積規模を 5000 m²ごとにまとめ、空間形式 i、ii に対応する空間数の平均値を表 2-4-3 に示す。

表 2-4-3 延床面積規模 空間形式 i、ii に対応する空間数の平均値

延床面積規模	対象規模施設数	空間保有施設数	竣工年平均	空間数 (a)	機能・形式別空間数(b)				
					学習	上映	集会	i	ii
～5000m ²	11	6	1987	6	6 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (100%)
5001m ² ～10000m ²	26	23	1988	23	16 (70%)	3 (13%)	4 (17%)	5 (22%)	18 (78%)
10001m ² ～15000m ²	11	10	1991	10	4 (40%)	3 (30%)	5 (50%)	7 (70%)	3 (30%)
15001m ² ～20000m ²	3	2	1988	2	0 (0%)	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (100%)
20001m ² ～	8	8	1996	10	5 (50%)	1 (10%)	4 (30%)	5 (40%)	5 (50%)
全体平均	14.5	12.25	1990	12.75	31 (61%)	7 (14%)	13 (25%)	17 (33%)	34 (67%)

※()内 b/a

施設・空間全体の数については 1990 年代と 2000 年代においては 2 つの i または ii の空間を有する施設があることが分かる。空間分類をみると、経年ごとの多様化が見られる。まず空間の機能については学習機能の数、割合は経年減少している。

上映機能の割合は 1990 年代が最も高く、次いで 1980 年代となり、他は 0 である。集会機能の割合は 2000 年代が高く、次いで 1990 年、1970 年代と 1980 年代は同程度である。このことから前章の考察のように 1970 年代は上映機能が一般化しておらず、逆に 2000 年代では上映機能を完備した空間を前提として、空間名称を決定していると思われる。集会機能の増加はコンサートや演劇などライブパフォーマンスに対応するため、講演・講習目的ではない集会施設としての整備が行われていると推察される。

空間の形式に関しては、i の割合は 2000 年代に多く、他の年代は同程度であり、逆に ii の割合は 2000 年代のみ少なく、他は同程度である。このことから前章の考察でみた i から ii への移行の傾向が確認できる。

表 2-4-3 延床面積規模 空間形式 i、ii に対応する空間数の平均値

延床面積規模	対象規模施設数	空間保有施設数	竣工年平均	空間数(a)	機能・形式別空間数(b)				
					学習	上映	集会	i	ii
～5000㎡	11	6	1987	6	6 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (100%)
5001㎡～10000㎡	26	23	1988	23	16 (70%)	3 (13%)	4 (17%)	5 (22%)	18 (78%)
10001㎡～15000㎡	11	10	1991	10	4 (40%)	3 (30%)	5 (50%)	7 (70%)	3 (30%)
15001㎡～20000㎡	3	2	1988	2	0 (0%)	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (100%)
20001㎡～	8	8	1996	10	5 (50%)	1 (10%)	4 (30%)	5 (40%)	5 (50%)
全体平均	14.5	12.25	1990	12.75	31 (61%)	7 (14%)	13 (25%)	17 (33%)	34 (67%)

※()内 b/a

次に表 2-4-3 より延床面積別でみると、まず全体の延床面積は本研究の対象施設全体の平均と比べて大きい。これは i・ii のような劇場性の強い空間を有する施設は全体的に規模が大きくなっていることを示している。劇場性の強い空間を 2 つ備えた施設（金沢 21 世紀美術館と東京都江戸博物館）は 20000 ㎡以上である。これは施設規模を大きくする際、空間の多様化を図る目的の下整備されたものと思われる。5000 ㎡以下の施設の空間は全て学習機能であり、ii の空間である。またその他の規模ごとに見ても概ね学習機能の割合は施設規模が大きくなるにつれ減る傾向があり、空間の形式も施設規模が大きくなるにつれより i のような劇場性の強い空間になっている。

2-5. まとめ

本章における結果をまとめると以下のようになる。

- ① 潜在的劇場的空間について空間の機能から分類すると展示機能と集会機能がその割合の大半を占め、次いで創作機能、学習機能、上映機能の順である。
- ② i または ii のような劇場性の強い空間を対象施設の大半が1つないし2つ有している。
- ③ 2000年代における展示機能をもつ空間の割合の増加、上映機能を冠した空間の減少が見られる。
- ④ 延床面積に関しては、規模が大きくなるにつれ空間の機能の数は概ね多様化する傾向があるが、上映機能はその限りでなく、また空間の形式に関しては延床面積の増加に伴い劇場性の強い以外の空間の数が増加する。
- ⑤ 概ね竣工年代を重ねるごとに延床面積は大きくなる傾向があり、それに伴い劇場性の強い空間の数の増加がみられる。
- ⑥ 1990年代から2000年代にかけて空間の形式が i から ii へ移行する傾向みられることから、近年では劇場性の強い空間を整備する傾向が見られる。

以上美術館における潜在的劇場的空間について考察したが、次章においては実際の空間の利用－劇場的活動－について分析を進める。

第3章

公立美術館における劇場的活動（ソフト）

3-1 本章の概要

3-1-1 本章の目的

3-1-2 分析方法

3-2 劇場的活動のジャンルと形式

3-3 劇場的活動の実施時間

3-3 施設の開館時間と劇場的活動の実施時間

3-4 劇場的活動の料金

3-5 まとめ

3-1 本章の概要

3-1-1 本章の目的

前章では対象施設として抽出した全国の公立美術館が有する劇場的空間（ハード）を定義し、その整備状況について類型化した。しかしながら音楽や演劇などを始めとする劇場的活動は多様であり、様々な場所で開催される。劇場とは異なるビルディングタイプである美術館においては劇場的活動が行われることもその一例といえるが、ホワイエやエントランスホールでコンサートや舞踊などが行われるように、劇場的活動は音響や映写設備、客席や舞台を有した劇場性の強い空間でのみ実施されているわけではない。本章ではまず公立美術館がどのような劇場的活動（ソフト）を行っているかを実証調査し、類型化することでその性質の知見を得ることとする。

3-1-2 本章の分析方法

まず前章で抽出した公立美術館 59 施設を継続して研究対象とするが、以下に示す通り、劇場的活動が確認されたのが 21 施設であり、本項ではそれを実質的な対象施設とし、各施設における劇場的活動を公式 HP から抽出する。抽出対象については各施設の公式 HP で 2008 年から 2013 年の過去 5 年間に行われている活動とし、59 施設中 21 施設から抽出された。その数や掲載期間を表 3-1-2 に記す。

表 3-1-2 対象施設と劇場的活動の回数、日数、抽出期間

番号	対象施設	回数 (a)	開催日 数(b)	1日当たり の開催数 (a)/(b)	抽出期間		
					最古	最新	差分日数
1	北海道立近代美術館	10	10	100%	2013/5/11	2013/11/1	174
3	北海道立三岸好太郎美術館	117	117	100%	2008/4/26	2013/12/14	2058
5	青森県立美術館	317	205	155%	2008/1/1	2013/12/14	2174
7	宮城県美術館	21	20	105%	2008/9/13	2012/9/8	1456
9	茨城県立近代美術館	17	17	100%	2008/8/24	2013/12/1	1925
10	茨城県立陶芸美術館	4	2	200%	2011/11/13	2012/11/11	364
20	世田谷美術館	109	92	118%	2009/4/11	2013/12/14	1708
21	目黒区立美術館	1	1	100%	2013/10/30		
29	金沢21世紀美術館	534	385	139%	2008/4/6	2013/12/23	2087
34	静岡県立美術館	9	9	100%	2008/10/5	2013/3/31	1638
35	名古屋市美術館	30	28	107%	2008/1/11	2013/11/10	2130
39	滋賀県立近代美術館	25	20	125%	2009/7/26	2013/9/23	1520
40	京都府京都市文化博物館	17	12	142%	2013/9/1	2013/10/26	55
41	兵庫県立美術館	237	166	143%	2012/1/7	2013/12/23	716
43	芦屋市立美術博物館	15	15	100%	2011/4/17	2013/3/9	692
44	和歌山県立近代美術館	2	2	100%	2011/8/27	2012/12/8	469
45	島根県立美術館	38	21	181%	2011/12/24	2013/12/22	729
49	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	19	17	112%	2010/11/21	2013/12/20	1125
54	長崎県美術館	443	246	180%	2008/1/13	2013/12/24	2172
55	熊本県立美術館	3	3	100%	2013/5/18	2013/12/21	217
58	沖縄県立博物館・美術館	37	28	132%	2008/2/23	2013/11/9	2086
合計		2005	1416				
平均		95.5	67.429	142%	2010/5/13	2013/9/6	1274.75

この抽出した劇場的活動について 3-2 で活動のジャンルと活動の形式を定義し、活動内容について言及する。3-3 では劇場的活動の実施時間について取り上げ、更に活動と施設の開館・閉館時間との関係を探る。3-4 では活動の料金の体系を類型化し、これらをまとめて劇場的活動の性質として 3-5 の章まとめとする。

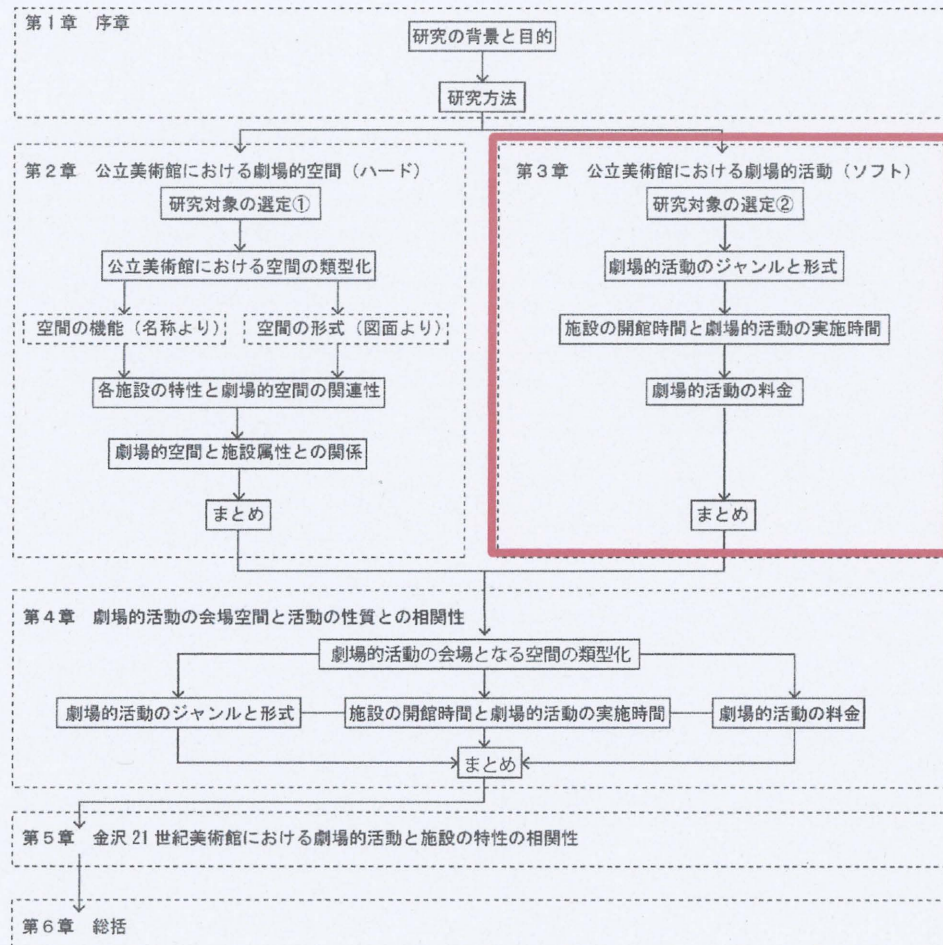


図 3-1-2 研究の流れ

3-2 劇場的活動のジャンルと形式

抽出した劇場的活動の内容については表 3-2-1 に示す通りジャンルを軸に大きく (1)実演芸術・芸能活動と、(2)実演芸術・芸能に関連する活動に区分する。

また劇場的活動の形式として、その活動実施主体と享受主体との関係性において、前者から後者への一方向性に特徴付けられる一般的な上演活動に対応する【上演型】、参加型のワークショップのような両者の双方向性に特徴付けられる【WS 型】の 2 つの区分を設定する。

表 3-2-1 抽出した劇場的活動の区分、該当ジャンル

区分	(1)主として実演芸術・芸能を指すもの						(2)実演芸術・芸能に関連するもの	
ジャンル	音楽	演劇	舞踊	伝統芸能	朗読	その他1	映画	その他2
内容	音楽	演劇	舞踊	落語	朗読	マジックショー	映画	ファッション ショー
	コンサート	人形劇	ダンス	寄席	リーディング	分類不可能なパ フォーマンス	映像上映	
	ライブ			歌舞伎	お話し		映画祭	
	ジャズ				読み聞かせ		映画教室	
	クラシック				朗読劇			
	ポップス				朗読大会公演			
	リサイタル							

対象施設における劇場的活動について、表 3-2-2 のようにジャンルとその形式を分類した。

表 3-2-2 劇場的活動のジャンルと形式

番号	対象施設	抽出した劇場活動		実演芸術・芸術を指す活動																		実演芸術・芸術に関連する活動				
				形式		音楽		上演		WS		舞踊		伝統芸能		朗読		その他1								
		合計	WS	上演	WS	上演	WS	上演	WS	上演	WS	上演	WS	上演	WS	上演	WS	上演	WS							
																				数	割合	数	割合	数	割合	数
1	北海道立近代美術館	10	100%	0	0%	6	60%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	10%	0	0%	3	30%	0	0%	0	0%	
2	北海道立三好村太田美術館	117	100%	0	0%	116	99%	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	
3	青森県立美術館	317	278%	41	13%	24%	8%	0	0%	30	17%	13	12%	0	0%	0	0%	46	15%	39	13%	0	0%	112	35%	
4	茨城県美術館	21	17	81%	4	19%	16	76%	0	0%	0	0%	1	5%	4	19%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
5	茨城県立近代美術館	17	17	100%	0	0%	17	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
6	茨城県立陶芸美術館	4	4	100%	0	0%	4	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
7	世田谷美術館	109	78	72%	31	28%	35	32%	2	2%	12	11%	27	25%	13	12%	0	0%	3	3%	0	0%	15	14%	2	2%
8	目黒区立美術館	1	1	100%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
9	金沢21世紀美術館	534	406	76%	128	24%	165	31%	8	1%	102	19%	0	0%	37	7%	10	2%	19	4%	0	0%	12	2%	99	18%
10	静岡市立美術館	10	10	100%	0	0%	10	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
11	名古屋市美術館	30	30	100%	0	0%	15	50%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	15	50%	0	0%
12	滋賀県立近代美術館	25	25	100%	0	0%	9	36%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	8%	0	0%	6	24%	0	0%	8	32%
13	京都府京都市文化博物館	17	17	100%	0	0%	17	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
14	兵庫県立美術館	237	234	99%	3	1%	135	57%	0	0%	4	2%	0	0%	4	2%	1	0%	11	5%	0	0%	2	1%	76	32%
15	青森市立美術館	15	15	100%	0	0%	15	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	13%
16	和歌山県立近代美術館	2	2	100%	0	0%	2	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
17	鳥取県立美術館	38	37	97%	1	3%	16	42%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	5%	1	3%	2	5%	1	3%	16	42%
18	九州市美術館	19	19	100%	0	0%	11	58%	0	0%	0	0%	0	0%	2	11%	0	0%	0	0%	1	5%	0	0%	4	21%
19	長崎県美術館	443	436	98%	7	2%	363	82%	2	0%	12	3%	0	0%	7	2%	3	1%	2	0%	10	2%	2	0%	41	9%
20	熊本県立美術館	4	4	100%	0	0%	4	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	15	38%
21	沖縄県立博物館・美術館	37	37	100%	0	0%	18	49%	2	5%	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	15	41%
合計		2007	1794	89%	215	11%	1049	52%	14	1%	161	8%	29	1%	76	4%	18	1%	37	2%	1	0%	86	4%	384	18%
1施設当たりの数		95.6	85.4	##	50.0	0.7	0.0	7.7	1.4	3.6	0.9	1.8	0.0	4.1	6.7	0.5	0.0	17.3	0.6	0.4	0.0	0.0	0.0	17.3	0.6	0.4

まず、施設別の全体的な傾向をみておくと、青森県立美術館、ついで兵庫県立美術館、長崎県美術館、金沢 21 世紀美術館、世田谷美術館は活動の量が多く、音楽や映画を中心に多岐にわたるジャンルの活動が行われており、これらは劇場的活動について精力的に行っている施設であると考えられる。ジャンル、形式についてみる。まず、ジャンルについては施設ごとにバラつきがあるものの、全般的に音楽が多く、21 施設を総じてみた際にも全活動数の 52% を占めている。ついで映画が 18% となっており、それ以外のジャンルは 10% 未満になっている。音楽や映画の割合が高いことについては、次章以降でも分析するが、コンサートや映画などは 1 日に複数回の実施が可能である活動であることが要因の一つと考えられる。

形式については上演型が主で 21 施設を総じてみた際に全活動数の 89%、WS 型は 11% である。上演型は全施設で実施されているのに対して、WS 型は 7 施設のみであることが大きい。なお、WS 型の活動がある 7 施設については活動数の合計が多いものがほとんどで、前述した劇場的活動を精力的に行っていると考えられる施設が全て含まれる。双方向性をもつ活動を行っているか否かは劇場的活動の充実度を判定する指標となり得る。

3-3 劇場的活動の実施時間

次に取り上げた劇場的活動の実施時間について言及する。本節、次節を通して劇場的活動の性質を見ていくが、取り扱う扱う値について整理したものを表 3-3-1 に示す。

表 3-3-1 劇場的活動の実施時間の記載数と網羅率

劇場的活動の数(a)		2006
実施時間について		
(※)開始時刻のみ記載されている数(b)		1983
網羅率(b/a)		99%
開始・終了時刻共に記載されている数(c)		1351
網羅率(c/a)		67%

(※)終了時刻のみ記載されている活動はない

実施時間の記載について網羅率をみると開始時刻は活動全体の 99%記載されている中、終了時刻が記載されているものは少なく、67%であった。これは劇場的活動が時間芸術であり、終了時刻にも不確定性を伴うことによるものと考えられる。

実施時間を見ていく上で終了時刻の記載は必須であるため、以下よりこれらの抽出した活動の 67%について言及する。

次に劇場的活動の実施時間の平均実施時間と、実施時間を 30 分毎に区切って時間の分布をまとめたものを表 3-3-2 に示す。

表 3-3-2 施設ごとの劇場的活動の実施時間分布

番号	施設の名称	劇場の活動の数(a)	(※)終了時刻記載数(b)	網羅率(b/a)	平均実施時間	実施時間の分布											
						～30分未満		30分以上～60分未満		60分以上～90分未満		90分以上～120分未満		120分以上～150分未満		150分以上	
						数(c)	割合(c/b)	数(c)	割合(c/b)	数(c)	割合(c/b)	数(c)	割合(c/b)	数(c)	割合(c/b)	数(c)	割合(c/b)
1	北海道立近代美術館	10	9	90%	48.2			6	67%	2	22%	1	11%				
3	北海道立三岸好太郎美術館	117	80	68%	46.6			46	58%	34	43%						
5	青森県立美術館	317	231	73%	116.3	6	3%	19	8%	76	33%	38	16%	45	19%	47	20%
7	宮城県美術館	21	8	38%	150.0					4	50%			2	1%	2	1%
9	茨城県立近代美術館	17	4	24%	163.8					3	75%	1	25%				
10	茨城県立陶芸美術館	4															
20	世田谷美術館	109	62	57%	167.9	3	5%	15	24%			6	10%	4	6%	34	55%
21	目黒区美術館	1	1	100%	60					1	100%						
29	金沢21世紀美術館	562	366	65%	105.2	4	1%	125	34%	48	13%	61	17%	75	20%	53	14%
34	静岡県立美術館	9	7	78%	90.0					1	14%	5	71%	1	14%		
35	名古屋市美術館	30	23	77%	59.4	5	22%	7	30%	6	26%	4	17%			1	4%
39	滋賀県立近代美術館	25	22	88%	61.5	4	18%			16	73%	1	5%			1	5%
40	京都府京都文化博物館	17															
41	兵庫県立美術館	237	50	21%	120.4			2	4%	6	12%	18	36%	20	40%	4	8%
43	芦屋市立美術館博物館	15	4	27%	90.0					1	25%	2	50%	1	25%		
44	和歌山県立近代美術館	2															
45	島根県立美術館	38	37	97%	75.3			17	46%	4	11%	8	22%	6	16%	2	5%
49	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	19	3	16%	143.3							1	33%	1	33%	1	33%
54	長崎県美術館	443	417	94%	41.2	38	9%	309	74%	35	8%	15	4%	8	2%	12	3%
55	熊本県立美術館	3	3	100%	75.0					3	100%						
58	沖縄県立博物館・美術館	37	24	65%	85.5			2	8%	12	50%	5	21%	3	13%	2	8%
合計		2033	1351	66%	83.8	60	4%	548	41%	252	19%	166	12%	166	12%	145	11%
平均値		96.8	10.0			10.0		54.8		15.8		11.9		15.1		13.2	

(※)…公式HPIに実施時間(開始、終了)について記載がある活動数

まず平均実施時間の全体平均値は 83.8 分となっているが、施設ごとに 46.6～167.9 分と大幅なバラつきがみられる。

次に劇場的活動の実施時間の分布をみていくと、全体合計の 30 分以上 60 分未満が 41% と最も多くを占め、次いで 60 分以上 90 分未満が 19%、90 分以上の 3 項目は 11 から 12% と同程度であり、30 分未満の活動は 4% となった。この中で 30 分以上 60 分未満の活動については施設別の項目より長崎県美術館の 309、金沢 21 世紀美術館の 123 の活動が全体割合を引き上げている要因となっていることが見受けられる。

続いて施設ごとに見ると、平均実施時間が最も短かった北海道三岸好太郎美術館は 30 分～90 分未満に分布している。同施設では前節で分析したように活動の内容は全て上演形式の音楽であり、活動内容と実施時間の関係性を示唆できる。一方で対象施設中最も平均実施時間の長かった世田谷美術館では 150 分以上の活動が全体割合の 55% と過半数を占めている。同施設では前節で指摘したように WS 形式の活動割合も 28% と対象施設中最も高くなっていることと関係しているものと思われる

劇場活動の実施時間について、前節で示した活動のジャンル・形式ごとにまとめたものを表 3-3-3 に示す。

表 3-3-3 劇場的活動のジャンル・形式ごとの平均実施時間と活動数

ジャンル 形式	合計		音楽		演劇		舞踊		伝統芸能		朗読		その他1		映画		その他2	
	平均 時間	活動 数	平均 時間	活動 数	平均 時間	活動 数	平均 時間	活動 数	平均 時間	活動 数	平均 時間	活動 数	平均 時間	活動 数	平均 時間	活動 数	平均 時間	活動 数
合計	83.7	1331	60.6	636	113	95	103	48	96.8	25	56.6	209	68.6	7	138	303	87.5	8
上演	81.8	1135	59.1	627	75.3	77	85.9	33	98.3	24	77.9	68	68.6	7	131	291	87.5	8
WS	95.2	196	160	9	275	18	142	15	60	1	46.3	141			295	12		

形式ごとに平均実施時間についてみると、WS 形式の活動は伝統芸能、朗読を除いて、全ての活動で上演形式の活動の方が長時間となっている。

伝統芸能については WS 形式の活動は一つのみであり、この活動の性質が強く出ているためである。WS 形式の朗読に関しては、青森県美術館、金沢 21 世紀美術館での活動が大半を占めている。これらの活動は両施設共に絵本の読み聞かせと、体験的なプログラムが組まれている。青森県美術館は子供を対象にした活動であり、金沢 21 世紀美術館では子供から大人まで対象にした活動である。

音楽の上演形式は全てのジャンル・形式の中で最も平均実施時間が短くなっている。音楽は 60 分未満の短時間の活動と、90 分以上の長時間のものに大きく二分されるためであると推測される。

映画は上演、WS 両形式の中で長時間となっている。

音楽の全体的な平均実施時間の短いこと、WS形式の活動が平均実施時間が全体的に長時間に及ぶことから、平均実施時間について北海道三岸好太郎美術館の活動が短時間であること、世田谷美術館の活動が長時間に及ぶことに繋がる。朗読のWS形式の活動が46.3分と最も短く、次いで音楽の上演形式の活動が59.1分で短い。映画については全てのジャンルの中でも上演形式131.4分、WS形式295.0分で最も平均実施時間が長くなっている。WS形式の活動は朗読を除いて全てのジャンルで上演形式、合計平均について上回っている。

3-4 施設の開館時間と劇場的活動の実施時間の関係

次に施設の開館時間（開館・閉館時刻）と劇場的活動の実施時間（開始・終了時刻）の関係について表 3-4-1 に示す。

表 3-4-1 施設の開館時間と劇場的活動の実施時間の関係

番号	施設の名称	現在の施設 開館年	施設の 開館時間		(※) 記載 数(a)	閉館時刻以前に開始								閉館時刻以後に開始	
						数(b)	割合 (b/a)	閉館時刻以前に終了		閉館時刻以後に終了		終了時刻記入なし(※)		数(b)	割合 (b/a)
								数(b)	割合 (b/a)	数(b)	割合 (b/a)	数(b)	割合 (b/a)		
1	北海道立近代美術館	1977	9:30	17:00	10	9	90%	8	80%			1	10%	1	10%
3	北海道立三岸好太郎美術館	1983	9:30	17:00	116	109	94%	74	64%			35	30%	7	6%
5	青森県立美術館	2006	9:00	※1	306	214	70%	189	62%	3	1%	22	7%	92	30%
7	宮城県美術館	1981	9:00	17:00	21	16	76%	6	29%	1	5%	9	43%	5	24%
9	茨城県立近代美術館	1988	9:30	17:00	14	8	57%	8	57%					6	43%
10	茨城県立陶芸美術館	2000	9:30	17:00	4	4	100%					4	100%		
20	世田谷美術館	1986	10:00	18:00	103	102	99%	87	84%	14	14%	1	1%	1	1%
21	目黒区美術館	1987	10:00	18:00	1	1	100%	1	100%						
29	金沢21世紀美術館	2004		※2											
34	静岡県立美術館	1986	10:00	17:30	10	10	100%	7	70%			3	30%		
35	名古屋市美術館	1988	9:30	17:00	30	20	67%	14	47%			6	20%	10	33%
39	滋賀県立近代美術館	1984	9:30	17:00	25	25	100%	22	88%			3	12%		
40	京都府京都文化博物館	1988		※3	9	9	100%					9	100%		
41	兵庫県立美術館	2002	10:00	18:00	236	236	100%	43	18%			193	82%		
43	芦屋市立美術館博物館	1990	10:00	17:00	14	14	100%	4	29%			10	71%		
44	和歌山県立近代美術館	1994	9:30	17:00	2	2	100%					2	100%		
45	島根県立美術館	1999	10:00	※4	37	35	95%					35	95%	2	5%
49	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	1991	10:00	18:00	19	10	53%			1	5%	9	47%	9	47%
54	長崎県美術館	2005	10:00	20:00	443	434	98%	417	94%			17	4%	9	2%
55	熊本県立美術館	1976	9:30	17:15	3	3	100%	3	100%						
58	沖縄県立博物館・美術館	2007	9:00	※5	36	34	94%	17	47%	7	19%	10	28%	2	6%
合計					1439	1295	90%	900	63%	26	2%	369	26%	144	10%
1施設当たりの平均値					1992	9:37	17:29	72.0	64.8	60.0	5.2	21.7		13.1	
※1 10月1日～5月31日は17:00まで、6月1日～9月31日は18:00まで															
※2 各ゾーンごとに個別に規定															
※3 総合展示、別館は19:30まで、特別展は18:00まで、ただし毎週金曜日は19:30まで															
※4 3月～9月は日没後30分まで、10月～2月は18:30まで															
※5 基本的には18:00までで、金、土曜日は20:00まで															

(※)…公式HPに実施時間(開始、終了)について記載がある活動

まず施設ごとの閉館時刻についてみると、多くの施設において閉館時刻が 17:00 から 18:00 であるなか、長崎県美術館や沖縄県立博物館・美術館のように 20:00(後者については曜日の限定があるが)という事例もある。共に 2000 年代に入って開館した新しい施設である。

なお、施設の開館時間が個別の施設においても必ずしも一律ではないことは注目に値する。例えば、金沢 21 世紀美術館は空間ごとに開館時間が規定されている（このことは次章において後述する）。また、島根県立美術館の閉館時間については 3 月から 9 月までを日没後 30 分に設定している。後者については美術館からの夕景を享受するためであり、夕暮れ時に「トワイライトコンサート」と呼ばれる活動も行われている。

続いて施設の閉館時刻と劇場的活動の開始・終了時刻との関係についてみる。

全体的な傾向として 21 施設を総じてみると施設の閉館時刻以前に活動が開始されるものが 90%と高い値を示しており、9 施設において全ての活動が各施設の閉館時間内に開始されている。

一方、施設の閉館時間以降に開始される活動は 21 施設全体で 10%となっており、内 5 施設においてそれら活動の占める割合が 2 割以上となっている。

実数としては青森県立美術館の 92 が突出している。また劇場的活動の終了時刻と開始時刻を併せてみると、前述した全ての活動が施設の閉館時間内に開始している 9 施設については、データのあった活動の全てが閉館時間内に終了している。

中でも長崎県美術館に注目したい。同館には 443 の劇場的活動があり、その大半であるデータのあった 434 がそれに該当する。そして同館の閉館時間は先に見た通り遅めの 20:00 である。閉館時間の設定に劇場的活動が関係している可能性がある。

また閉館時刻以前に開始し、閉館時刻以後に活動が終了する活動については全体合計の数は 26 で割合では 2%に満たないが、世田谷美術館で 14、沖縄県立博物館・美術館で 7 の活動がみられる。中でも世田谷美術館は「誰もいない美術館で」という美術・演劇・音楽等の WS があり美術館閉館時刻以前から WS を実施し、閉館時刻以後に発表会を行うという活動が実施されているため、このような結果となった。

3-5 劇場的活動の料金

博物館法^{※注}においては、館の維持運営の為やむを得ない事情がある場合、入館料の他に必要な対価を徴収することができる」とされているが、入場可能である多様な空間を擁し、劇場的活動を含む多様な活動を展開する今日の美術館の運営を捉える上では入館料という概念のみでは不十分である。

そこで劇場的活動を勘案し、それに関わる料金として「劇場的活動を享受するのに必要な劇場的活動観覧料」を、また、それと区別して美術館の本来の活動に関わる「展覧会の観覧に必要な展示観覧料」を併せて設定する。

両観覧料に料金の要不要の区別を併せると、その組み合わせは4パターンとなり、それらを用いて抽出した劇場的活動の料金について分類したものを表3-5-1に示す。

表 3-5-1 各施設の劇場的活動の料金体系

番号	施設名称	劇場的活動の数(a)	(※)記載数(b)	網羅率(b/a)	タイプ1		タイプ2		タイプ3		タイプ4		記載なし	
					数(c)	割合(c/b)	数(d)	割合(d/b)	数(e)	割合(e/b)	数(f)	割合(f/b)	数(g)	割合(g/a)
1	北海道立近代美術館	10	6	60%	6	100%							4	40%
3	北海道立三好太郎美術館	117	99	85%	7	7%	92	93%					18	15%
5	青森県立美術館	317	287	91%	186	65%	14	5%	87	30%			30	9%
7	宮城県美術館	21	17	81%	14	82%	3	18%					4	19%
9	茨城県立近代美術館	17	6	35%	6	100%							11	65%
10	茨城県立陶芸美術館	4											4	100%
20	世田谷美術館	109	106	97%	44	42%	2	2%	52	49%	8	8%	3	3%
21	目黒区立美術館	1	1	100%			1	100%						
29	金沢21世紀美術館	534	534	100%	216	40%	22	4%	296	55%				
34	静岡県立美術館	10	10	100%			10	100%						
35	名古屋市美術館	30	30	100%	25	83%	5	17%						
39	滋賀県立近代美術館	25	25	100%	25	100%								
40	京都府京都文化博物館	17	17	100%	6	35%			11	65%				
41	兵庫県立美術館	237	237	100%	114	48%	4	2%	119	50%				
43	芦屋市立美術館	15	13	87%	2	15%	7	54%			4	31%	2	13%
44	和歌山県立近代美術館	2	2	100%	2	100%								
45	島根県立美術館	38	37	97%	37	100%							1	3%
49	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	19	19	100%	5	26%	2	11%	6	32%	6	32%		
54	長崎県美術館	443	443	100%	372	84%	51	12%	13	3%	7	2%		
55	熊本県立美術館	3	3	100%	3	100%								
58	沖縄県立博物館・美術館	37	35	95%	18	46%	6	17%	13	37%			2	5%
合計		2006	1927	96%	1086	56%	219	11%	597	31%	25	1%	79	4%
1施設当たりの数		95.5	91.76		51.7		10.4		28.4		1.2		3.76	
タイプ1… 劇場的活動観覧料は不要で、展示観覧料も不要 タイプ2… 劇場的活動観覧料は不要で、展示観覧料が必要 タイプ3… 劇場的活動観覧料が必要で、展示観覧料が不要 タイプ4… 劇場的活動観覧料が必要で、展示観覧料も必要														
(※)記載数…公式HPに料金について記述の記載がある活動の数														

料金タイプは表で示すように

タイプ1… 劇場的活動観覧料は不要で、展示観覧料も不要

タイプ2… 劇場的活動観覧料は不要で、展示観覧料が必要

タイプ3… 劇場的活動観覧料が必要で、展示観覧料が不要

タイプ4… 劇場的活動観覧料が必要で、展示観覧料も必要

まず全21施設を総じて各パターンの割合についてみる。タイプ1の劇場的活動観覧料、

展示観覧料共に不要のものが56%と過半数を占めている。

タイプ2の劇場的活動観覧料不要、展示観覧料必要のものについては11%となっているが、北海道立三好太郎美術館、静岡県立美術館においてはそれぞれ93%、100%の活動がそれに該当している。劇場的活動の性質が展示と関連していると推察される。

またタイプ4の劇場的活動観覧料、展示観覧料を2重に徴収する活動については数か少なく全体としては1%に満たないが、4施設で実施されている。HPの記述としては劇場的活動観覧のチケットに展示観覧料を含むという形となっており、展示に関連した活動を合わせて享受することを目的として開催されていることが伺えるが、チェックする上で動線上の工夫がなされている予想される。

また、施設別にみると、全ての活動が料金タイプ1である施設が6施設あるが、そこでの活動数は2～38と21施設全体での1施設当たり平均51.7と比較すると少ない。

青森県美術館、金沢21世紀美術館、兵庫県立美術館では展示観覧料が必要である活動は料金タイプ2のもののみで、その割合も同パターンにおける平均以下である。料金タイプ3の劇場的活動観覧料必要、展示観覧料不要の活動の量的充実から、展示観覧料が必要な空間と劇場的活動が行われる空間への動線が分離可能であることも予想される。

注) 博物館法 第三章 公立博物館 第二十三条（入館料）

「公立博物館は、入館料その他博物館資料の利用に対する対価を徴収してはならない。但し、博物館の維持運営のためにやむを得ない事情のある場合は、必要な対価を徴収することができる。」

3-6. まとめ

本章における結果をまとめると以下ようになる。

- ①劇場的活動の大半が音楽、映画の上演型が中心。
- ②施設の開館時間は個別の施設においても一律ではなく、概ねの劇場的活動が開館時間内に開始されているが閉館時間以降に行われる活動もあり、活動と閉館時間の関係性が伺える。
- ③約半数の劇場的活動が無料で入場可能。また、施設展示観覧料とは別に劇場的活動の観覧料を設定している。
- ④青森県美術館、世田谷美術館、金沢 21 世紀美術館、兵庫県立美術館、長崎県美術館では多岐にわたるジャンルの活動が上演され、WS も開催されており、会場空間の種類も豊富であり、劇場的活動の充実度に即した空間を備えている。
- ⑤北海道立三岸好太郎美術館、静岡県立美術館で行われる劇場的活動はほぼ全て音楽上演であり、展示観覧料が必要、活動観覧料は不要である。

以上、劇場的活動の性質を捉えることができた。次章では劇場的活動が実施される会場となる空間（劇場的空間）を対象とし、本章で得られた劇場的活動の性質との関係を見る。

第4章

公立美術館における劇場的活動（ソフト）と 劇場的空間（ハード）の相関性

4-1 本章の概要

4-1-1 本章の目的

4-1-2 分析方法

4-2 劇場的活動における劇場的空間

4-3 劇場的空間とジャンルと形式の相関性

4-4 劇場的空間と実施時間の相関性

4-5 劇場的空間と開館時間の相関性

4-6 劇場的空間と料金の相関性

4-7 まとめ

4-1 本章の概要

4-1-1 本章の目的

2章において対象施設として抽出した全国の公立美術館が有する潜在的劇場的空間（ハード）を類型化し、劇場的利用に適した空間を定義した。3章では実際に公立美術館で行われる劇場的活動（ソフト）について性質を把握した。本章では劇場的活動の会場となる空間即ち劇場的空間とその活動の性質の関係を調査することで、これらの相関性を見ていく。

まず把握すべきなのは、音楽や演劇などを始めとする劇場的活動は多様であり、様々な場所で開催しうるという点である。“劇場”というビルディングタイプを様々な演目を創造・行うための“ハコ”とするならば、美術館で行われる劇場的活動は“劇場”とは異なった目的のもと実施されている可能性がある。

本章では劇場的活動が実施される会場空間のハードとしての特性と、前章で挙げた劇場的活動のソフトとしての特性の関係を探ることで、公立美術館で劇場的活動を行う意義や目的などを検証する。

4-1-2 分析方法

本章では前章で抽出した劇場的活動の中で、会場となる空間即ち劇場的空間について記載のあるものを対象として分析を行う。

4-2 ではこれらの空間の機能と形式を2章で定義した手法に従って分類する。

4-3 以降では更にそれらが3章でどのような性質を示していたかについて言及し、空間と活動の相関性について分析を行う。4-3 では活動の内容であるジャンルと形式との関係を、4-4 では実施時間、4-5 で開館時間、4-6 で料金体系とそれぞれ会場となる空間について相関性を分析し、4-7 で総括する。

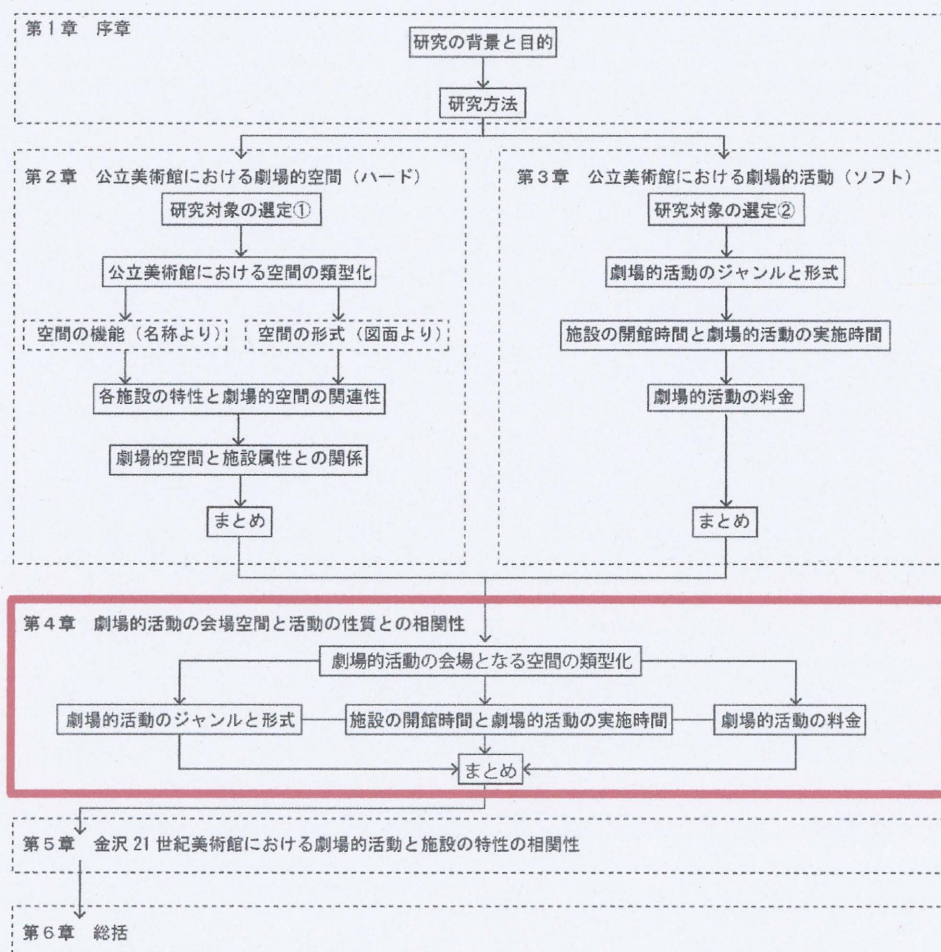


図 4-1-1 研究の流れ

4-2 劇場的活動における劇場的空間

劇場的空間の機能・形式の対応を示したものを表 4-2-1 に示す。なお空間の分類手法については2章で設定した手法を使用し、空間の形式については

- i …屋内における、客席と舞台（奥行き3間以上）を有する空間
- ii …屋内における、客席と舞台（奥行き3間未満）を有する空間
- iii …屋内における、それ以外の室としての空間
- iv …屋内における、玄関ホール、廊下等の共有空間
- v …屋外空間とする。

その上で全施設の劇場的活動の会場となる空間の機能と形式については空間の種類と、劇場的活動の対応について別途表 4-2-2 として示す。

表 4-2-2 劇場的空間の分類

	劇場 的活動 数 (a)	(※) 記載 数 (b)	網羅 率 (b/a)	会場 空間 種 数	空間の名称	劇場的活動の数																			
						機能										形式									
						展示		学習		上映		創作		集会		i		ii		iii		iv		v	
						数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)
会場空間種数／割合						20	25%	12	15%	1	1%	7	9%	41	51%	10	13%	6	8%	32	38%	18	25%	14	18%
合計 2008 18/8 94% 80						235	13%	154	8%	1	0%	162	9%	1326	71%	767	41%	122	6%	393	21%	552	29%	40	2%
1つの空間あたりの平均活動数(活動数/空間数)全体平均:23.4						11.8		12.8		1.0		23.1		32.3		76.7		20.3		12.2		30.8		2.9	

※記載数×公式HPに会場空間について記載がある活動数

※記載数…公式HPに会場空間について記載がある活動数

表 4-2-2 より、まず劇場的空間について記述する。

会場となる空間の種類に関しては全体合計が 80 種類の空間がある中、機能に関して多い順に記述する。集会機能の空間が 41 種類で全体合計の 51%を占め、展示機能の空間が 20 種類で全体合計の 25%、学習機能の空間が 12 種類で全体合計の 15%、創作機能の空間が 7 種類で全体合計の 9%、上映機能の空間が 1 種類で全体合計の 1%を占める。

一方で空間の形式に関しては多い順に iii 形式の空間が 32 種類で全体合計の 38%を占め、iv 形式の空間が 25 種類で全体合計の 25%、v 形式の空間が 14 種類で全体合計の 18%を占め、i 形式の空間が全体合計の 13%を占め、ii 形式の空間が 6 種類で全体合計の 8%となっている。

表 4-2-1 劇場的活動の会場空間

[illegible]

※記載数…公式HPに会場空間について記載がある活動数

表 4-2-2 劇場的活動の会場空間

	劇場 的活 動数 (a)	(※) 記載 数(b)	網羅 率 (b/a)	会 場 空 間 種 数	空間の名称	劇場的活動の数																			
						機能										形式									
						展示		学習		上映		創作		集会		i		ii		iii		iv		v	
						数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)
会場空間種数／割合						20	25%	12	15%	1	1%	7	9%	41	51%	10	13%	6	8%	32	38%	18	25%	14	18%
合計 2006 1878 94% 80						235	13%	154	8%	1	0%	162	9%	1326	71%	767	41%	122	6%	393	21%	552	29%	40	2%
1つの空間あたりの平均活動数(活動数/空間数)全体平均:23.4						11.8		12.8		1.0		23.1		32.3		76.7		20.3		12.2		30.8		2.9	

※記載数…公式HPに会場空間について記載がある活動数

※記載数…公式HPに会場空間について記載がある活動数

次に同表 4-2-2 より劇場的活動の数と会場空間の対応について記述する。

劇場的活動全体の数が 2006 である中、会場空間の記載がある活動の合計が 1878 であり、網羅率は 94% である。この 1878 の劇場的活動の空間の機能について多い順に記述する。

集会機能の空間での劇場的活動が 1320 で全体合計の 71% と多くを占め、次いで順に展示機能での劇場的活動が 235 で全体合計の 13%、創作機能の空間での劇場的活動が 162 で全体合計の 9%、学習機能での空間での劇場的活動が 154 で全体合計の 8%、上映機能の空間での劇場的活動が 1 で全体合計の 0% となっている。

同様に劇場的活動の空間の形式について多い順に記述する。i 形式の空間での劇場的活動が 767 であり全体合計の 41% と最も多くの割合を締め、次いで iv 形式の空間での劇場的活動の 552 であり全体合計の 29%、iii 形式の空間での劇場的活動が 393 で全体合計の 21%、ii 形式の空間での劇場的活動の 122 で全体合計の 6%、v 形式の空間での劇場的活動が 40 で全体合計の 2% となっている。

表 4-2-2 劇場的活動の会場空間

	劇場 的活動 数 (a)	(※) 記載 数(b)	網羅 率 (b/a)	会場 空間 種 数	空間の名称	劇場の活動の数																					
						機能										形式											
						展示		学習		上映		創作		集会		i		ii		iii		iv		v			
						数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)		
会場空間種数／割合						20	25%	12	15%	1	1%	7	9%	41	51%	10	13%	6	8%	32	38%	18	25%	14	18%		
合計 2006 1878 94% 80						235	13%	154	8%	1	0%	162	9%	1326	71%	767	41%	122	6%	393	21%	552	29%	40	28%		
1つの空間あたりの平均活動数(活動数/空間数)全体平均:23.4						11.8		12.8		1.0		23.1		32.3		76.7		20.3		12.2		30.8		2.9			
※記載数…各3HPに会場空間について記載がある活動数																											

※記載数…公式HPに会場空間について記載がある活動数

前項での結果を踏まえて同表 4-2-2 より劇場的活動の数と会場空間の数の対応から 1 種類の空間当たりの平均活動数について記述する。

会場空間に関して記載のある劇場的活動 1878 と会場空間が 80 種類であることから 1 種類の空間当たりの劇場的活動は 23.4 である。

空間の機能について 1 種類の空間当たりの劇場的活動数を多い順に記述する。

集会機能の空間での 1 種類の空間当たりの劇場的活動数は最も多く、32.3 であり、続いて創作機能の空間での劇場的活動が 23.1 であり、学習機能の空間での劇場的活動が 12.8、

展示機能の空間での劇場的活動が 11.8、上映機能の空間での劇場的活動が 1.0 となっている。

表 4-2-2 劇場的活動の会場空間

	劇場 的活 動数 (a)	(※) 記載 数(b)	網羅 率 (b/a)	会場 空間 種数	空間の名称	劇場の活動の数																						
						機能										形式												
						展示		学習		上映		創作		集会		i		ii		iii		iv		v				
						数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)			
会場空間種数／割合						20	25%	12	15%	1	1%	7	9%	41	51%	10	13%	6	8%	32	38%	18	25%	14	18%			
合計 2006						1878	94%	80	235	13%	154	8%	1	0%	162	9%	1326	71%	76.7	41%	20.3	6%	30.2	21%	55.2	20%	40	2%
1つの空間あたりの平均活動数(活動数/空間数)全体平均:23.4						11.8		12.8		1.0		23.1		32.3		76.7		20.3		12.2		30.8		2.9				
※記載数…公式HPに会場空間について記載がある活動数																												

※記載数…公式HPに会場空間について記載がある活動数

次に空間の形式ごとに 1 種類の空間当たりの劇場的活動を多い順に記述する。

i 形式の空間での 1 種類の空間当たりの劇場的活動が 76.7 と最も多く、続いて iv 形式の空間での劇場的活動数は 30.8 であり、ii 形式の空間での劇場的活動数が 20.3、iii 形式の空間での劇場的活動数が 12.2、v 形式の空間での劇場的活動数が 2.9 となっている。

これらの結果を統合的に考察する上で注目すべき点を挙げる。

まず 1 つの空間当たりの劇場的活動の数について、集会機能が 32.3 であり、会場空間の種類数の全体合計に占める割合 51%は、劇場的活動の数は全体合計に占める割合 71%と比較すると少ない。対象とする全ての活動の 1 つの空間当たりの平均活動数 23.4 に注目すると、集会機能以外の機能の空間は平均以下である。集会機能は会場の種類についても、劇場的活動の他の機能の空間が多く、1 つの空間当たりの活動も多いことが示されている。

次に空間の形式に関して、i 形式の空間の種類は全体合計の 13%でありながら、劇場的活動の数は全体合計の 41%を占め、1 つの空間当たりの劇場的活動数は 76.7 と 1 つの空間当たりで最も多く劇場的活動が実施されている。更に次いで iv 形式の空間で 1 つの空間当たりの劇場的活動数が 30.8 と多くの劇場的活動が実施されている。

また i 形式の空間は最も劇場性の強い空間であることから活動数が多いことは必然的であるが、iv、iii 形式のような劇場性が強いとは言えない空間で行われる活動が過半数を占めることについては注目に値する。特に iv 形式で行われる活動は動線空間であることから、音響等の設備面においては優秀であると言い難く、また 1 つの舞台や映像を注視することを前提とした建築的な面において“ハコ”をさす意味での“劇場”での活動とは異なった目的のもと実施されているものと思われる。これらのことは次節より劇場的活動の性質との関係性を見ていく上で継続して言及する。

第4章 公立美術館における劇場的活動（ソフト）と劇場的空間（ハード）の相関性

前項の結果を踏まえて、表 4-2-3 から施設別の会場空間と劇場的活動の対応を踏まえて、考察を行う。

表 4-2-3 劇場的活動の会場空間

番号	施設名称	劇場 的活動 数(a)	(※) 記載 数(b)	網羅 率 (b/a)	会場 空間 種数	空間の名称	劇場的活動の数													
							機能							形式						
							展示	学習	上映	創作	集会	i	ii	iii	iv	v				
							数 (a)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)
1	北海道立近代美術館	10	10	100%	3	ホール 講堂 映像室			2	20%	6	60%	2	20%			6	60%		
									1	10%					1	10%				

まず上映機能が会場空間となる劇場的活動については表 4-2-3 が示す北海道三岸好太郎美術館の映写室での活動 1 つのみであり、前章で示したように、劇場的活動のジャンルは音楽に次いで映画であることを鑑みるならば、上映の機能はその他の空間に移行、若しくは統合されたとみることができる。

この点は 2 章においても上映機能の一般化に伴い、室名称に上映機能を冠さなくなったと指摘したが、ハード、ソフトの両面から同一の見解を実証することができた。

次に施設別の活動数、会場種数、空間の分類を用いて、中でも特徴的な施設について取り上げる。

まず表 4-2-4 では北海道立三岸好太郎美術館以外の施設ごとの 100 を超える活動数をする 5 施設（青森県美術館、世田谷美術館、金沢 21 世紀美術館、兵庫県立美術館、長崎県美術館）の活動を抜粋して着目する。

表 4-2-4 劇場的活動の会場空間

番号	施設名称	劇場 的活動 数(a)	(※) 記載 数(b)	網羅 率 (b/a)	会 場 空 間 種		劇場の活動の数																			
							機能										形式									
							展示		学習		上映		創作		集会		i		ii		iii		iv		v	
							数 (a)	割合 (c)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)	数 (c)	割合 (c/b)
5	青森県立美術	317	306	97	13	小計	22	7%				35	11%	249	81%	223	73%			72	24%	2	1%	9	3%	
20	世田谷美術館	109	109	100	5	小計	13	12%	65	60%		24	22%	6	6%			65	60%	39	36%	5	5%			
29	金沢21世紀美	534	444	83	14	小計	26	6%	3	1%		13	3%	402	91%	335	75%	1	0%	44	10%	47	11%	17	4%	
41	兵庫県立美術	237	236	100	8	小計	4	2%	10	4%		88	37%	134	57%	82	35%			98	42%	54	23%	2	1%	
54	長崎県美術館	443	443	100	8	小計	41	9%	2	0%		2	0%	398	90%	66	15%			21	5%	355	80%	1	0%	

これらは会場空間種数が全て 5 以上あり、前章ではジャンル・形式共に多岐にわたった。これらの 5 施設は劇場的活動を精力的に行っているとした施設であるが、更に劇場的活動の充実度に即した空間を備えているといえる。

次に表 4-2-5 において展示機能、iii 形式の空間である展示室を会場として行われている北海道立三岸好太郎美術館の活動について、更に同様に展示機能、iv 形式の空間であるロダン館で行われている静岡県立美術館の活動について抜粋する。

表 4-2-5 劇場的空間の分類

番号	施設名称	劇場の活動数 (a)	(※)記載数(b)	網羅率 (b/a)	会場空間種	空間の名称	劇場の活動の数															
							機能										形式					
							展示		学習		上映		創作		集会		Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ	
数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
3	北海道立三岸好太郎美術館	117	103	88%	1	展示室(第3展示室)	103	100%											103	100%		
34	静岡県立美術館	10	10	100%	1	ロダン館	10	100%												10	100%	

両者は全て単一の空間で行われており、前章において両施設共に概ね全てのジャンルが音楽、形式は上演型であった。また料金の形態については展示観覧料を有料、活動観覧料を無料であるものについて、前者は93%、後者に至っては全ての活動が該当した。これらのことから、これらの活動は展示と関係している音楽を上演であることが考えられる。ところで両施設は、前者は美術館の名称となっている三岸好太郎、後者は空間の名称となっているロダンという作家に絞った展示がされていることで共通している。これらの作家性が劇場的活動にテーマ性をもたせているものと推察される。

次に表 4-2-1 で示した各空間の分類を機能、形式ごとに抽出したものを表 4-2-6 に示す。

表 4-2-6 空間の機能、形式ごとの空間数と劇場的活動の数

空間の形式 空間の機能		合計		i		ii		iii				iv				v							
		会場空間	活動	会場空間	活動	会場空間	活動	会場空間	活動	会場空間	活動	会場空間	活動	会場空間	活動	会場空間	活動						
		数(a)	数(b)	数(c)	割合 (c/a)	数(d)	割合 (d/a)	数(c)	割合 (c/a)	数(d)	割合 (d/a)	数(c)	割合 (c/a)	数(d)	割合 (d/a)	数(c)	割合 (c/a)	数(d)	割合 (d/a)				
合計	数(e)	80	1875	10	13%	767	41%	6	8%	122	7%	32	40%	393	21%	18	23%	552	29%	14	18%	38	2%
展示	数(f)	20	236									15	75%	189	80%	3	15%	39	17%	2	10%	6	3%
	割合(f/e)	25%	13%									47%		48%		17%		7%		14%		16%	
学習	数(f)	12	153	3	25%	34	22%	4	33%	101	66%	5	42%	18	12%								
	割合(f/e)	15%	8%	30%		4%		67%		83%		16%		5%									
上映	数(f)	1	1									1	100%	1	100%								
	割合(f/e)	1%	0%									3%		0%									
創作	数(f)	7	162									6	86%	160	99%					1	14%	2	1%
	割合(f/e)	9%	9%									19%		41%						7%		5%	
集会	数(f)	40	1323	7	18%	733	55%	2	5%	21	2%	5	13%	25	2%	15	38%	513	39%	11	28%	30	2%
	割合(f/e)	50%	71%	70%		96%		33%		17%		16%		6%	83%		93%		79%		79%		

空間の形式について会場空間の数についてみると、前述したようにiii形式、次いでiv、v、i、iiの順となっており、iiiの空間については全機能の種類を網羅している。同様に空間の機能について会場空間は、集会機能が全形式の種類の空間を有している。

また、会場空間の数が最も多かったのは展示機能のiii形式の空間（活動数は189）と、集会機能のivの空間（活動数513）となっている。

これは2章で公立美術館全体の空間の整備状況について展示、集会機能が順に多いことと符合する。前者の活動数については表 4-2-5 と合わせてみると、北海道三岸好太郎美術

館における展示室での活動が多くを占めており、後者は1つの空間当たりの活動数が高い。また、活動数が最も多かったのは集会機能のi形式の空間で733である。これらは会場空間の数も7であり、1つ空間当たりの活動数が最も高くなっており、2章で設定した劇場的性の強い空間であるという前提に即した結果となった。

4-3 劇場的空間とジャンルと形式の相関性

次に劇場的空間の分類結果と前章で設定した劇場的活動の性質とのクロス集計を用いてソフトとハードの相関関係に言及する。まずジャンルと空間の機能の相関性についてと表4-3-1に示す。また会場空間に関して記載がある活動のみを抽出しているため、全体合計の数・割合については前章で示したものとは若干異なる。

表 4-3-1 劇場的活動のジャンルと形式と空間の機能の関係

劇場的活動のジャンル・形式	空間の機能	合計		音楽		演劇		舞踊		伝統芸能		朗読		その他1		映画		映画WS		その他2												
		上演		上演		WS		上演		WS		上演		WS		上演		WS		上演												
		数(a)	数(b)	数(c)	割合(c/a)	数(d)	割合(d/b)	数(e)	割合(e/a)	数(f)	割合(f/b)	数(g)	割合(g/a)	数(h)	割合(h/b)	数(i)	割合(i/a)	数(j)	割合(j/b)	数(k)	割合(k/a)											
合計	数(e)	1878	1754	124	1023	58%	12	10%	159	9%	29	23%	74	4%	13	10%	36	2%	1	1%	81	5%	56	45%	10	1%	362	21%	13	10%	9	1%
展示	数(f)	235	229	6	189	83%	1	17%	10	4%			10	4%	1	0%					16	7%	4	2%	4	2%						
	割合(f/e)	13%	13%	5%	18%		8%	6%					14%	4%	6%						20%	7%		40%								
学習	数(f)	154	143	11	54	38%	4	36%	8	6%	7	64%	1	1%			12	8%			9	6%					59	41%				
	割合(f/e)	15%	8%	9%	5%	33%		5%		24%	1%						33%			11%						16%						
上映	数(f)	1	1																	1	100%											
	割合(f/e)	0%	0%																	1%												
制作	数(f)	162	88	74	80	91%	2	3%	4	5%	20	27%			1	1%			2	2%	50	57%	1	1%					2	3%		
	割合(f/e)	9%	5%	60%	8%		17%		3%	69%					3%				2%		89%		10%				15%					
集会	数(f)	1326	1293	33	700	54%	5	15%	137	11%	2	6%	63	5%	12	36%	23	2%	1	3%	53	4%	2	0%	5	0%	303	23%	11	33%	9	1%
	割合(f/e)	71%	74%	27%	66%		42%	86%	7%	85%		92%	64%	100%		65%		4%		50%	84%		85%		100%							

まず、上演形式の活動について言及する。空間の機能に関して個別にみると、音楽の活動は全体合計が1023で全体の58%となっており最も多くの割合を占めている。

その中でも展示機能の空間では上演形式の音楽の活動が189実施され、展示機能の空間全体での上演形式の劇場的活動229の中の83%と多くの割合を占める。

同様に創作機能の空間では上演形式の音楽の活動が80実施されており、創作機能の空間全体での上演形式の活動88の中の91%と多くの割合を占める。

一方でそれと比較すると集会機能の空間では上演形式の音楽の活動が700実施されているが、集会機能の空間全体で行う上演形式の活動1293に対して54%の割合に留まっている。

更に学習機能の空間で実施される上演形式の音楽の活動は54であり、学習機能全体で実施される上演形式の活動の38%と小さい割合となっている。

これらの結果の理由としては、音楽が比較的实施しやすい活動であることが考へる。実際として集会、学習機能の空間に関しては、演劇、舞踊、伝統芸能等準備に時間がかかり、また設備が必要な活動が多くの割合で実施されている。

映写設備が必要な映画の活動については全体合計の数が362となっており割合は21%であるが、学習機能の空間では数が59、割合が41%、集会では数が303、割合が23%となっており、その他の機能の空間では行われていない。これは映写設備をもつ空間のみで活動が行われているためと推察される。

続いて空間の形式と劇場的活動のジャンルと形式の対応について表 4-3-2 に示す。

表 4-3-2 劇場的活動のジャンルと形式と空間の形式の関係

劇場活動のジャンル・形式	空間の形式	合計		音楽		演劇		舞踊		伝統芸能		劇団		その他1		映画		映画WS		その他2												
		上演	WS	上演	WS	上演	WS	上演	WS	上演	WS	上演	WS	上演	WS	上演	WS	上演	WS	上演	WS											
		数(a)	数(b)	数(c)	割合(c/a)	数(d)	割合(d/b)	数(e)	割合(e/c)	数(f)	割合(f/d)	数(g)	割合(g/e)	数(h)	割合(h/f)	数(i)	割合(i/g)	数(j)	割合(j/h)	数(k)	割合(k/i)	数(l)	割合(l/j)									
合計	数(e)	1878	1754	124	1023	58%	12	10%	159	9%	29	23%	74	4%	13	10%	36	2%	1	1%	81	5%	56	45%	10	1%	362	21%	13	10%	9	1%
i	数(f)	768	742	26	156	21%	4	15%	120	16%	2	8%	54	7%	9	35%	21	3%			44	6%			3	0%	335	45%	11	42%	9	1%
	割合(f/a)	41%	42%	21%	15%	33%		75%		7%		73%		69%		58%					54%				30%		93%	85%		100%		
ii	数(f)	125	119	6	75	63%		6	5%	6	5%	1	1%			2	2%					9	8%					26	22%			
	割合(f/a)	7%	7%	5%	7%			4%		21%		1%				6%					11%						7%					
iii	数(f)	391	306	85	246	80%	8	9%	14	5%	21	7%	8	3%		11	4%			22	7%	54	18%	4	1%	1	0%	2	2%			
	割合(f/a)	21%	17%	69%	24%	67%		9%		72%		11%				31%				27%		96%		40%		0%		15%				
iv	数(f)	550	543	7	524	97%		1	0%			9	2%	4	57%	2	0%	1	14%	4	1%	2	0%	3	1%							
	割合(f/a)	29%	31%	6%	51%			1%				12%		31%		6%		100%		5%		4%		30%								
v	数(f)	44	44		22	50%		18	41%		2	5%								2	5%											
	割合(f/a)	2%	3%		2%			11%				3%								2%												

続いて空間の形式に関しては、上演形式の音楽に関して言及する。全体合計で 1023 の活動が実施されており、会場の記載がある劇場的活動の 1878 の 58%を占めるが、形式ごとの全体合計に占める割合について比較する。

iv 形式の空間では 524 の音楽の上演形式の活動が実施され、iv 形式の空間全体で実施される上演形式の活動 543 のうち 97%とほぼ全ての活動の割合を占める。

更に iii 形式の空間では 248 の音楽の上演形式の活動が実施され、iii 形式の空間全体で実施される上演形式の活動 308 のうち 80%の割合を占める。

また ii 形式の空間で実施される音楽の上演形式の活動は 75 で、ii 形式の空間全体で実施される上演形式の活動 119 のうち 63%の割合を占める。

同様に v 形式の空間で実施される音楽の上演形式の活動は 22 で、v 形式の空間全体で実施される上演形式の活動 44 のうち 50%の割合を占める。

一方で i 形式の空間で実施される音楽の上演形式の活動は 156 で、i 形式の空間全体で実施される上演形式の活動 156 のうち 21%と占める割合は少ない。

この結果をうけてまず iv 形式の空間において行われる活動のほぼ全てが音楽であることの理由を考察する。

音楽はそれ以外のジャンルの活動と比較すると聴覚芸術の側面が強く、活動を享受可能な範囲が大きいことが理由として挙げられる。前節において iv 形式の空間は活動を十全に享受するためには音響などの設備面において不十分であることについて言及したが、動線空間である iv 形式の空間では、その他の空間にいても観覧など活動以外の行為に及んでいても、併せて活動を享受できる。また観覧者の利用頻度の高い動線空間で活動を行うことで、衆目を集め、多様な芸術体験につながると考えられる。

表 4-3-2 劇場的活動のジャンルと形式と空間の形式の関係

劇場活動のジャンル・形式		合計		音楽		演劇		舞踊		伝統芸能		劇団		その他1		映画		映画WS		その他2													
		上演		WS		上演		WS		上演		WS		上演		WS		上演		WS													
		数(a)	数(b)	数(c)	割合(c/a)	数(d)	割合(d/b)	数(e)	割合(e/a)	数(f)	割合(f/b)	数(g)	割合(g/a)	数(h)	割合(h/b)	数(i)	割合(i/a)	数(j)	割合(j/b)	数(k)	割合(k/a)												
空間の形式		数(e)	1878	1754	124	1023	58%	12	10%	159	9%	29	23%	74	4%	13	10%	36	2%	1	1%	81	5%	56	45%	10	1%	362	21%	13	10%	9	1%
i	数(f)	768	742	26	156	21%	4	15%	120	16%	2	8%	54	7%	9	35%	21	3%			44	6%			3	0%	335	45%	11	42%	9	1%	
	割合(f/e)	41%	42%	21%	15%	33%		75%		7%		73%		69%		58%					54%				30%		93%		85%		100%		
ii	数(f)	125	119	6	75	63%			6	5%	6	5%	1	1%			2	2%			9	8%					26	22%					
	割合(f/e)	7%	7%	5%	7%			4%		21%		1%				6%					11%						7%		22%				
iii	数(f)	391	306	85	246	80%	8	9%	14	5%	21	7%	8	3%			11	4%			22	7%	54	18%	4	1%	1	0%	2	2%			
	割合(f/e)	21%	17%	69%	24%	67%		9%		72%		11%				31%					27%		96%		40%		0%		15%				
iv	数(f)	550	543	7	524	97%			1	0%			9	2%	4	57%	2	0%	1	14%	4	1%	2	0%	3	1%							
	割合(f/e)	29%	31%	6%	51%			1%				12%		31%		6%		100%			5%		4%		30%								
v	数(f)	44	44		22	50%			18	41%			2	5%							2	5%											
	割合(f/e)	2%	3%		2%			11%				3%									2%												

逆に i 形式の空間では映画の上演形式の活動が 335 実施され、i 形式の空間全体で実施される上演形式の活動 742 のうち、45%と最も多くの割合を占める。

また映画の上演形式の活動の合計は 362 であるが、そのうち i 形式の活動の割合は 93%を占め、他には ii 形式の空間での活動 26 と、iii 形式の空間での活動 1 が実施されているが、iv 形式、v 形式の空間では実施されていない。

これは前節でした考察と同様に映写設備を持つ空間でのみ活動が行われていると推察される。

4-4 劇場的空間と実施時間の相関性

前節で分類した劇場的空間ごとに劇場的活動の平均実施時間を表 4-4-1 に示す。なお、上映機能の空間で実施される劇場的活動は 1 つのみであるため、分析対象から除外する。

表 4-4-1 会場空間の機能・形式ごとの平均実施時間（分）

全体平均	機能					形式				
	展示	学習	上映(※)	創作	集会	i	ii	iii	iv	v
86.4	50.5	86.8	30.0	117.6	91.0	122.3	81.4	86.6	39.1	128.6

(※) 上映機能の空間で実施される劇場的活動は 1 つのみであるため対象から除外する

全体としての平均実施時間が 86.4 分である中、まず空間の機能について注目すると、平均実施時間の長さは創作機能の空間での活動が 117.6 分、集会機能の空間での活動が 91.0 分、学習機能の空間での活動が 86.8 分、展示機能の空間での活動が 50.5 分と順に長い。

空間の形式について見ると、v 形式の空間での活動が 128.6 分、i 形式の空間での活動が 122.3 分、iii 形式の空間での活動が 86.6 分、ii 形式の空間での活動が 81.4 分、iv 形式の空間での活動が 39.1 分と順に長い。

特に iv 形式の空間は 39.1 分と全体平均や他の形式の空間の平均実施時間と比較しても極めて短い。

これらの結果の理由として、展示機能の空間での活動や、iv 形式の空間での活動の実施時間の平均実施時間が短いことに関しては、前節でこれらの空間では上演形式の音楽の活動が実施されていることに言及した。また、前章でジャンルや形式としても平均実施時間の短いことについて記述した。これらの理由から、平均実施時間が短くなるものと推察される。

また i 形式の空間に関しては劇場性の強い空間としたが、長時間の劇場的活動が実施可能な空間であることを示している。

4-5 劇場的空間と開館時間の相関性

次に劇場的空間と劇場的活動の実施時間と施設の閉館時刻の相関性をみる。まず会場空間の機能ごとに閉館時間との関係の分布を4-5-1に示す。

なお前章で劇場的活動の実施時間と閉館時刻との関係について言及した際にも触れたが、金沢21世紀美術館はエリアごとに閉館時刻が設定されているため、同館で実施される活動については対象外とする。その上で公式HPに実施時刻（開始・終了時刻）と尚且つ会場空間について記載されている1411の劇場的活動を研究対象とする。

4-5-1 空間の機能と劇場的活動の実施時間と施設の閉館時刻の関係

劇場の活動の実施 時間と閉館時刻 空間の機能		(※) 記載 数(a)	閉館時刻以前に開始								閉館時刻以 後に開始		閉館時刻以後に開始				記載 なし
			数(b)	割合 (b/a)	閉館時刻以 前に終了		閉館時刻以 後に終了		終了時刻記 入なし(※)		数(b)	割合 (b/a)	閉館時刻以 後に終了		終了時刻記 入なし(※)		
					数(b)	割合 (b/a)	数(b)	割合 (b/a)	数(b)	割合 (b/a)			数(b)	割合 (b/a)	数(b)	割合 (b/a)	
合計	数(e)	1411	1271	90%	881	62%	26	2%	364	26%	140	10%	84	6%	56	4%	18
展示	数(f)	207	198	96%	145	70%	1	0%	52	25%	9	4%	3	1%	6	3%	
	割合(f/e)	15%	16%		16%				14%		6%		4%		11%		
学習	数(f)	149	139	93%	75	50%	8	5%	56	38%	10	7%			10	7%	2
	割合(f/e)	11%	11%		9%		31%		15%		7%				18%		11%
上映	数(f)	1	1	100%	1	100%											
	割合(f/e)	0%	0%		0%												
創作	数(f)	148	148	100%	56	38%	11	7%	81	55%							1
	割合(f/e)	10%	12%		6%		42%		22%								6%
集会	数(f)	906	785	87%	604	67%	6	1%	175	19%	121	13%	81	9%	40	4%	15
	割合(f/e)	64%	62%		69%		23%		48%		86%		96%		71%		83%

(※) 公式HPに実施時刻（開始・終了時刻）、会場空間について記載されているものをそれぞれ対象とする。
また金沢21世紀美術館の閉館時刻はエリアごとに設定されているため対象外とする。

閉館時刻以前に開始している活動全体での合計の中では1271であり、対象とする活動全体の合計1411のうち、90%を占め、閉館時刻以後に開始している活動140は全体合計の10%の割合である。

その中でも創作機能の空間で実施されている148の全ての活動が閉館時刻以前に開始している。

また、展示機能の空間では実施されている198の活動が開始時刻以前に開始しており、展示機能の空間全体で実施される207の活動のうち96%の割合を占め、閉館時刻以後に開始される活動は9で全体合計の4%の割合に留まっている。

また、学習機能の空間では実施されている75の活動が開始時刻以前に開始しており、学習機能の空間全体で実施される149の活動のうち93%の割合を占め、閉館時刻以後に開始される活動は10で全体合計の7%の割合となっている。

一方で集会機能の空間では実施されている785の活動が開始時刻以前に開始しており、集会機能の空間全体で実施される906の活動のうち87%の割合と比較的少なく、閉館時刻以後に開始して活動は121と集会機能の空間全体で占める割合は13%と多くなっている。また集会機能で実施さ

第4章 公立美術館における劇場的活動（ソフト）と劇場的空間（ハード）の相関性

れる活動は全体合計の 1411 のうち 64%を占めるが、閉館時刻以後に開始される活動については全体合計の 140 のうち 86%の割合と多数を占める。

閉館時刻以前に開始して閉館時刻以後に開始している活動が創作機能の空間で 11（創作機能の全活動中 7%）、学習機能の空間で 8（学習機能の全活動中 5%）と他の機能の空間での実施と比較して多いことは世田谷美術館の地下創作室、又は講堂で実施されている WS 形式の活動が影響している。

次に会場空間の形式ごとに劇場的活動の実施時間と施設の閉館時刻との関係について表 4-5-2 に示す。

表 4-5-2 空間の形式と劇場的活動の実施時間と施設の閉館時刻の関係

空間の形式	劇場の活動の実施 時間と閉館時刻	(※) 記載 数(a)	閉館時刻以前に開始								閉館時刻以 後に開始		閉館時刻以後に開始				記載 なし
			数(b)	割合 (b/a)	閉館時刻以 前に終了		閉館時刻以 後に終了		終了時刻記 入なし(※)		数(b)	割合 (b/a)	閉館時刻以 後に終了		終了時刻記 入なし(※)		
					数(b)	割合 (b/a)	数(b)	割合 (b/a)	数(b)	割合 (b/a)			数(b)	割合 (b/a)			
合計	数(e)	1411	1271	90%	881	62%	26	2%	364	26%	140	10%	84	6%	56	4%	18
i	数(f)	425	331	78%	243	57%	8	2%	80	19%	94	22%	51	12%	43	10%	5
	割合(f/e)	30%	26%		28%		31%		22%		67%		61%		77%		28%
ii	数(f)	114	113	99%	55	48%	3	3%	55	48%	1	1%			1	1%	10
	割合(f/e)	8%	9%		6%		12%		15%		1%				2%		56%
iii	数(f)	346	335	97%	186	54%	12	3%	137	40%	11	3%	3	1%	8	2%	1
	割合(f/e)	25%	26%		21%		46%		38%		8%		4%		14%		6%
iv	数(f)	500	472	94%	389	78%	2	0%	81	16%	28	6%	24	5%	4	1%	2
	割合(f/e)	35%	37%		44%		8%		22%		20%		29%		7%		11%
v	数(f)	26	20	77%	8	31%	1	4%	11	42%	6	23%	6	23%			
	割合(f/e)	2%	2%		1%		4%		3%		4%		7%				

(※) 公式HPに実施時刻（開始・終了時刻）、会場空間について記載されているものをそれぞれ対象とする。
また金沢21世紀美術館の閉館時刻はエリアごとに設定されているため対象外とする。

前述したように閉館時刻以前に開始している活動全体での合計の中では 1271 であり、対象とする活動全体の合計 1411 のうち、90%を占め、閉館時刻以後に開始している活動 140 は全体合計の 10%の割合である中で、個別の形式の空間ごとの劇場的活動について言及する。

まず ii 形式の空間では 113 の活動が閉館時刻以前に開始され、ii 形式の空間全体で実施される 114 の活動の内 99%とほぼ全ての割合を占め、閉館時刻以後に開始される活動は 1 で全体合計の 1%の割合に留まっている。

また、iii 形式の空間では 335 の活動が閉館時刻以前に開始され、iii 形式の空間全体で実施される 346 の活動の 97%の割合を占め、閉館時刻以後に開始される活動は 11 で全体合計の 3%なる。

更に、iv形式の空間では472の活動が閉館時刻以前に開始され、iv形式の空間全体で実施される500の活動の94%の割合を占めるが、閉館時刻以後に開始される活動が28あり、全体合計の割合は6%である。閉館時刻以後に開始される活動は全体合計で140あるが、そのうちiv形式の空間で実施される活動は20%を占める。

一方でv形式の空間では20の活動が開始時刻以前に開始されるが、v形式の空間で実施される26の活動の内77%の割合となり、比較的小さい割合となる。対して閉館時刻以後に開始される活動は6あり、v形式の空間全体で実施される活動の割合は23%である。

また、i形式の空間では331の活動が開始時刻以前に開始されるが、i形式の空間全体で実施される425の活動のうちでは78%の割合となり、同様に比較的小さい割合である。逆に閉館時刻以後に開始される活動は94あり、i形式の空間全体で実施される活動の割合は22%である。また、閉館時刻以後に開始される活動の全体合計140に対してもi形式の空間での活動は67%の割合を占める。これは対象とする活動の合計1411の内、i形式の空間で行われる活動の割合が30%であることを鑑みると、2倍以上の多くの割合を示していることになる。v形式の空間での活動の数が少ないが同様の指摘が可能である。

これらの結果を踏まえて考察を述べる。

iv形式の空間で閉館時刻以後に開始している活動が28あることに関しては、エントランスホールなど出入り口に面した空間が含まれるため、展示室などの他の空間への動線を閉鎖した状態でも、該当の空間のみを利用することで、閉館時刻後も劇場的活動を実施することができることが考えられる。

さらにv形式の空間には施設の屋外であることから同様のことが言える。

逆にii、iiiの形式の空間は展示室や創作室などが含まれるが、閉館時刻以後に実施される劇場的活動があまり見られないことから、規定されて閉館時刻内の利用を見込んだ空間整備をされていることが見込まれる。

一方でiの形式の空間では閉館時刻以後に開始する活動は94あり、iの形式の空間で実施される全体の数の合計の22%を占め、全形式の合計である140の活動の中でも67%を占める。このことから、iの形式の空間では直接、若しくは動線空間を介して出入りできるようになっていると推察される。

4-6 劇場的空間と料金体系の相関性

次に劇場的空間と料金の相関性をみる。劇場的活動の料金タイプについては前章で示したように4パターンであり、劇場的活動が実施される会場空間の機能ごとに料金パターンの区分を示したものを表4-6-1に記す。なお本節では公式HPに会場空間と料金2つについて記述がある劇場的活動1824について分析対象とする。

表4-6-1 劇場的活動の会場空間の機能と料金タイプの関係

劇場的活動の料金 空間の機能	(※1) 記載数 (a)	合計			タイプ1		タイプ2		タイプ3		タイプ4		(※1) 記載 なし
		(※2) 数(b)	網羅 率 (a/b)	数(c)	割合 (c/b)	数(c)	割合 (c/b)	数(c)	割合 (c/b)	数(c)	割合 (c/b)	数(c)	
合計	数(e)	1878	1824	97%	995	55%	224	12%	581	32%	24	1%	54
展示	数(f)	236	225	95%	30	13%	180	80%	13	6%	2	1%	11
	割合(f/e)	13%	12%		3%		80%		2%		8%		20%
学習	数(f)	153	141	92%	89	63%	6	4%	35	25%	11	8%	12
	割合(f/e)	8%	8%		9%		3%		6%		46%		22%
上映	数(f)	1	1	100%	1	100%							
	割合(f/e)	0%	0%		0%								
創作	数(f)	162	151	93%	96	64%	3	2%	52	34%			11
	割合(f/e)	9%	8%		10%		1%		9%				20%
集会	数(f)	1326	1306	98%	779	60%	35	3%	481	37%	11	1%	20
	割合(f/e)	71%	72%		78%		16%		83%		46%		37%

タイプ1…劇場的活動観覧料は不要で、展示観覧料も不要
 タイプ2…劇場的活動観覧料は不要で、展示観覧料が必要
 タイプ3…劇場的活動観覧料が必要で、展示観覧料が不要
 タイプ4…劇場的活動観覧料が必要で、展示観覧料も必要

(※1)公式HPに会場空間についての記述があるもの
 (※2)公式HPに会場空間と料金についての記述があるもの

まず全体合計1874の活動の中では料金タイプ1の活動が995あり、全体合計の55%と過半数の割合を占めている。

次いで料金タイプ3の活動が581となっており、全体合計の32%の割合を占める。

また、料金タイプ2の活動は224であり、全体合計の12%の割合となる。最も少ないのは料金タイプ4の活動で24であり、全体合計の割合は1%なる。

次に料金タイプごとに、空間の機能との相関について、特徴的なものを言及する。

料金タイプ1についてみると、創作機能の空間での活動が96で、創作機能の空間全体で実施される活動151の内64%の割合を占める。

また、学習機能の空間での89の活動が料金タイプ1で、学習機能の空間全体で実施される活動141の内63%を占める。

更に、集会機能の空間での779の活動が料金タイプ1で、集会機能の空間全体で実施される活動1306のうち60%を占める。

逆に展示機能の空間では料金タイプ1の活動は30であり、展示機能の空間全体で実施

される活動 225 の内 13% と非常に占める割合が少ない。

一方で料金タイプ2についてみると、全体合計では 224（12%）の活動が実施されている中、展示機能の空間で実施されている活動は 180 あり、展示機能の空間全体で実施されている活動の 80% と高い割合を占める。

他の機能の空間で実施されている活動については、学習機能の空間で 6 の活動が実施され、同機能の空間全体の占める割合は 4%、集会機能の空間では 35 の活動が実施され、同機能の空間全体で占める割合は 3%、創作機能の空間では 3 の活動が実施され、同機能の全体で占める割合は 2% となっており、軒並み低い割合を示している。

これは展示機能の空間は展示を享受するための空間であるため展示観覧料のみが設定されていることが伺える。また、展示以外の機能の空間では無料での劇場的活動が過半数を超えていることを示している。

次に劇場的活動が実施される会場空間の形式ごとに料金パターンの区分を示したものを表 4-6-2 に記す。

表 4-6-2 劇場的活動の会場空間の形式と料金タイプの関係

劇場的活動の料金 空間の形式		(※1) 記載数 (a)	合計		タイプ1		タイプ2		タイプ3		タイプ4		(※1) 記載 なし
			(※2) 数(b)	網羅 率 (a/b)	数(c)	割合 (c/b)	数(c)	割合 (c/b)	数(c)	割合 (c/b)	数(c)	割合 (c/b)	
合計	数(e)	1878	1824	97%	995	55%	224	12%	581	32%	24	1%	54
i	数(f)	771	758	98%	269	35%	29	4%	453	60%	7	1%	13
	割合(f/e)	41%	42%		27%		13%		78%		29%		24%
ii	数(f)	125	111	89%	74	67%			26	23%	11	10%	14
	割合(f/e)	7%	6%		7%				4%		46%		26%
iii	数(f)	388	367	95%	141	38%	149	41%	75	20%	2	1%	21
	割合(f/e)	21%	20%		14%		67%		13%		8%		39%
iv	数(f)	550	544	99%	482	89%	45	8%	13	2%	4	1%	6
	割合(f/e)	29%	30%		48%		20%		2%		17%		11%
v	数(f)	44	44	100%	29	66%	1	2%	14	32%			
	割合(f/e)	2%	2%		3%		0%		2%				
タイプ1…劇場的活動観覧料は不要で、展示観覧料も不要 タイプ2…劇場的活動観覧料は不要で、展示観覧料が必要 タイプ3…劇場的活動観覧料が必要で、展示観覧料が不要 タイプ4…劇場的活動観覧料が必要で、展示観覧料も必要													
(※1) 公式HPに会場空間についての記述があるもの (※2) 公式HPに会場空間と料金についての記述があるもの													

空間の形式ごとに料金タイプの区分をみる。

まず料金タイプ1の活動は、全体合計では 995 であり対象とする活動の 55% である。

その中で iv 形式の空間は 482 の活動が料金タイプ1で、iv 形式の空間全体の活動 544 のう

ち 89%と大部分の割合を占める。

また、ii形式の空間での74の活動が料金タイプ1で、ii形式の空間全体の活動111のうち67%と過半数の割合を占める

更にv形式の空間では29の活動が料金タイプ1で、v形式の空間全体の活動44のうち66%と同じく過半数の割合を占める。

一方で、i形式の空間では269の活動が料金タイプ1で、i形式の空間全体の活動758のうち35%の割合に留まっている。

料金タイプ2の活動については、全体合計では224であり対象とする活動の12%である。

その中で、iii形式の空間での149活動が料金タイプ2で、iii形式の空間全体での活動のうち41%を占め、料金タイプ2の活動全体の中でも67%と過半数を占める。

その他の形式の空間としてはiv形式の空間で45の活動が料金タイプ2で、iv形式の空間全体での活動の内では8%の割合に留まる。

また、i形式の空間での29活動が料金タイプ2で、i形式の空間全体での活動の内では4%と占める割合は少なくなっている。

同様に、v形式の空間での1活動が料金タイプ2で、v形式の空間全体での活動の内では2%の割合である。

ii形式の空間に関しては料金タイプ2の活動が実施されていない。

料金タイプ2の活動は展示観覧料のみが必要であることから、この料金を徴収する活動に関しては展示との関連性を示唆できる。劇場的活動が実施されている空間にも同様の指摘が可能で、iiiは展示室などの展示機能の空間が多分に含まれているため、料金タイプ2の活動が実施される活動が多いことは必然である。

料金タイプ3の活動については、全体合計では581であり、対象とする活動の32%である。

その中でi形式の空間では453の活動が料金タイプ3で実施されており、i形式の空間全体で実施される活動758の内60%と、過半数の割合を占める。

一方でv形式の空間では14の活動が料金タイプ3で実施され、v形式の空間全体で実施される活動44の内32%の割合に留まっている。

また、ii形式の空間では26の活動が料金タイプ3で実施され、ii形式の空間全体で実施される活動111の内23%の割合である。

更にiii形式の空間では75の活動が料金タイプ3で実施され、iii形式の空間全体で実施

される活動 367 の内 20% の割合である。

また、iv形式の空間では4の活動が料金タイプ3で実施され、iv形式の空間全体で実施される活動 544 のうち割合は1%に満たない。

i形式の空間は料金タイプ1の活動が同形式の空間での活動全体の35%と、平均である55%を大きく下回ったが、一方で、料金タイプ3の活動は同形式の空間での活動全体の過半数を占めることは、劇場性の強い空間における活動内容に対し、別途活動の観覧料を設定したためであると思われる。

料金タイプ4の活動については、全体合計では24であり、対象となる活動の僅か1%である。

その中でもiiの形式の空間では11の活動が料金タイプ4で実施され、ii形式の空間全体で実施される活動 111 の内の10%を占める。その他の形式の空間ではiの形式の空間では7、iiiの形式の空間では2、ivの形式の空間では4の活動が実施され、全て同形式の空間全体で実施される活動の1%と割合は少なくなっている。

4-7 まとめ

本章での研究結果を以下にまとめる。

- ①客席と奥行き 3 間以上の舞台を有す形式の空間に次いで多く動線空間で劇場的活動が実施されている。
- ②上演機能の空間は 1 だけであり、活動も 1 のみ。
- ③青森県美術館、世田谷美術館、金沢 21 世紀美術館、兵庫県立美術館、長崎県美術館は多岐にわたるジャンルの活動が上演され、WS も開催されているが、会場空間の種類も豊富であり、劇場的活動の充実度に即した空間を備えている
- ④北海道立三岸好太郎美術館、静岡県立美術館で行われる劇場的活動はほぼ全て音楽上演であり、展示観覧料が必要、活動観覧料は不要であり、単一の展示空間を会場としている。
- ⑤展示機能、創作機能の空間、動線形式の空間で実施される活動のほとんどが音楽上演。
- ⑥展示機能、動線形式の空間では劇場的活動の平均実施時間が短い。
- ⑦屋外空間、客席と奥行き 3 間以上の舞台を有す形式の空間では劇場的活動の平均実施時間が長い。
- ⑧閉館時間以降の活動は客席と奥行き 3 間以上の舞台を有す形式の空間で多く実施されており、動線空間でも数は多くはないが実施されている。
- ⑨展示機能の空間で実施されている活動のほとんどは展示のための観覧料のみで観覧可能である。
- ⑩客席と奥行き 3 間以上の舞台を有す形式の空間で実施される劇場的活動は、展示のための観覧料ではなく、劇場的活動に対して設定された観覧料を徴収するものが過半数を占める。

第 5 章

金沢 21 世紀美術館における劇場的空間・活動の特性

5-1 本章の概要

5-1-2 本章の目的

5-1-2 分析方法

5-2 金沢 21 世紀美術館における開館時間

5-3 劇場的活動の企画主催者

5-4 まとめ

5-1 本章の概要

5-1-1 本章の目的

2、3、4 章にかけて、劇場的空間、活動について、対象とする公立美術館全体の傾向と
 その中で、施設ごとに特徴的な傾向を示すものについて言及した。中でも金沢 21 世紀美
 術館は特徴的であり、2 章では、客席、舞台を有す空間を 2 つ施設内に保有すること、3
 章においては対象とする施設の中でも最も多くの劇場的活動を実施しており、また、活動
 内容（ジャンル・形式）は多岐にわたることなど、劇場的空間・劇場的活動の両面で他の
 公立美術館に比べ精力的な実施を目指している方向性が伺える。

これは金沢 21 世紀美術館設置条例の第 3 条（事業）※注（3）に『市民に参加及び交流
 の機会を提供する演劇、音楽その他の企画及び実施に関わること』が明記されていること
 から、同様の指摘が可能である。

本章では金沢 21 世紀美術館の個別の劇場的活動の性質を明らかにし、またそれらが実
 施される劇場的空間との相関をみる。また、企画主催者の記載など金沢 21 世紀美術館の
 みでみられる調査結果から、前章まででは分析しきれなかった劇場的空間、劇場的活動の
 性質について、補完することを目的とする。

※注 金沢 21 世紀美術館設置条例

同施設を設置する上での指針を金沢市が設定した条例

（平成 16 年 03 月 25 日条例第 1 号）

第 1 条(目的及び設置) 本市は、世界の多様な美術表現を広く市民に公開するとともに、芸術活動への参画を通
 じたさまざまな出会い及び交流の機会を提供し、もって本市の新たな文化の創造とまち
 のにぎわいの創出に資するため、美術館を設置する。

第 3 条（事業） 美術館は、第 1 条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 近代及び現代を中心とする美術に関する展覧会、講座、研究会等の開催に関すること。
- (2) 市民に参加及び交流の機会を提供する演劇、音楽その他の芸術活動の企画及び実施に関すること。
- (3) 伝統工芸その他の本市固有の芸術文化における新しい試みに対する支援に関すること。
- (4) 子どもたちの感性及び創造力を育む講座等の開催並びに創作活動に対する助言及び指導に関すること。
- (5) 近代及び現代を中心とする美術作品並びに美術その他の芸術に関する情報及び資料(以下「美術館資料」という。の収集、保管、展示及び利用に関すること。
- (6) 美術その他の芸術に関する調査研究に関すること。
- (7) 美術その他の芸術に関する解説書、図録、年報、調査研究の報告書等の作成及び頒布に関すること。
- (8) 美術館の施設及び設備の提供に関すること。
- (9) 前各号に掲げるもののほか、第 1 条の目的を達成するために必要なこと。

5-1-2 分析方法

まず前章でエリアごとに開館時間（空間の利用時間）が設定されているため、劇場的活動の実施時間と開館時間の関係を他施設と同様の分析ができなかったため、金沢 21 世美術館の開館時間と劇場的活動の実施時間については個別に定義し、関係性をみる。またその際図面に劇場的活動を記載し、その傾向をみる。

また金沢 21 世紀美術館で実施される劇場的活動には公式 HP に全てにおいて企画主催者の記載があったことから、企画主催者とジャンルや形式、料金などの劇場的活動の性質の傾向を分析する。また、同館の設置条例より、空間の貸し出しについて言及し、更に企画主催者と会場空間などの関係性をみる。

本章は 5-2 で開館時間について、5-3 で企画主催者について分析し、5-4 で章まとめとする。

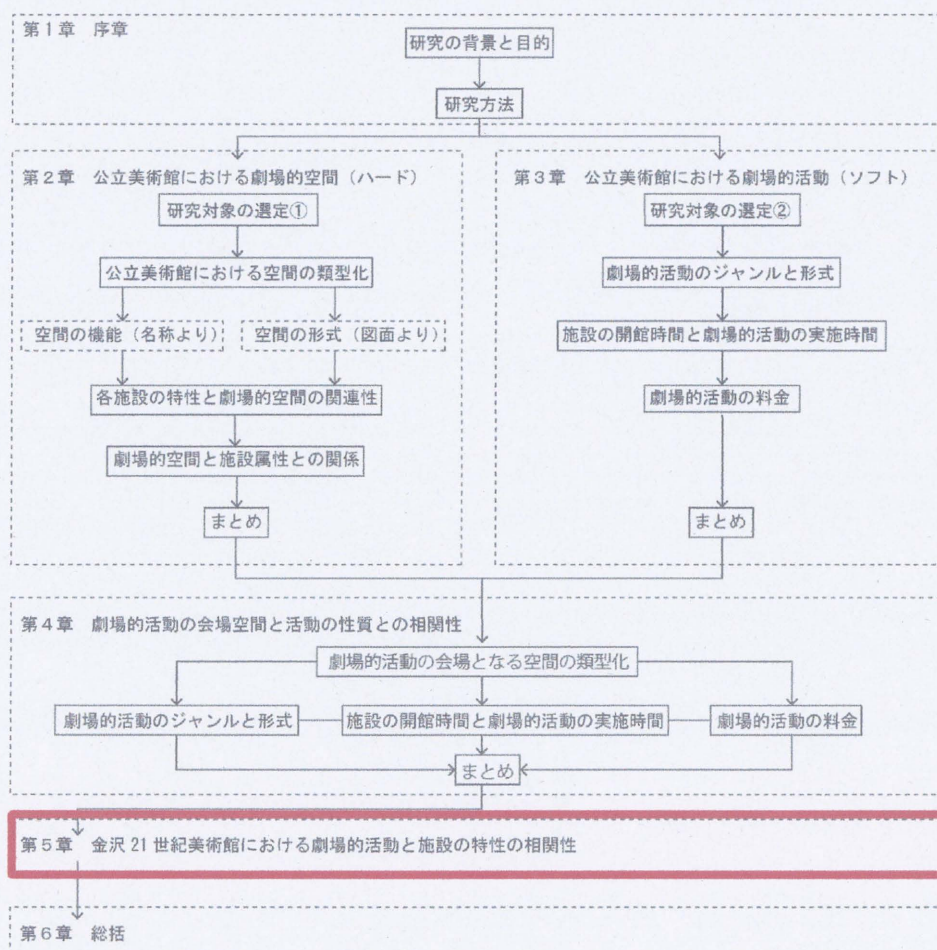


図 5-1-1 研究の流れ

プロジェクト工房

プロジェクト工房前広場

市民ギャラリー

長期インсталレーションルーム

ミュージアムショップ

デザインギャラリー

カフェ

レクチャーホール

茶室 (松涛庵)

授乳室

託児室

アートライブラリー

図 5-2-1 金沢 21 世紀美術館の開館時間のエリア分け

施設名	利用時間	閉館時刻区分
市民ギャラリー・シアター21	9:00 ~ 22:00 ※催物により異なる	B
交流ゾーン	9:00 ~ 22:00	
ミュージアムショップ	10:00 ~ 18:30 ※金・土曜日は、20:30まで	
カフェレストラン	10:00 ~ 20:00	
展覧会ゾーン	10:00 ~ 18:00 ※展覧会チケットの購入は30分前まで (金・土曜日は、20:00まで)	
長期インсталレーションルーム デザインギャラリー アートライブラリー 授乳室・託児室	10:00 ~ 18:00 ※金・土曜日は、20:00まで	A
茶室	9:00 ~ 17:00 (一般公開)	

三重大学大学院 工学研究科

そこで表 5-2-1 で閉館時刻の区分を示し、展覧会ゾーンにおいて展覧会チケットの購入が 30 分前までであることを考慮し、劇場的活動の実施時間（開始、終了）の分類を図 5-2-2 のように定義する。

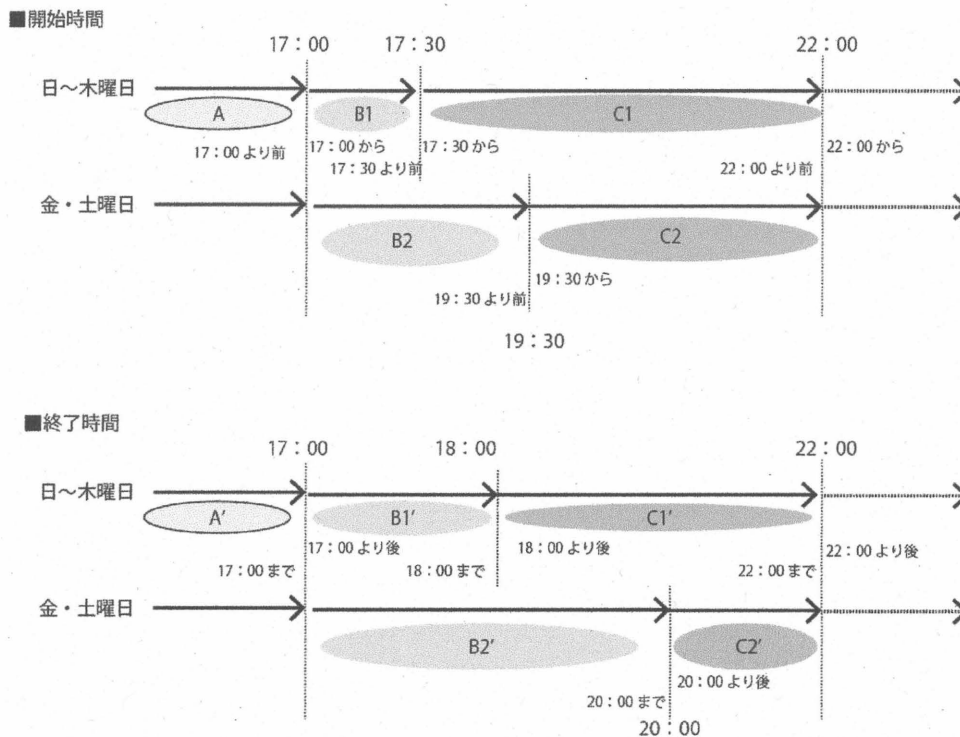


図 5-2-2 金沢 21 世紀美術館における劇場的活動の実施時間区分

表、図が示したように金沢 21 世紀美術館における時間の区分を

- A：茶室、交流ゾーン（シアター・ギャラリー）、展示ゾーンなど全ての開館時間内
- B：交流ゾーン（シアター・ギャラリー等）、展示ゾーンの開館時間内で、茶室は開館時間外
- C：交流ゾーン（シアター・ギャラリー等）が開館時間内と設定する。

なお、22：00 以降に開始する、若しくは 22：00 より後に終了される劇場的活動は金沢 21 世紀美術館だけでなく、全施設において確認できなかった。また、3 章において他施設では閉館時刻以降も劇場的活動が実施されていたが、閉館時刻の平均は 17：29 であり、更に閉館時刻が最も遅い時間である長崎県美術館、京都府京都文化博物館（金・土曜日）、沖縄県立博物館・美術館（金・土曜日）の 20：00 を考慮すると、特筆して遅くまで開館されていると言える。

また、前項より定義した劇場的活動の実施時間の区分を用いて劇場的活動の分類を表 5-2-2 に示す。

表 5-2-2 金沢 21 世紀美術館における劇場的活動の実施時間の区分

劇場的活動の数(a)	(A)に開始										(B)に開始										(C)に開始									
	数(b)	割合(b/a)	(A)に終了		(B)に終了		(C)に終了		終了時間記載なし		数	割合	(B)に終了		(C)に終了		終了時間記載なし		数	割合	(C)に終了		終了時間記載なし		数	割合	数	割合	数	割合
			数	割合	数	割合	数	割合	数	割合			数	割合	数	割合	数	割合			数	割合	数	割合						
534	374	70%	243	46%	19	4%	9	2%	103	19%	72	13%	15	3%	25	5%	32	6%	88	16%	56	10%	32	6%						

表より、全ての施設が閉館時刻前の活動 (A) で開始している活動は 374 あり、全活動の中で 70% の割合を占める。

(B) の時間に開始している活動は 72 あり、全活動の 13% の割合を占める。

(C) の時間に開始している活動は 88 あり、全活動の 16% の割合となる。

しかしながら全てのエリアにおいて閉館時間外である (D) の時間に開始・終了している活動はなかった。

この結果をうけて、金沢 21 世紀美術館においては劇場的活動に即した閉館時刻の設定、若しくは閉館時刻を意識した劇場的活動の実施時間の設定が行われていることが推測される。

この仮説を検証する意味で、まず劇場的活動の中で会場空間について記述がある活動のなかで、会場空間についての閉館時間を表 5-2-3 に分類し、図 5-2-3 に空間の名称と活動数を示す。

表 5-2-3 劇場的活動の会場空間とエリアの開館時間との対応

(A)…全てのエリアで開館時間内		(B)…茶室を除くエリアで開館時間内		(C)シアター・市民ギャラリー・交流ゾーン(※)のみ開館時間内	
空間の名称	活動数	空間の名称	活動数	空間の名称	活動数
松涛庵(茶室)	3	展示室13	13	シアター21	335
		展示室11	8	交流ゾーン(※)	47
		展示室14	4	プロジェクト工房前広場(※)	9
		キッズスタジオ	13	市役所口側広場(※)	5
		展覧会ゾーン内・光庭(展示室5まわり)	1	広場(※)	2
		デザインギャラリー	1	会議室1	2
				レクチャーホール(※)	1

(※)交流ゾーン…基本的に金沢21世紀美術館のエリアは展覧会ゾーンと交流ゾーンに2分して呼称されるが、本研究では動線部分、美術館内敷地内の外部、またはデザインギャラリーなどの閉館時刻に関して記述がないものを指す。

なお表で示すように金沢 21 世紀美術館は一般的には展覧会ゾーンと交流ゾーンに 2 分されて呼称されるが、本研究では動線部分、美術館の敷地内における屋外空間など、デザインギャラリー等の開館時間の記載がない空間を指す。

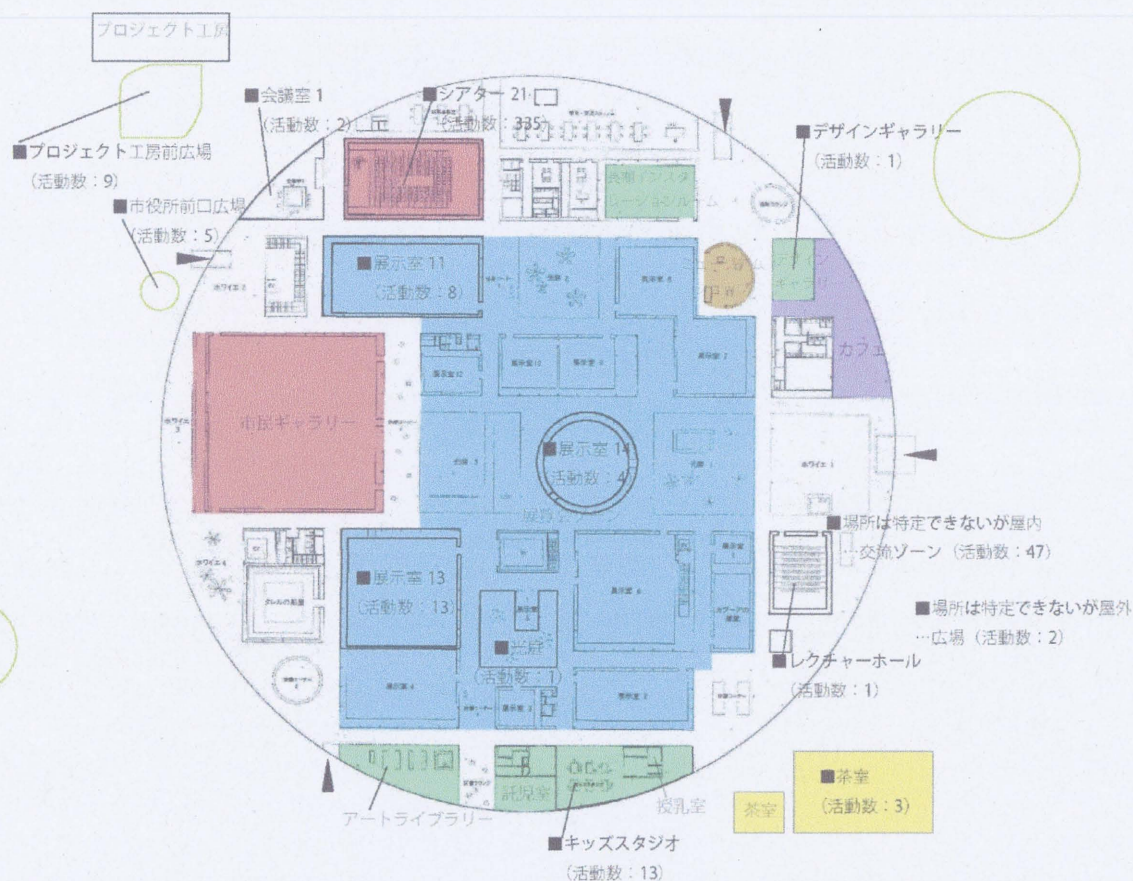


図 5-2-3 劇場的活動の会場空間と数

表 5-2-1 金沢21世紀美術館における利用時間、閉館時刻の区分

施設名	利用時間	閉館時刻区分
市民ギャラリー・シアター21	9:00 ~ 22:00 ※催物により異なる	C
交流ゾーン	9:00 ~ 22:00	
ミュージアムショップ	10:00 ~ 18:30 ※金・土曜日は、20:30まで	
カフェレストラン	10:00 ~ 20:00	
展示会ゾーン	10:00 ~ 18:00 ※展示会チケットの購入は30分前まで (金・土曜日は、20:00まで)	B
長期インсталレーションルーム デザインギャラリー アートライブラリー 授乳室・託児室	10:00 ~ 18:00 ※金・土曜日は、20:00まで	
茶室	9:00 ~ 17:00 (一般公開)	

会場空間ごとに劇場的活動の数をみると、活動数が335とシアター21が突出して多く実施している。また、レクチャーホールは階段客席、奥行き3間以下の舞台を有すことから、形式iiの空間に該当し、階段客席、奥行き3間以上の舞台を有すi形式の空間であるシアター21に次いで劇場性の強い空間であるが、活動数は1のみである。このことから、多様な空間を活動によって使い分けていることが伺える。

更に表5-2-3で示した空間の時間区分と劇場的活動の実施時間の時間区分の対応を表5-2-4に示す。

表5-2-4 会場空間の時間区分と劇場的活動の実施時間の時間区分の対応

空間の時間区分	劇場的活動の時間区分	劇場的活動の活動の数(a)	(A)に開始										(B)に開始										(C)に開始									
			(A)に終了		(B)に終了		(C)に終了		終了時間記載なし		(B)に終了		(C)に終了		終了時間記載なし		(C)に終了		終了時間記載なし		(C)に終了		終了時間記載なし		(C)に終了		終了時間記載なし		(C)に終了		終了時間記載なし	
			数(b)	割合(b/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)
			数(b)	割合(b/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)
(C)	シアター21	335	198	59%	110	33%	12	4%	9	3%	67	20%	62	19%	12	4%	21	6%	29	9%	75	22%	47	14%	28	8%						
	交流ゾーン(※)	47	47	100%	9	19%	4	9%			34	72%																				
	プロジェクト工房前広場(※)	9	1	11%							1	11%	4	44%			2	22%	2	22%	4	44%	2	22%	2	22%						
	市役所口側広場(※)	5									2	40%					2	40%			3	60%	3	60%								
	広場(※)	2	2	100%	1	50%	1	50%																								
	会議室1	2	2	100%	1	50%	1	50%																								
	レクチャーホール(※)	1	1	100%	1	100%																										
(B)	展示室13	13	11	85%	10	77%					1	8%									2	15%	1	8%	1	8%						
	展示室11	8	6	75%	5	63%	1	13%			1	13%	1	13%							1	13%	1	13%								
	展示室14	4	3	75%	3	75%					1	25%	1	25%																		
	キッズスタジオ	13	13	100%	13	100%																										
	展覧会ゾーン内・光庭(展示室5まわり)	1	1	100%	1	100%																										
(A)	デザインギャラリー	1	1	100%	1	100%																										
	松涛庵(茶室)	3	2	67%	2	67%															1	33%	1	33%								

… 該当なし
… 空間の時間外の活動

この中で空間ごとに実施時間の区分をみると、開館時間外に実施されている劇場的活動が合計で4実施されている。

これらの中では図5-2-3で示したように茶室での活動は、茶室自体が独立した離れとして設置されているため、直接屋外空間に面していることにより、劇場的活動の実施時は開始、終了共に動線は変わらないことが予想される。

しかしながら展示室13で2、展示室11で1の活動の中では展覧会ゾーンの利用時間が終了した時間であるCの時間に開始、終了している。

そのため展覧会ゾーン自体の利用時間を引き延ばすこと、若しくは該当空間のみの利用時間を延長し、通常の入出口とは異なった特殊な動線計画がなされることが考えられる。

この2つの活動に関しては特記事項として展覧会ゾーン終了後の活動であるため、出入り口を変える、他の展示室の閲覧は不可能であるなどの旨が該当HPの記事に明記されているため、おそらくモールなど変形可能な仕切りで他の展示室への出入りを禁止し、一番近い動線空間である交流ゾーンから出入りするものと想定されるが、出入り口の箇所やほかの空間の閉鎖方法など詳細については推測の域を出ないため、引き続き調査が必要である。

5-3. 劇場的活動の企画主催者

劇場的活動について各施設の公式 HP を用いているが、公式 HP は施設ごと、活動ごとで記載情報に差異がある。中でも活動の運営者に関しては記載されているものが少なく、施設ごとに考察するには調査対象が少ない。

そんな中で、金沢 21 世紀美術館の活動に関しては全て企画主催者が明記されているため、本節ではそれらに関する分析を行う。

金沢 21 世紀美術館における企画主催者と組織構成

まず金沢 21 世紀美術館での活動は大きく分けて美術館主催企画と、外部の団体・個人による一般主催企画に区分される。

美術館主催企画は主に美術館内組織であるの学務課及び交流課による主催企画を指す。金沢市における公共施設は指定管理者を金沢芸術創造団としているが、図 5-3-1 に組織図を示す。



図 5-3-1 公益財団法人 金沢芸術創造財団組織図 (財団 HP より)

※公益財団法人 金沢芸術創造財団

金沢市が設置する 10 カ所の芸術文化施設の効率的な運営とサービス向上を図りながら、伝統が息づく「金沢」の魅力を全国、そして世界に向けて発信するための活動をしている

これらの区分をもとに研究対象とする劇場的活動の企画主催者について表 5-3-1 に示す。

表 5-3-1 金沢 21 世紀美術館における劇場的活動の企画主催者

劇場的活動の数	美術館主催企画						一般主催企画			
	数		単独主催		共同主催		数		美術館が共催	
			数	割合	数	割合			数	割合
534	324	61%	246	76%	78	24%	210	39%	13	6%

まず、美術館企画は 324 の活動が実施され、活動全体の 61% の割合を占める。一方で一般主催企画は 210 の活動が実施され、活動全体の 39% の割合となった。

劇場的活動の企画主催者とジャンルと形式

次に企画主催者ごとに劇場的活動のジャンルと形式について区分したものを表 5-3-2 に示す。

表 5-3-2 企画主催者と劇場的活動のジャンルと形式

合計数	抽出した劇場の活動				実演芸術・芸術を指す活動																実演芸術・芸術に関連する活動															
	形式				音楽				演劇				舞踊				伝統芸能				朗読				その他1				映画				その他2			
	上演		WS		上演		WS		上演		WS		上演		WS		上演		WS		上演		WS		上演		WS		上演		WS		上演		WS	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合		
	全体合計	534	406	76	128	24%	165	31%	8	1%	102	19%			37	7%	10	2%	19	4%			12	3%	99	77%	5	1%			57	14%	11	3%	9	2%
美術館主催企画	324	211	85%	113	35%	94	29%	8	2%	50	15%			24	7%	6	2%					7	3%	99	88%	2	1%			32	15%			2	1%	
一般主催企画	210	196	93%	15	7%	71	34%			52	25%			13	6%	4	2%	19	9%			5	3%			3	1%			25	11%	73%	7	4%		

まず、形式について見ると、美術館主催企画は WS 形式の活動が 113 で美術館主催企画全体の活動数の 35% の割合を占めているのに対し、一般主催企画での WS 形式の活動は 15 と一般主催企画全体の活動数の 7% の割合と占める割合が小さい。

しかしながらジャンルごとにみると美術館主催企画の WS 形式の活動の中でも WS 形式の朗読の活動は 99 で美術館主催企画全体の WS 形式の活動の 88% と大部分を占める。この WS 形式の朗読の活動は全て絵本読み聞かせと共に実施される美術館学芸員による活動であり、月 1 回の恒例行事となっている。

また映画に関しては一般主催企画のみ WS 形式が実施されているが、これは小中学生を対象とした映画教室である。

企画主催者と劇場的活動の料金

続いて企画主催者ごとに劇場的活動の料金について区分したものを表5-3-3に示す。

表 5-3-3 企画主催者と劇場的活動の料金

	劇場的活動の数(a)	(※)記載数(b)	網羅率(b/a)	タイプ1		タイプ2		タイプ3		タイプ4	
				数(c)	割合(c/b)	数(c)	割合(c/b)	数(c)	割合(c/b)	数(c)	割合(c/b)
合計	534	534	100%	216	40%	22	4%	296	55%		
美術館主催企画	324	324	100%	164	51%	22	7%	138	43%		
一般主催企画	210	210	100%	52	25%			158	75%		
タイプ1 劇場的活動観覧料は不要で、展示観覧料も不要 タイプ2 劇場的活動観覧料は不要で、展示観覧料が必要 タイプ3 劇場的活動観覧料が必要で、展示観覧料が不要 タイプ4 劇場的活動観覧料が必要で、展示観覧料も必要											
(※)記載数… 公式HPIに料金について記述の記載がある活動の数											

まず料金タイプごとにみると、美術館主催企画に関しては料金タイプ1の活動が美術館主催企画の活動全体の51%の割合と過半数を占めるものであるのに対し、一般主催企画の料金タイプ1の活動は一般主催企画の活動全体の25%の割合に満たない。

また、料金タイプ2の活動は美術館主催企画のみで実施されている。

更に、料金タイプ3の活動は美術館主催企画に関しては、美術館主催企画の活動全体の43%の割合を示すのに対し、一般主催企画に関しては一般主催企画の活動全体の75%と大半の割合を占める。

これらの結果から、一般主催企画の劇場的活動は展覧会と関係して実施されないことが考えられる。また、一般主催企画の劇場的活動に関しては、美術館主催企画と比較すると有料で実施することの方が多くは、空間の貸し出しの為の使用料とも関係しているものと思われる。

空間の貸し出し

美術館を構成する組織以外の主催している活動を実施していることから分かるように、金沢21世紀美術館では館内の空間について貸し出しを実施している。

金沢21世紀美術館設置条例※第8条において美術館内における空間の使用についての規定がなされている。同条例中の別表第3その1、その2に記載されている該当空間の使用の時間単位と基本使用料について表5-3-4、表5-3-5として取り上げる。

表5-3-4 市民ギャラリー、控室等使用料

区分	使用の単位	金額
市民ギャラリーA	全室を使用する場合	1日 90,000円
	区分して使用する場合 A-1	1日 10,000円
	A-2	1日 10,000円
	A-3	1日 10,000円
市民ギャラリーB	全室を使用する場合	1日 30,000円
	区分して使用する場合 B-1	1日 4,000円
	B-2	1日 6,000円
	B-3	1日 8,000円
市民ギャラリー控室	B-4	1日 12,000円
		1日 2,400円
		1日 7,200円
		1日 4,000円
展示室7	1日	4,000円
展示室8	1日	14,400円
展示室9	1日	2,700円
展示室10	1日	8,800円
展示室11	1日	
展示室12	1日	
展示室13	1日	
展示室14	1日	

表5-3-5 シアター21 その他の施設の使用料

区分\使用時間区分	午前 (午前9時から正午まで)	午後 (午後1時から午後5時まで)	夜間 (午後6時から午後10時まで)	全日 (午前9時から午後10時まで)
シアター21	5,000円	9,800円	11,100円	24,000円
シアター準備室	1,400円	2,800円	3,000円	6,500円
出演者控室1	300円	800円	700円	1,500円
出演者控室2	300円	800円	700円	1,500円
楽屋1	1,000円	1,800円	2,100円	4,800円
楽屋2	1,000円	1,800円	2,100円	4,800円
会議室1	2,400円	4,800円	5,400円	11,600円
会議室2	700円	1,400円	1,800円	3,400円
会議室3	700円	1,400円	1,800円	3,400円
本室	3,400円	6,800円	7,800円	16,400円
松涛庵	2,700円	5,200円	6,000円	13,000円
山手亭	2,700円	5,200円	6,000円	13,000円
広場				13,000円 (1平方メートル当たり 50円)

表5-3-4では展示機能の空間、表5-3-5ではそれ以外の空間の使用についての規定がそれぞれなされている。表5-3-4で規定されている展示機能の空間、広場については1日(9時～22時まで)の単位の規定がなされており、それ以外の空間では時間区分により規定がなされている。ここから展示機能の空間で実施される一般主催の企画の活動(展覧会などの劇場的活動以外も含む)に関しては、1日単位で実施されているものと考えられる。そのため必然的に、一時的な時間芸術である劇場的活動に関して想定がなされていないことが仮説として想起される。

また、会場空間に関して記述がある劇場的活動の中で、貸し出しが可能な空間とそうでないものについて分けて、企画の主催者を示したものの表 5-3-6 に記す。

表 5-3-6 貸し出し可能空間と劇場的活動の企画主催者

貸し出しを実施している空間						空間の貸し出しを実施していない空間					
空間の名称	劇場的活動の数(a)	美術館主催企画		一般主催企画		空間の名称	劇場的活動の数(a)	美術館主催企画		一般主催企画	
		数(b)	割合(b/a)	数(b)	割合(b/a)			数(b)	割合(b/a)	数(b)	割合(b/a)
シアター21	335	140	42%	195	58%	交流ゾーン	47	47	100%		
展示室13	13	13	100%			キッズスタジオ	13	13	100%		
プロジェクト工房前広場	9	1	11%	8	89%	レクチャーホール	1	1	100%		
展示室11	8	8	100%			展覧会ゾーン内・光庭 (展示室5まわり)	1	1	100%		
市役所口側広場	5			5	100%	デザインギャラリー	1	1	100%		
展示室14	4	4	100%								
松涛庵(茶室)	3	2	67%	1	33%						
会議室1	2	2	100%								
広場	2	1	50%	1	50%						

当然ながら空間の貸し出しが可能でない空間については一般主催者による企画はなく、全てが美術館主催企画であるが、前項で言及した表 5-3-4 に規定された展示機能の空間である展示室 13 及び展示室 11、展示室 4 に関しても実施している劇場的活動全てが美術館主催企画であり、一般主催企画の実施はされていない。

また、シアター21 は劇場的活動全体の 58% が一般主催企画であり、過半数を超える。

このことから、劇場的活動に限って言及するならば、金沢 21 世紀美術館においては展示機能の空間は美術館を構成する組織外の組織、個人による劇場的活動（一般主催企画）は想定しておらず、表 5-3-6 で示すシアター21 などそれ以外の機能の空間で実施することが推察される。

これは館を構成する空間の機能や位置づけなど空間の在り方、または空間で行う活動の在り方に起因するものと考えられる。

展示機能の空間ではあくまでも展示に付随する形での劇場的活動が実施され、シアター 21 などの劇場性の強い空間に関しては貸館公演も視野に入れ劇場に近い形の利用方針がなされているものと推察される。

5-4.まとめ

本章の研究結果を以下にまとめる。

- ①金沢 21 世紀美術館の設置条例の事業内容には音楽や演劇など劇場的活動の実施に関する記述がある。
- ②金沢 21 世紀美術館の閉館時刻はエリアごとに設定されているが、全てのエリアで閉館するのは 22:00 と他施設と比べても最も遅く、22:00 以降に実施される劇場的活動はなかった。
- ③金沢 21 世紀美術館の中で最も多くの劇場的活動を実施しているのは客席、舞台を有するシアター21であるが、同じく客席と舞台を有するレクチャーホールでは1回の劇場的活動のみであった。
- ④展示室 13、展示室 11 で展覧会ゾーン終了後に実施される活動がみられた。
- ⑤金沢 21 世紀美術館で実施される劇場的活動の中で展示観覧料を徴収するものは、美術館主催の企画のみ。
- ⑥舞台・客席を有する空間であるシアター21 は一般に貸し出しが実施されており、実施される劇場的活動の過半数は一般主催企画。
- ⑦ギャラリーや展示室も貸し出しが実施されているが、劇場的活動の一般主催企画はない。

第 6 章

総括

総括

今後の課題

謝辞

総括

本研究を通して得た研究結果をもとに総括を行う。

2章では劇場的空間になりうる可能性をもつ空間（潜在的劇場的空間）を抽出したが、3章以降で潜在的劇場的空間と仮定していた空間において劇場的活動を確認、即ち実際にそれが劇場的空間とすることができた。しかしながら潜在的劇場的空間の分類において空間の機能と別に、劇場性の概念を用いて形式を分類したが、劇場性が強くはない空間においても劇場的活動を確認することができた。

本章ではこの劇場性という観点から空間とそこで実施される劇場的活動の性質をまとめ、それに即した空間との対応の在り方を検証し、総括とする。

■劇場性の強い空間での劇場的活動

まず劇場性の強い空間についてみる。そのような空間を大半の施設の中で1つまたは2つ有しており、経年ごとにより劇場性の強い空間が整備される傾向にある。そして形式ごとにみると、劇場性の最も強い空間である奥行き3間以上の舞台を有す空間では、1つの空間当たりの劇場的活動の実施数が他の形式の空間より多く、上演、ワークショップ共に様々なジャンルで実施されている。

また、劇場的活動の実施時間では他の形式の空間と比較すると平均実施時間が長時間で、美術館の閉館時刻以降の実施されるものも多い。更に劇場的活動の料金に関しても他の形式の空間での活動と比較して劇場的活動のための観覧料が設定されているものが多い。このような劇場的活動の実施に備えて美術館の展示室等への観覧者の動線と同一化するのではなく、独立した出入り口を設け、動線を分離することが適切である。

■劇場性の強くない空間での劇場的活動

次に劇場性の強くない空間についてみる。そもそも美術館を構成する空間は展示室などの室としての空間、次いで玄関ホール、廊下等の共用空間であり、劇場性の強くない空間が大部分を占め、それらのほとんどが潜在的劇場的空間であると考えられる。それらを形式ごとにみると、展示室などの室としての空間では、短時間の音楽上演が主に実施され、展示機能の空間での展示観覧料を除き、ほとんどの劇場的活動の観覧料は無料である。また、玄関ホールやロビーなどの共用空間でも実施される劇場的活動に同様の傾向が見られる。劇場的活動の中でも音楽の上演は聴覚芸術的側面が強く、享受可能範囲が広いいため、展示の観覧などの他の行動の際も併せて享受でき、観覧者の利用頻度が高い共用空間である廊下、玄関ホールなどで実施することで、多様な芸術体験に繋がると考えられる。また、短時間での上演は準備の短縮、共用空間の占有による過度の流動性の鈍化をさけることに繋がり、比較的気軽に企画することができると考えられる。これらのことから劇場性の強く

ない空間では実施される劇場的活動の内容は空間の特性に規定されるものと考えられる。

なお玄関ホールや廊下などの共用空間では最も劇場性の強い空間に次いで多くの劇場的活動が実施されている。これらの形式の空間の中でも玄関ホールなどの出入り口に直接面した空間で閉館時間以降の劇場的活動の実施がみられた。これは展示室などへの動線を封鎖し、客席、舞台などを仮設して劇場的活動が実施されているものと考えられる。その際には観覧者の動線の観点から劇場的活動の観覧料を徴収することができる。

今後の課題

本研究は公立美術館の活動の中の劇場的活動、施設の中でも劇場的空間という部分的なについて言及したため、公立美術館に関する基礎研究を続けていくことでより精緻な研究結果をもたらすものとする。中でも劇場的活動を抽出する際、学芸員・アーティストによる美術に関する講演や、美術作品制作のワークショップなどの活動を除いたため、これらの活動と比較することで、公立美術館全体の活動の傾向の中の劇場的活動の位置づけについて分析がcaなると思われる。

また、公立美術館全体としての傾向をみるため、新建築を始めとする書籍、公式 HP の情報などを主に利用したが、学芸員やボランティアによる工夫、周辺施設との差別化など現場の意識をくみ取る意味でもヒアリングやアンケート調査を更に重ねていく必要がある。

謝辞

研究を進めるにあたり終始ご指導いただいた大月淳准教授には、深く感謝いたします。至らぬ私を見放さず指導してくださり、学問だけでなく常識人として必要なことを学ばせて頂きました。今後は社会人として大月研究室で学んだことを生かし、恩に報いることができたと思っています。

一緒に学んできた大月研究室の仲間に感謝申し上げます。本年度では鈴木友紀子さん、市原享さん、田中拓さん、前年度では辻翔太さん、福井竜馬さん、日紫喜一成さん、川見拓也さん、中川雄斗さん、学部時代には青木公太さんからいろいろと意見を頂きました。奥村憲樹さんは3年間通じて共に学んできましたが、鋭い指摘と思慮深く責任感のある行動は助けになりました。ご迷惑をおかけしたことも多かったと思いますが、研究成果などで研究室の歴史を作ることで、少しでも研究室に貢献できれば幸いです。

同室の計画系研究室である加藤研究室の皆さんにも有意義な助言を頂きました。ひたむきに研究や勉学に打ち込む姿はよい刺激になりました。

また、学芸員の吉田様を始め、三重県立美術館の方々はお忙しい中調査にご協力いただき、感謝申し上げます。

高専から通して長い間、三重大学で学部、大学院と学んできましたが、この機会を与えてくれた全ての人に感謝申し上げます。

馬込慶太

卷末付録

1. 序章

1-1. 研究の背景と目的

美術作品には多様な表現があり、空間的、時間的表現や、制作過程そのものを“みせる”実演形式の作品も盛んに行われている。そうした多様な表現の美術作品の展示に加え、美術館ではコンサートやダンスなどの実演芸術・芸能の上演が行われることも多くなっている。このような美術、音楽、ダンス等のジャンルがある種融解していくような芸術をめぐる状況に対して、活動の器である建築においても従来の美術館とは異なるあり方が望まれよう。本研究では、一般的には劇場で行われる活動である実演芸術・芸能が美術館において実施される空間—劇場的空間—を有しうるかを探り、更に実施している実演芸術・芸能—劇場的活動—の状況を分析することを通じて、劇場的空間と劇場的活動の対応の在り方を明らかにし、今後の美術館を計画するにあたっての知見を得ることを目的とする。

1-2. 研究方法

1-2-1. 用語の定義

まず本研究で取り上げる用語定義を行う。

『美術館』: 博物館法^{※1}上の美術博物館であり、博物館の内の一つ、特に美術作品に特化したものを指す。本研究では「登録博物館」の「美術博物館」とするものを取り上げ、その中でも運営主体を地方公共団体とするものを「公立美術館」とする。

『劇場』: 実演芸術・芸能の上演・鑑賞を主たる目的とする施設。舞台と客席を基本空間要素とする。

『劇場的空間』: 実演芸術・芸能に係る活動の行われる劇場以外の空間。

『劇場的活動』: 劇場以外で行われる実演芸術・芸能に係る活動。

『劇場性』: 劇場的空間における空間形式面での劇場との近似性。劇場に近いものを「劇場性の強い空間」とする。

1-2-2. 研究の構成

本研究では研究の背景、目的を示す1章の後に2章で公立美術館における劇場的空間になり得る空間（ハード）について、3章で公立美術館において行われている劇場的活動（ソフト）について取り上げる。4章ではそれらの劇場的活動とそれが実施される劇場的空間との相互関係を検証する。続いて、5章では特殊事例として金沢21世紀美術館における状況を取り上げ、6章で総括する。

1-2-3. 分析方法

本研究において研究対象の抽出にあたり、まず全国の公立美術館が加盟する美術館連絡協議会名簿を用いる。2012年10月現在、加盟施設135のうち建築雑誌「新建築」に

表1 研究対象施設属性

施設名称	竣工年	延床面積	地上階数	地下階数	施設名称	竣工年	延床面積	地上階数	地下階数
1 北海道立近代美術館	1977	8737	3	1	31 長野県信濃美術館	1988	1898	2	なし
2 北海道立帯広美術館	1991	3426	2	1	32 飯田市美術館	1988	4938	2	1
3 北海道立三好太郎美術館	1983	1201	2	1	33 松本市美術館	2002	9174	4	なし
4 札幌芸術の森美術館	1990	2561	2	なし	34 静岡県立美術館	1986	9247	2	なし
5 青森県立美術館	2005	21133	3	2	35 名古屋市美術館	1987	7125	2	1
6 十和田市現代美術館	2008	2078	2	なし	36 豊田市美術館	1995	11238	3	2
7 宮城県美術館	1981	10597	2	1	37 岡崎市美術館	1996	6444	2	1
8 福島県立美術館	1984	9879	2	1	38 三重県立美術館	1982	6036	2	1
9 茨城県近代美術館	1988	10502	2	1	39 滋賀県立近代美術館	1983	8544	2	1
10 茨城県陶芸美術館	1999	6751	2	1	40 京都府京都文化博物館	1988	15287	7	1
11 宇都宮美術館	1996	9388	2	1	41 兵庫県立美術館	2001	27461	4	なし
12 群馬県立近代美術館	1974	7976	3	なし	42 姫路市立美術館	1982	3841	2	なし
13 群馬県立総合美術館	2000	6856	2	なし	43 戸田市立美術館	1990	3530	2	なし
14 埼玉県立近代美術館	1982	8577	3	1	44 和歌山県立近代美術館	1994	18705	2	1
15 千葉県立美術館	1976	7470	2	1	45 鳥取県立美術館	1998	12499	2	なし
16 佐倉市立美術館	1994	5137	5	2	46 岡山県立美術館	1987	14270	4	2
17 東京都美術館	1975	31943	2	3	47 広島市現代美術館	1988	9291	2	2
18 東京都現代美術館	1994	33515	3	3	48 山口県立美術館	1979	5327	2	1
19 東京都江戸東京博物館	1992	48001	7	1	49 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	1991	11414	4	1
20 世田谷美術館	1985	8223	2	1	50 愛媛県美術館	1998	10621	3	1
21 日野区美術館	1987	4059	3	1	51 高知県立美術館	1993	11724	3	1
22 町田市立国際版画美術館	1986	7840	3	1	52 北九州市立美術館	1974	7864	4	2
23 神奈川県立近代美術館	1984	1600	2	1	53 福岡市美術館	1979	14526	2	なし
24 横浜美術館	1989	26829	8	1	54 長崎県美術館	2005	9898	3	なし
25 川崎市市民ミュージアム	1988	19543	3	1	55 熊本県立美術館	1976	6814	3	1
26 横浜美術館	2006	12095	2	2	56 大分県立美術館	1998	9085	2	なし
27 富山県立近代美術館	1980	8181	3	1	57 宮崎県立美術館	1995	10333	3	1
28 高岡市美術館	1993	9237	2	1	58 沖縄県立博物館・美術館	2007	23722	4	1
29 金沢21世紀美術館	2004	28180	2	2	59 浦添市美術館	1989	3361	2	1
30 福井市美術館	1996	5263	3	1					

掲載されている施設59を本研究の対象として選定する。対象施設の属性（竣工年、延床面積、階数）を表1に示す。

2. 公立美術館における潜在的劇場的空間（ハード）

2-1. 分析方法

本章では劇場的空間を取り上げる。まず、対象施設における劇場的空間となり得る室及び空間（以下まとめて潜在的劇場的空間とする）をその名称において「新建築」および各施設における美術館ホームページ若しくは関連自治体ホームページ（以下公式HP）掲載の平面図から抽出し、それらを機能と形式より分類する。次に各施設の属性（竣工年、延床面積）との相関性を分析し、さらに、劇場性の強い空間について考察を行う。

2-2. 公立美術館における空間の機能と形式

2-2-1 空間の機能

文部省告示第164条「公立博物館の設置および運営に関する基準」に示される部門構成を参考に、潜在的劇場的空間の機能として以下の5つを設定する。

1) 展示機能: 常設・企画を含むさまざまな展示を行うことが前提とされている機能、2) 学習機能: 講義・講習等学習が前提とされている機能、3) 上映機能: 映像表現の上映が前提とされている機能、4) 創作機能: 創作活動が前提とされている機能、5) 集会機能: その他複数の人員が集まって使用することが前提とされている機能、である。表2に全対象施設から抽出された空間とその機能との対応を、表3（左半分）に対象施設ごとの空間について機能別に集計したものを示す。

まず機能別空間数に関しては各施設によって大きなばらつきがあることが分かり、それらの平均値をみると展示機

みられないが、i について 2000 年代に最も高い値となり、一方 ii が最も低くなっている。劇場性の強い i と ii の間で続いて表 5 において、対象施設を延床面積 5000 m² の区分ごとにまとめ、表 4 における分析と同様に各種平均値を求めたものを示す。

表 5 対象施設における延床面積規模別各種平均値

延床面積規模	施設数	竣工年 平均	空間 数	機能別空間数					形式別空間数				
				展示	学習	上映	創作	集会	i	ii	iii	iv	v
～5000㎡	11	1989	13.7	5.7	0.8	0.3	1.9	5.0	0.0	0.6	3.8	7.1	2.2
5001㎡～10000㎡	26	1998	18.8	6.8	1.3	0.5	3.5	6.7	0.2	0.8	5.8	9.3	2.7
10001㎡～15000㎡	11	1992	21.2	7.3	1.6	0.6	4.5	7.2	0.6	0.5	6.7	11.5	1.9
15001㎡～20000㎡	3	1990	14.7	4.3	1.7	2.0	3.0	3.7	0.0	0.7	3.0	9.7	1.3
20001㎡～	8	1996	30.8	14.5	1.9	0.4	5.9	8.1	0.6	0.6	8.6	17.1	3.8
全体平均値(計施設数55)	1990	19.7	7.6	1.4	0.5	3.7	6.5	0.3	0.7	5.8	10.4	2.5	

空間数に関しては 20000 m² 以上のものが最も高い値をとるが、空間数と延床面積規模の間に明確な相関はみられない。機能については展示、学習、創作、集会機能に関して 20000 m² 以上の空間数の値が大きく、概ね規模に比例し、上映機能に関してはそれがない。

これから延床面積の規模が増加に伴い様々な機能の充実を図るが、上映機能に関してはその限りではないことが考えられる。空間の形式については i・ii などの劇場性の強い空間に関しては規模に関して比例関係は見られず、それ以外の空間の割合に関しては概ね比例関係がみられる。

2-4. 潜在的劇場的空間と施設属性との関係

前章における空間の形式の分類で i、ii にあたる劇場性の強い空間を持つ施設を抽出し、その属性と併せて各施設の竣工年順に並べたものを表 6 に示す。ここでの空間の全てにおいて、展示機能、創作機能は該当しない。ここで挙げた空間において前章と同様に竣工年代を 10 年ごとにまと

表 6 空間形式 i 及び ii の空間を有する施設

番号	施設名	年代	竣工年	延床面積	階数	空間名称	学習	上映	集会	i	ii
12	群馬県立近代美術館	1970年代	1974	7876	2	講堂	1	-	-	-	1
52	北九州市立美術館	1970年代	1974	7864	B1	講堂	1	-	-	-	1
17	東京都美術館	1970年代	1975	31943	B1	講堂	1	-	-	-	1
55	熊本県立美術館	1970年代	1976	6814	2	講堂	1	-	-	-	1
1	北海道立近代美術館	1970年代	1977	8737	2	講堂	1	-	-	-	1
48	山口県立美術館	1970年代	1979	5327	1	レクチャールーム	1	-	-	-	1
53	福岡県立美術館	1970年代	1979	14526	1	ホール	-	-	1	1	-
7	宮城県美術館	1980年代	1981	10587	1	講堂	1	-	-	-	1
14	埼玉県立近代美術館	1980年代	1982	8577	2	講堂・視聴覚室	-	1	-	-	1
38	三重県立美術館	1980年代	1982	8036	1	講堂	1	-	-	-	1
42	姫路市立美術館	1980年代	1982	9841	2	講堂	1	-	-	-	1
39	滋賀県立近代美術館	1980年代	1983	8544	1	講堂	1	-	-	-	1
8	福島県立美術館	1980年代	1984	9879	1	講堂	1	-	-	-	1
23	神奈川県立近代美術館	1980年代	1984	1600	1	講堂	1	-	-	-	1
20	世田谷美術館	1980年代	1985	8223	1	講堂	1	-	-	-	1
22	町田市立国際版画美術館	1980年代	1986	7840	1	講堂	1	-	-	-	1
24	静岡県立美術館	1980年代	1986	9247	1	講堂	1	-	-	-	1
35	名古屋市美術館	1980年代	1987	7125	2	講堂	1	-	-	-	1
46	岡山県立美術館	1980年代	1987	14270	2	ホール	-	-	1	1	-
9	茨城県立近代美術館	1980年代	1988	10502	B1	講堂	1	-	-	-	1
25	川崎市市民ミュージアム	1980年代	1988	19543	1	映像ホール	-	1	-	-	1
32	廣田市美術館	1980年代	1988	4938	2	講堂	1	-	-	-	1
40	京都府京都市文化博物館	1980年代	1988	15287	3	映像ホール	-	1	-	-	1
47	広島市現代美術館	1980年代	1988	9281	B1	スタジオミュージアム	-	-	1	1	-
24	横浜美術館	1980年代	1989	26629	1	レクチャールーム	1	-	-	-	1
59	新潟県美術館	1980年代	1989	3361	1	講堂	1	-	-	-	1
43	青森市立美術館	1980年代	1990	3530	1	講堂	1	-	-	-	1
2	北海道立近代美術館	1980年代	1991	3426	1	講堂	1	-	-	-	1
49	丸亀市瑞穂館・館現代美術館	1980年代	1991	11414	2	ミュージアムホール	-	-	1	1	-
19	東京都江戸東京博物館	1980年代	1992	48001	1	映像ホール	-	1	-	-	1
11	高知県立美術館	1980年代	1993	11724	1	美術館ホール	-	-	1	1	-
16	佐賀市立美術館	1980年代	1994	5137	4	ハイビジョンホール	-	1	-	-	1
18	東京都現代美術館	1980年代	1994	33515	B2	講堂	1	-	-	-	1
36	松本市美術館	1980年代	1995	11239	1	講堂	1	-	-	-	1
57	宮崎県立美術館	1980年代	1995	10333	1	ハイビジョンギャラリー	-	1	-	-	1
11	宇都宮美術館	1980年代	1996	9388	1	講堂	1	-	-	-	1
30	福井市美術館	1980年代	1996	5263	3	講堂	1	-	-	-	1
37	岡崎市美術館	1980年代	1996	8444	1	セミナールーム	1	-	-	-	1
45	鳥取県立美術館	1980年代	1998	12489	M2	多目的ホール	-	-	1	1	-
50	愛媛県美術館	1980年代	1998	10921	1	講堂	1	-	-	-	1
56	大分県美術館	1980年代	1998	8085	2	ハイビジョンホール	-	1	-	-	1
10	茨城県美術館	1980年代	1999	6751	1	多目的ホール	-	-	1	-	1
13	群馬県立近代美術館	1980年代	2000	6556	1	講堂	1	-	-	-	1
41	兵庫県立美術館	1980年代	2001	27461	1	ミュージアムホール	-	-	1	1	-
33	松本市美術館	1980年代	2002	9174	2	多目的ホール	-	-	1	-	1
29	金沢21世紀美術館	1980年代	2004	28160	1	シアター21	-	-	1	1	-
5	青森県美術館	1980年代	2005	21133	1	シアター	-	-	1	1	-
54	長崎県美術館	1980年代	2005	9898	2	ホール	-	-	1	1	-
58	沖縄県立博物館・美術館	1980年代	2007	23722	3	講堂	1	-	-	-	1
合計 51室			平均値:	12876		全体からの割合:	60.8%	13.7%	25.5%	33.3%	66.7%
						合計	31	7	19	17	34

め、空間形式 i、ii に対応する空間数の平均値を表 7 に示す。

表 7 竣工年代別 空間形式 i、ii に対応する空間数の平均と割合

竣工年代	対象年代施設数	i, ii 空間を有する施設数	延床面積平均	i, ii 空間数(a)	機能・形式別空間数(b)				
					学習	上映	集会	i	ii
1970年代	8	7	11684	7	6 (86%)	0 (0%)	1 (14%)	2 (29%)	5 (71%)
1980年代	22	19	9870	19	14 (74%)	3 (16%)	2 (11%)	5 (26%)	14 (74%)
1990年代	19	16	14510	17	8 (47%)	4 (24%)	5 (29%)	5 (29%)	12 (71%)
2000年代	9	7	18058	9	3 (38%)	0 (0%)	5 (63%)	5 (63%)	3 (38%)
全体平均	14.5	12.25	11239	12.75	7.75 (61%)	1.75 (14%)	3.25 (25%)	4.25 (33%)	8.50 (67%)

※()内 b/a

同様にここで挙げた空間において延床面積規模を 5000 m² ごとにまとめ、空間形式 i、ii に対応する空間数の平均値を表 8 に示す。

表 8 延床面積規模 空間形式 i、ii に対応する空間数の平均値

延床面積規模	対象年代施設数	空間を有する施設数	竣工年平均	空間数(a)	機能・形式別空間数(b)				
					学習	上映	集会	i	ii
～5000m ²	11	6	1987	6	6 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (100%)
5001m ² ～10000m ²	26	23	1988	23	16 (70%)	3 (13%)	4 (17%)	5 (22%)	18 (78%)
10001m ² ～15000m ²	11	10	1991	10	4 (40%)	3 (30%)	5 (50%)	7 (70%)	3 (30%)
15001m ² ～20000m ²	3	2	1988	2	0 (0%)	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (100%)
20001m ² ～	8	8	1996	10	5 (50%)	1 (10%)	4 (40%)	5 (40%)	5 (50%)
全体平均	14.5	12.25	1990	12.75	31 (61%)	7 (14%)	13 (26%)	17 (33%)	34 (67%)

※()内 b/a

施設・空間全体の数については 1990 年代と 2000 年代においては 2 つの i または ii の空間を有する施設があることが分かる。空間分類をみると、経年ごとの多様化が見られる。まず空間の機能については学習機能の数、割合は経年減少している。上映機能の割合は 1990 年代が最も高く、次いで 1980 年代となり、他は 0 である。集会機能の割合は 2000 年代が高く、次いで 1990 年、1970 年代と 1980 年代は同程度である。このことから前章の考察のように 1970 年代は上映機能が一般化しておらず、逆に 2000 年代では上映機能を完備した空間を前提として、空間名称を決定していると思われる。集会機能の増加はコンサートや演劇などライブパフォーマンスに対応するため、講演・講習目的ではない集会施設としての整備が行われていると推察される。

空間の形式に関しては、i の割合は 2000 年代に多く、他の年代は同程度であり、逆に ii の割合は 2000 年代のみ少なく、他は同程度である。このことから前章の考察でみた i から ii への移行の傾向が確認できる。

次に表 8 より延床面積別でみると、まず全体の延床面積は本研究の対象施設全体の平均と比べて大きい。これは i・ii のような劇場性の強い空間を有する施設は全体的に規模が大きくなっていることを示している。劇場性の強い空間を 2 つ備えた施設（金沢 21 世紀美術館と東京都江戸博物館）は 20000 m² 以上である。これは施設規模を大きくする際、空間の多様化を図る目的の下整備されたものと思われる。5000 m² 以下の施設の空間は全て学習機能であり、ii の空間である。またその他の規模ごとに見ても概ね学習機能の割合は施設規模が大きくなるにつれ減る傾向があり、空間の形式も施設規模が大きくなるにつれより i のような劇場性の強い空間になっている。

2-5. まとめ

本章における結果をまとめると以下ようになる。

①潜在的劇場空間について空間の機能から分類すると展示機能と集会機能がその割合の大半を占め、次いで創作機能、

学習機能、上映機能の順である。② i または ii のような劇場性の強い空間を対象施設の大半が 1 つないし 2 つ有している。③ 2000 年代における展示機能をもつ空間の割合の増加、上映機能を冠した空間の減少が見られる。④ 延床面積に関しては、規模が大きくなるにつれ空間の機能の数は概ね多様化する傾向があるが、上映機能はその限りでなく、また空間の形式に関しては延床面積の増加に伴い劇場性の強い以外の空間の数が増加する。⑤ 概ね竣工年代を重ねるごとに延床面積は大きくなる傾向があり、それに伴い劇場性の強い空間の数の増加がみられる。⑥ 1990 年代から 2000 年代にかけて空間の形式が i から ii へ移行する傾向みられることから、近年では劇場性の強い空間を整備する傾向が見られる。

3. 公立美術館における劇場的活動（ソフト）

3-1. 分析方法

本章では劇場的活動を取り上げる。各施設における劇場的活動を公式 HP から抽出する。抽出対象については各施設の公式 HP において確認された 2008 年から 2013 年の過去 5 年間の活動とし、表 9 に示す通り 59 施設中 21 施設から抽出された。抽出した劇場的活動については表 10 に示す通りジャンルを軸に大きく実演芸術・芸能活動と、実演芸術・芸能に関連する活動に区分する。

表 9 対象施設と劇場的活動の回数、日数、抽出期間

番号	対象施設	回数 (a)	開催日 数(b)	1日当りの 開催数 (a)/(b)	抽出期間		
					最古	最新	差分日数
1	北海道立近代美術館	10	10	100%	2013/5/11	2013/11/1	174
3	北海道立三好好太郎美術館	117	117	100%	2008/4/26	2013/12/14	2058
5	青森県立美術館	317	205	155%	2008/1/1	2013/12/14	2174
7	宮城県美術館	21	20	105%	2008/9/13	2012/9/8	1456
9	茨城県立近代美術館	17	17	100%	2008/8/24	2013/12/1	1925
10	茨城県立陶芸美術館	4	2	200%	2011/11/13	2012/11/11	364
20	世田谷美術館	109	92	118%	2009/4/11	2013/12/14	1708
21	目黒区立美術館	1	1	100%	2013/10/30		
29	金沢21世紀美術館	534	385	139%	2008/4/6	2013/12/23	2087
34	静岡県立美術館	9	9	100%	2009/10/5	2013/3/31	1638
35	名古屋市美術館	30	28	107%	2008/1/11	2013/11/10	2130
39	滋賀県立近代美術館	25	20	125%	2009/7/26	2013/9/23	1620
40	京都府京都市文化博物館	17	12	142%	2013/9/1	2013/10/26	65
41	兵庫県立美術館	237	166	143%	2012/1/7	2013/12/23	716
43	芦屋市立美術館	15	15	100%	2011/4/17	2013/3/9	692
44	和歌山県立近代美術館	2	2	100%	2011/8/27	2012/12/8	469
45	鳥取県立美術館	38	21	181%	2011/12/24	2013/12/22	729
49	九州市筑紫第一現代美術館	19	17	112%	2010/11/21	2013/12/20	1125
54	長崎県美術館	443	246	180%	2008/1/13	2013/12/24	2172
55	熊本県立美術館	3	3	100%	2013/5/18	2013/12/21	217
58	沖縄県立博物館・美術館	37	28	132%	2008/2/23	2013/11/9	2086
合計		2005	1416				
平均		95.5	67.429	142%	2010/5/13	2013/9/6	1274.75

表 10 抽出した劇場的活動の区分、該当ジャンル

区分	(1) 主として実演芸術・芸能を指すもの						(2) 実演芸術・芸能に関連するもの	
	音楽	演劇	舞踊	伝統芸能	朗読	その他1	映画	その他2
内容	音楽	演劇	舞踊	朗読	朗読	マジックショー	映画	ファッションショー
	コンサート	人形劇	ダンス	歌舞伎	リーディング	分断不可能なパフォーミング	映像上映	
	ライブ				朗読会		映像鑑賞	
	ダンス				朗読会		映像鑑賞	
	クラシック				朗読会		映像鑑賞	
	ポップス				朗読会		映像鑑賞	
	リサイタル				朗読会		映像鑑賞	

また劇場的活動の形式として、その活動実施主体と享受主体との関係性において、前者から後者への一方向性に特徴付けられる一般的な上演活動に対応する【上演型】、参加型のワークショップのような両者の双方向性に特徴付けられる【WS 型】の 2 つの区分を設定する。

3-2. 劇場的活動のジャンルと形式

対象施設における劇場的活動について、表 11 のようにジャンルとその形式を分類した。

まず、施設別の全体的な傾向をみてみると、青森県立美術館、ついで兵庫県立美術館、長崎県美術館、金沢 21 世紀美術館、世田谷美術館は活動の量が多く、音楽や映画を中心に多岐にわたるジャンルの活動が行われており、これらは劇場的活動について積極的に位置付けている施設であると考えられる。

続いて、ジャンル、形式についてみる。まず、ジャンルについては施設ごとにバラつきがあるものの、全般的に音楽が多く、21 施設を総じてみた際にも全活動数の 52% を占めている。ついで映画が 18% となっており、それ以外のジャンルは 10% 未満になっている。音楽や映画の割合が高いことについては、次章以降でも分析するが、コンサートや映画などは 1 日に複数回の実施が可能である活動であることが要因の一つと考えられる。

形式については上演型が主で 21 施設を総じてみた際に全活動数の 89%、WS 型は 11% である。上演型は全施設で実施されているのに対して、WS 型は 7 施設のみである。なお、当該 7 施設については活動数の合計が多いものがほとんどで、前述した劇場的活動を積極的に位置付けていると考えられる施設が全て含まれる。双方向性をもつ活動を行っているか否かは劇場的活動の充実度を判定する指標となり得る。

表 11 劇場的活動のジャンルと形式

番号	対象施設	抽出した劇場的活動		実演芸術・芸術を指す活動														実演芸術・芸術に関連する活動				
		合計 数	形式	音楽		演劇		舞踊		伝統芸能		朗読		その他1		映画		その他2				
				WS	割合	WS	割合	WS	割合	WS	割合	WS	割合	WS	割合	WS	割合	WS	割合			
																				数	割合	数
1	北海道立近代美術館	10	10	100%		6	60%															
3	北海道立三好好太郎美術館	117	117	100%		116	99%					1	1%									
5	青森県立美術館	317	278	88%	41	13%	76	24%														
7	宮城県美術館	21	17	81%	4	19%	16	76%														
9	茨城県立近代美術館	17	17	100%		17	100%															
10	茨城県立陶芸美術館	4	4	100%		4	100%															
20	世田谷美術館	109	78	72%	31	28%	35	32%	2	2%	12	11%	27	25%	13	12%						
21	目黒区立美術館	1	1	100%		1	100%															
29	金沢21世紀美術館	534	406	76%	128	24%	165	31%	8	1%	102	19%										
34	静岡県立美術館	10	10	100%		10	100%															
35	名古屋市美術館	30	30	100%		15	50%															
39	滋賀県立近代美術館	25	25	100%		9	36%															
40	京都府京都市文化博物館	17	17	100%		17	100%															
41	兵庫県立美術館	237	234	99%	3	1%	135	57%														
43	芦屋市立美術館	15	15	100%		13	87%															
44	和歌山県立近代美術館	2	2	100%		2	100%															
45	鳥取県立美術館	38	37	97%	1	3%	16	42%														
49	九州市筑紫第一現代美術館	19	19	100%		11	58%															
54	長崎県美術館	443	436	98%	7	2%	363	82%	2	0%	12	3%										
55	熊本県立美術館	3	4	133%		3	100%															
58	沖縄県立博物館・美術館	37	37	100%		18	49%	2	5%	1	3%											
合計		2006	1794	89%	215	11%	1048	52%	14	1%	161	8%	29	1%	76	4%	18	1%	37	2%	1	0%
1施設当たりの数		95.5	85.4	10.2	49.9	0.7	0.0	7.7	1.4	3.6	0.9	1.8	0.0	4.1	6.7	0.5						
								</														

3-3. 劇場的活動の実施時間

劇場的活動の実施時間について分析を行う上で用いる数値を表 12 に示す。劇場的活動の開始時刻の記載の有無を示す網羅率の 99% に対して、開始・終了時刻双方の記載の有無を示す網羅率は 67% であった。これは劇場的活動が時間芸術であり、終了時刻にも不確定性を伴うことによるものと考えられる。本節では開始時刻・終了時刻共に記載のある 1351 の活動について分析を行う。

表 12 劇場的活動の実施時間の値と網羅率

劇場的活動の数(a)		2006
(※)開始時刻のみ記載されている数(b)	1983	開始・終了時刻共に記載されている数(c)
1351		
網羅率(b/a)	99%	網羅率(c/a)
67%		

(※)終了時刻のみ記載されている活動はない

表 13 ジャンル・形式ごとの劇場的活動の平均実施時間(分)

ジャンル	形式	合計		音楽		演劇		舞踊		伝統芸能		その他	
		平均活動数	平均活動時間	平均活動数	平均活動時間	平均活動数	平均活動時間	平均活動数	平均活動時間	平均活動数	平均活動時間	平均活動数	平均活動時間
合計		53.7	1331	60.6	636	113	95	103	46	98.8	25	56.6	209
上座		81.8	1135	59.1	627	75.3	77	85.9	33	98.3	24	77.9	68
WS		95.2	196	160	9	275	18	142	15	80	1	46.3	141

劇場的活動について、前節で定めたジャンルと形式の組み合わせごとに平均実施時間と活動数を求めたものを表 13 に示す。ここでは平均実施時間についてみる。

朗読の WS 形式の活動が 46.3 分と最も短く、次いで音楽の上演形式の活動が 59.1 分で短い。映画については全てのジャンルの中でも上演形式 131.4 分、WS 形式 295.0 分で最も平均実施時間が長くなっている。平均実施時間において WS 形式の活動は朗読、伝統芸能を除く全てのジャンルで上演形式を上回っている。

次に各施設における劇場的活動の実施時間の 30 分区分でみた分布を当該施設における劇場的活動の平均実施時間と併せて表 14 に示す。

表 14 施設ごとの劇場的活動の実施時間分布

番号	施設の名	劇場的活動の数(a)	(※)終了時刻記載の数(b)	網羅率(b/a)	平均実施時間	実施時間の分布									
						～30分未満	30分以上～60分未満	60分以上～90分未満	90分以上～120分未満	120分以上～150分未満	150分以上	数(c)	割合(c/a)	数(c)	割合(c/a)
1	日本舞踊・現代美術館	10	9	90%	48.2	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
2	日本舞踊・現代美術館	117	90	76%	46.0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
3	青森県立美術館	317	231	72%	116.3	6	2%	19	6%	75	23%	47	15%	20	6%
4	日本舞踊・現代美術館	21	6	28%	150.0	0	0	0	0	2	10%	2	10%	0	0%
5	日本舞踊・現代美術館	1	4	400%	163.8	0	0	0	0	1	100%	1	100%	0	0%
6	日本舞踊・現代美術館	109	62	57%	167.9	3	3%	15	14%	6	6%	34	31%	0	0%
7	日本舞踊・現代美術館	1	1	100%	80	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%
8	日本舞踊・現代美術館	594	395	66%	106.2	4	1%	125	21%	49	8%	61	10%	75	13%
9	日本舞踊・現代美術館	10	7	70%	30.0	0	0	0	0	1	10%	1	10%	0	0%
10	日本舞踊・現代美術館	30	23	77%	66.4	5	17%	7	23%	6	20%	4	13%	1	3%
11	日本舞踊・現代美術館	28	22	79%	61.5	4	14%	0	0	16	57%	1	3%	0	0%
12	日本舞踊・現代美術館	237	50	21%	120.4	2	1%	6	3%	18	8%	20	9%	4	2%
13	日本舞踊・現代美術館	15	4	27%	90.0	0	0	0	0	1	7%	1	7%	0	0%
14	日本舞踊・現代美術館	35	37	106%	75.3	17	49%	4	11%	8	23%	6	18%	2	6%
15	日本舞踊・現代美術館	19	3	16%	143.2	0	0	0	0	1	5%	1	5%	0	0%
16	日本舞踊・現代美術館	463	417	90%	41.2	38	8%	309	67%	35	8%	15	3%	6	1%
17	日本舞踊・現代美術館	9	9	100%	75.0	0	0	0	0	3	33%	0	0%	0	0%
18	日本舞踊・現代美術館	37	24	65%	85.5	2	5%	12	32%	5	14%	3	8%	2	5%
合計		2006	1351	67%	83.8	60	3%	548	27%	252	13%	108	5%	124	6%
平均値		95.5	10.0			10.0	54.8	15.8	11.9	15.1	13.2				

(※)一公団に実施時間(開始・終了)について記載がある活動

全施設合計では 30 分以上 60 分未満が 41% と最も多くを占め、次いで 60 分以上 90 分未満が 19%、90 分以上の 3 区分は 11、12% と同程度であり、30 分未満の活動は 4% となった。30 分以上 60 分未満の高い値については長崎県美術館の 309、金沢 21 世紀美術館の 123 の活動が寄与している。

平均実施時間の全施設平均値は 83.8 分となっているが、施設ごとに 46.6～167.9 分と大幅なバラつきがみられる。対象施設中で平均実施時間が最も短かった北海道三好太郎美術館は 30 分～90 分未満に分布している。同施設では前節にみたように活動の内容は全て上演形式の音楽であり、

活動内容と実施時間の関係性を示唆できる。一方で対象施設中最も平均実施時間の長かった世田谷美術館では 150 分以上の活動が全体割合の 55% と過半数を占めている。同施設では前節で指摘したように WS 形式の活動割合も 28% と対象施設中最も高くなっていることと関係しているものと思われる。

3-4. 施設の閉館時間と劇場的活動の実施時間の関係

施設の閉館時間(閉館・閉館時刻)と劇場的活動の実施時間(開始・終了時刻)の関係について表 15 に示す。

表 15 施設の閉館時間と劇場的活動の実施時間の関係

番号	施設の名	現在の施設開館年	施設の閉館時間	(※)記載数(a)	閉館時刻以前に開始				閉館時刻以後に開始			
					数(b)	割合(b/a)	閉館時刻以前に終了	割合(b/a)	数(c)	割合(c/a)	閉館時刻以後に終了	割合(c/a)
1	日本舞踊・現代美術館	1977	9:30-17:00	10	9	90%	8	80%	1	10%	1	10%
2	日本舞踊・現代美術館	1983	9:30-17:00	118	109	94%	74	64%	32	30%	7	7%
3	青森県立美術館	2006	9:00-17:00	339	214	73%	182	62%	3	1%	22	7%
7	青森県立美術館	1991	9:00-17:00	21	16	76%	8	38%	1	5%	9	43%
9	青森県立美術館	1998	9:30-17:00	14	6	57%	6	57%			6	43%
10	青森県立美術館	2000	9:30-17:00	4	4	100%			4	100%		
20	世田谷美術館	1998	10:00-18:00	163	102	62%	87	65%	14	14%	1	1%
21	世田谷美術館	1997	10:00-18:00	1	1	100%	1	100%			1	100%
29	金沢 21 世紀美術館	2004	9:00-17:00	1	1	100%						
34	青森県立美術館	1996	10:00-17:00	10	10	100%	7	70%	3	30%		
35	長崎県立美術館	1999	9:30-17:00	30	20	67%	14	47%	6	20%	10	33%
36	青森県立美術館	1994	9:30-17:00	23	23	100%	22	96%				
42	青森県立美術館	1999	9:30-17:00	9	9	100%						
41	青森県立美術館	2002	10:00-18:00	236	236	100%	43	18%	193	82%		
43	青森県立美術館	1990	10:00-17:00	14	14	100%	4	29%	10	71%		
44	青森県立美術館	1994	9:30-17:00	2	2	100%			2	100%		
45	青森県立美術館	1999	10:00-18:00	17	17	100%			3	18%	2	12%
49	青森県立美術館	1991	10:00-18:00	19	10	53%			1	5%	9	47%
54	長崎県立美術館	2008	10:00-20:00	443	434	98%	417	94%	17	4%	0	0%
55	熊本県立美術館	1976	9:30-17:15	3	3	100%	3	100%				
58	沖縄県立博物館・美術館	2007	9:00-18:00	36	34	94%	17	47%	7	19%	0	0%
合計				1469	1285	88%	900	61%	26	2%	389	26%
1施設当たりの平均値		1992	9:37-17:29	72.0	64.8	90%	60.0	82%	5.2	7%	21.7	30%

※1 10月1日～5月31日は17:00まで、6月1日～9月30日は18:00まで
※2 各シーズンに別々に規定
※3 館内展示、別館は19:30まで、特別展は18:00まで、ただし、別途開催日は18:30まで
※4 8月～9月は18:30まで、10月～2月は18:30まで
※5 夏季期間は18:00まで、冬・春期間は20:00まで

(※)一公団に実施時間(開始・終了)について記載がある活動

まず施設ごとの閉館時刻についてみると、多くの施設において閉館時刻が 17:00 から 18:00 であるなか、長崎県美術館や沖縄県立博物館・美術館のように 20:00(後者については曜日の限定があるが)という事例もある。共に 2000 年代に入ってから開館した新しい施設である。

開館時間が一定ではない施設があることは注目に値する。曜日、季節等に対応した変更によるもの、施設内の空間ごとの個別設定によるものが確認される。上述の沖縄県立博物館・美術館に加えて島根県立美術館も前者の例であり、そこでは閉館時間について 3 月から 9 月までを日没後 30 分に設定している。美術館からの夕景を享受するためであり、夕暮れ時に「トワイライトコンサート」と呼ばれる活動も行われている。一方、金沢 21 世紀美術館は後者の例であり、他施設と同様の分析ができないため、本節では分析対象から外し、5 章において別個に取り上げる。

続いて施設の閉館時刻と劇場的活動の開始・終了時刻との関係についてみる。ここでの対象 20 施設を総じてみると施設の閉館時刻以前に活動が開始されるものが 90% と高い値を示しており、9 施設において全ての活動が各施設の閉館時間内に開始している。

一方、施設の閉館時間以降に開始される活動は対象施設全体の 10% となっており、内 5 施設においてそれら活動の占める割合が 2 割以上となっている。実数としては青森県立美術館の 92 が突出している。

また、劇場的活動の終了時刻と開始時刻を併せてみると、

前述した全ての活動が施設の開館時間内に開始している 9 施設については、データのあった活動の全てが開館時間内に終了している。

閉館時刻以前に開始し、閉館時刻以後に活動が終了する活動については対象施設全体の 2% に満たないが、世田谷美術館で 14、沖縄県立博物館・美術館で 7 の活動がみられる。中でも世田谷美術館は「誰もいない美術館で」という美術・演劇・音楽等の WS があり美術館閉館時刻以前から WS を実施し、閉館時刻以後に発表会を行うという活動が実施されている。

3-5. 劇場的活動の料金

博物館法^{※2)}においては、館の維持運営の為やむを得ない事情がある場合、入館料の他に必要な対価を徴収することができることとされているが、入場可能である多様な空間を擁し、劇場的活動を含む多様な活動を展開する今日の美術館の運営を捉える上では入館料という概念のみでは不十分である。そこで、劇場的活動を勘案し、それに関わる料金として「劇場的活動を享受するのに必要な『劇場的活動観覧料』」を、また、それと区別して美術館の本来の活動に関わる「展示会の観覧に必要な『展示観覧料』」を併せて設定する。

表 16 各施設の劇場的活動の料金

番号	施設名称	劇場的 活動の 数(a)	(※) 記載 数(b)	観覧率 (b/a)	タイプ1		タイプ2		タイプ3		タイプ4		記載なし	
					数 (c)	割合 (c/b)	数(d)	割合 (d/b)	数(e)	割合 (e/b)	数(f)	割合 (f/b)	数(g)	割合 (g/a)
1	北海道立近代美術館	10	6	60%	6	100%							4	40%
2	北海道立三岸好太郎美術館	117	99	85%	7	7%	92	93%					18	15%
3	青森県立美術館	317	287	91%	186	65%	14	5%	87	30%			30	9%
7	宮城県美術館	21	17	81%	14	82%	3	18%					4	19%
9	茨城県立近代美術館	17	6	35%	6	100%							11	65%
10	茨城県立総合美術館	4											4	100%
20	世田谷美術館	109	108	97%	44	42%	2	2%	52	49%	8	8%	3	3%
21	目黒区立美術館	1	1	100%			1	100%						
29	金沢21世紀美術館	534	534	100%	216	40%	22	4%	296	55%				
34	静岡県立美術館	10	10	100%			10	100%						
35	名古屋美術館	30	30	100%	25	83%	5	17%						
39	滋賀県立近代美術館	25	25	100%	20	100%								
40	京都府京都市文化博物館	17	17	100%	6	35%			11	65%				
41	兵庫県立美術館	237	237	100%	114	48%	4	2%	119	50%				
43	青森県立美術館	15	13	87%	2	15%	7	54%			4	31%	2	13%
44	和歌山県立近代美術館	2	2	100%	2	100%								
49	鹿児島県立美術館	38	37	97%	37	100%							1	3%
49	大分県立美術館	19	19	100%	5	26%	2	11%	6	32%	6	32%		
54	長崎県美術館	443	443	100%	372	84%	51	12%	13	3%	7	2%		
55	熊本県立美術館	3	3	100%	3	100%								
59	沖縄県立博物館・美術館	37	35	95%	16	46%	6	17%	13	37%			2	5%
合計		2008	1927	96%	1086	56%	219	11%	597	31%	25	1%	79	4%
1施設当たり数		85.5	91.78		51.7		10.4		28.4		1.2		3.78	

タイプ1… 劇場の活動数資料が不要で、展示観覧資料が必要タイプ2… 劇場の活動数資料は不要で、展示観覧資料が必要タイプ3… 劇場の活動数資料が必要で、展示観覧資料が必要タイプ4… 劇場の活動数資料が必要で、展示観覧資料が不要

(※)記載数：公式(1)に料金をについて
記載の記載がある活動の数

両観覧料に料金の要不要の区別を併せると料金タイプとして以下の 4 つが導出され、それらを用いて抽出した劇場的活動の料金について分類したものを表 16 示す。

タイプ 1…劇場的活動観覧料は不要で、展示観覧料も不要
タイプ 2…劇場的活動観覧料は不要で、展示観覧料が必要
タイプ 3…劇場的活動観覧料が必要で、展示観覧料が不要
タイプ 4…劇場的活動観覧料が必要で、展示観覧料も必要

まず全 21 施設を総じて各タイプの割合についてみる。料金タイプ 1 の活動は全体合計の 56% と過半数を占める。料金タイプ 2 の活動は全体合計の 11% となっているが、北海道立三好好太郎美術館、静岡県立美術館においてはそれぞれ 93%、100% の活動がそれに該当している。劇場的活動の性質が展示と関連していると推察される。次に料金タイプ 4 の活動は劇場的活動観覧料、展示観覧料を 2 重に徴収する活動であるが数自体は少なく全体合計の 1% であり、4 施設

で実施されているが、観覧料をチェックする上で動線上の工夫がなされている予想される。

また、施設別にみると、全ての活動が料金タイプ 1 である施設が 6 施設あるが、そこでの活動数は 2~38 と 21 施設全体での 1 施設当たり平均 51.7 と比較すると少ない。

青森県美術館、金沢 21 世紀美術館、兵庫県立美術館では展示観覧料のみが必要である活動は料金タイプ 2 の活動のみで、その割合も同タイプの全体合計における平均以下である。劇場的活動観覧料のみが必要なタイプ 3 の活動の量的充実から、展示観覧料が必要な空間と劇場的活動が行われる空間への動線が分離可能であることも予想される。

3-6. まとめ

本章における結果をまとめると以下のようになる。

①劇場的活動の大半が音楽、映画の上演型が中心。②施設の開館時間は個別の施設においても一律ではなく、概ねの劇場的活動が開館時間内に開始されているが閉館時間以降に行われる活動もあり、活動と閉館時間の関係性が伺える。③約半数の劇場的活動が無料で入場可能。また、施設展示観覧料とは別に劇場的活動の観覧料を設定している。④青森県美術館、世田谷美術館、金沢 21 世紀美術館、兵庫県立美術館、長崎県美術館では多岐にわたるジャンルの活動が上演され、WS も開催されており、会場空間の種類も豊富であり、劇場的活動の充実度に即した空間を備えている。⑤北海道立三好好太郎美術館、静岡県立美術館で行われる劇場的活動はほぼ全て音楽上演であり、展示観覧料が必要、活動観覧料は不要である。

4. 劇場的活動と劇場的空間の相関性

4-1 劇場的活動の会場としての劇場的空間

本章では 2 章における潜在的劇場的空間に対して劇場的活動が実際に行われる空間即ち本来の劇場的空間を導出し、劇場的活動との関係についてみていく。前章で取り上げた劇場的活動 2006 のうち、会場となる空間の記載がある 1878、20 施設（目黒区立美術館は劇場的空間に記載なし）について分析を行う。対象である劇場的活動について、その行われる施設、空間即ち劇場的空間毎に集計したものを表 17 に示す。同表では 2 章の潜在的劇場的空間において導入した機能と形式による分類との対応も示している。

1878 の劇場的活動全体の劇場的空間との対応をみる。まず劇場的空間単独でみると 20 施設において計 80 が認められる。機能分類からみると集会機能の空間が 51% と過半数を占め、次いで展示機能 25%、学習 15%、創作 9%、上映 1% となっている。また、形式分類からみると iii が 38% と最も多くを占め、iv が 25%、v が 18%、i が 13%、ii が 8% となっている。

続いて劇場的活動をその行われる空間の機能分類との対応からみると、集会機能の空間におけるものが全体合計の 71% の割合と過半数以上を占め、次いで順に展示 13%、創作 9%、学習 8%、上映 0% となっている。上映機能の空間

で実施される活動については1つのみであり、これは北海道近代美術館における映写室での活動である。前章で示したように、劇場の活動の量においてジャンル別には音楽に次いで映画が多いことを鑑みるならば、上映の機能は集会機能などの他の機能の空間に移行、若しくは統合されたと推察される。先に上映機能の一般化に伴い、空間の名称に上映機能を冠さなくなっているとの考察を行ったが、それがここで裏付けられる。この点については次節においてさらに検証する。

次に劇場的活動をその行われる空間の形式分類との対応からみると、iにおけるものが41%と最も高く、次いでivで29%、iiiで21%、iiで6%、vで2%となっている。

形式iの空間において活動数、1つの空間当たりの活動数が多いのは、それが最も劇場性の強い形式であることから自然な結果といえる。それに対して、iv、iiiのような劇場性が強いとは言えない形式の空間で実施される活動が併せて全体の過半数を占めることについては注目に値する。特にiv形式の空間は動線空間を軸とするものであることから、一般的に鑑賞面において好条件を望めないのである。

次に特徴的な施設についてみていく。まず劇場的活動数が100を超える施設として北海道立三岸好太郎美術館を除く青森県美術館、世田谷美術館、金沢21世紀美術館、兵庫県立美術館、長崎県美術館の5施設である。それら全てにおいて劇場的空間数が5以上あり、劇場的活動についてもジャンル、形式共に多岐にわたっている(前章)。そして劇場的活動を積極的に位置付けていると捉えられた施設でもある。劇場的活動の充実度に即した空間を備えている施設群といえよう。

続いて、北海道立三岸好太郎美術館、静岡県立美術館を取り上げる。前者は展示機能、iii形式の空間である展示室で実施される劇場的活動、後者は展示機能、iv形式の空間であるロダン館で行われている劇場的活動に特徴が見られる。それらの活動は全て単一の空間で実施されること、全ての活動のジャンルが音楽、形式は上演型であったこと(前章)において共通する。また料金の形態について「展示観覧料を有料、活動観覧料を無料であるもの」に前者においては93%、後者に至っては全ての活動が該当した。これらのことから、両施設における劇場的活動は展示と関連した音楽の上演に特化されていることが考えられる。

次に空間の機能、形式ごとの劇場的空間数と劇場的活動数についてみる。表18に両者の関係性をまとめたものを示す。

表18 空間の機能、形式ごとの劇場的空間数と劇場的活動数

空間の機能	空間の形式									
	i	ii	iii	iv	v	合計				
展示	12	12	12	12	12	60	12	12	12	12
学習	12	12	12	12	12	60	12	12	12	12
上映	12	12	12	12	12	60	12	12	12	12
創作	12	12	12	12	12	60	12	12	12	12
集会	12	12	12	12	12	60	12	12	12	12
その他	12	12	12	12	12	60	12	12	12	12
合計	12	12	12	12	12	60	12	12	12	12

形式iiiの空間群については機能に関する全分類を網羅している。同様に集会機能の空間群について形式の全分類と対応している。

機能と形式の組み合わせにおいて劇場的空間数が最も多いのは展示機能のiii形式の15空間(活動数は189)と、集会機能のiv形式の15空間(活動数513)となっている。こ

表17 各施設、劇場的空間における劇場的活動

番号	施設名称	劇場 の活動 数(回)	(R) 記載 数(a)	観客 数(b)	劇場 の活動 数(c)	劇場 の活動 数(d)	劇場の活動の数										劇場 の活動 数(e)	(R) 記載 数(f)	観客 数(g)	劇場 の活動 数(h)	劇場 の活動 数(i)	劇場 の活動 数(j)	劇場 の活動 数(k)	劇場 の活動 数(l)	劇場 の活動 数(m)	劇場 の活動 数(n)	劇場 の活動 数(o)	劇場 の活動 数(p)	劇場 の活動 数(q)	劇場 の活動 数(r)	劇場 の活動 数(s)	劇場 の活動 数(t)	劇場 の活動 数(u)	劇場 の活動 数(v)	劇場 の活動 数(w)	劇場 の活動 数(x)	劇場 の活動 数(y)	劇場 の活動 数(z)	劇場 の活動 数(aa)	劇場 の活動 数(ab)	劇場 の活動 数(ac)	劇場 の活動 数(ad)	劇場 の活動 数(ae)	劇場 の活動 数(af)	劇場 の活動 数(ag)	劇場 の活動 数(ah)	劇場 の活動 数(ai)	劇場 の活動 数(aj)	劇場 の活動 数(ak)	劇場 の活動 数(al)	劇場 の活動 数(am)	劇場 の活動 数(an)	劇場 の活動 数(ao)	劇場 の活動 数(ap)	劇場 の活動 数(aq)	劇場 の活動 数(ar)	劇場 の活動 数(as)	劇場 の活動 数(at)	劇場 の活動 数(au)	劇場 の活動 数(av)	劇場 の活動 数(aw)	劇場 の活動 数(ax)	劇場 の活動 数(ay)	劇場 の活動 数(az)	劇場 の活動 数(ba)	劇場 の活動 数(bb)	劇場 の活動 数(bc)	劇場 の活動 数(bd)	劇場 の活動 数(be)	劇場 の活動 数(bf)	劇場 の活動 数(bg)	劇場 の活動 数(bh)	劇場 の活動 数(bi)	劇場 の活動 数(bj)	劇場 の活動 数(bk)	劇場 の活動 数(bl)	劇場 の活動 数(bm)	劇場 の活動 数(bn)	劇場 の活動 数(bo)	劇場 の活動 数(bp)	劇場 の活動 数(bq)	劇場 の活動 数(br)	劇場 の活動 数(bs)	劇場 の活動 数(bt)	劇場 の活動 数(bu)	劇場 の活動 数(bv)	劇場 の活動 数(bw)	劇場 の活動 数(bx)	劇場 の活動 数(by)	劇場 の活動 数(bz)	劇場 の活動 数(ca)	劇場 の活動 数(cb)	劇場 の活動 数(cc)	劇場 の活動 数(cd)	劇場 の活動 数(ce)	劇場 の活動 数(cf)	劇場 の活動 数(cg)	劇場 の活動 数(ch)	劇場 の活動 数(ci)	劇場 の活動 数(cj)	劇場 の活動 数(ck)	劇場 の活動 数(cl)	劇場 の活動 数(cm)	劇場 の活動 数(cn)	劇場 の活動 数(co)	劇場 の活動 数(cp)	劇場 の活動 数(cq)	劇場 の活動 数(cr)	劇場 の活動 数(cs)	劇場 の活動 数(ct)	劇場 の活動 数(cu)	劇場 の活動 数(cv)	劇場 の活動 数(cw)	劇場 の活動 数(cx)	劇場 の活動 数(cy)	劇場 の活動 数(cz)	劇場 の活動 数(da)	劇場 の活動 数(db)	劇場 の活動 数(dc)	劇場 の活動 数(dd)	劇場 の活動 数(de)	劇場 の活動 数(df)	劇場 の活動 数(dg)	劇場 の活動 数(dh)	劇場 の活動 数(di)	劇場 の活動 数(dj)	劇場 の活動 数(dk)	劇場 の活動 数(dl)	劇場 の活動 数(dm)	劇場 の活動 数(dn)	劇場 の活動 数(do)	劇場 の活動 数(dp)	劇場 の活動 数(dq)	劇場 の活動 数(dr)	劇場 の活動 数(ds)	劇場 の活動 数(dt)	劇場 の活動 数(du)	劇場 の活動 数(dv)	劇場 の活動 数(dw)	劇場 の活動 数(dx)	劇場 の活動 数(dy)	劇場 の活動 数(dz)	劇場 の活動 数(ea)	劇場 の活動 数(eb)	劇場 の活動 数(ec)	劇場 の活動 数(ed)	劇場 の活動 数(ee)	劇場 の活動 数(ef)	劇場 の活動 数(eg)	劇場 の活動 数(eh)	劇場 の活動 数(ei)	劇場 の活動 数(ej)	劇場 の活動 数(ek)	劇場 の活動 数(el)	劇場 の活動 数(em)	劇場 の活動 数(en)	劇場 の活動 数(eo)	劇場 の活動 数(ep)	劇場 の活動 数(eq)	劇場 の活動 数(er)	劇場 の活動 数(es)	劇場 の活動 数(et)	劇場 の活動 数(eu)	劇場 の活動 数(ev)	劇場 の活動 数(ew)	劇場 の活動 数(ex)	劇場 の活動 数(ey)	劇場 の活動 数(ez)	劇場 の活動 数(fa)	劇場 の活動 数(fb)	劇場 の活動 数(fc)	劇場 の活動 数(fd)	劇場 の活動 数(fe)	劇場 の活動 数(ff)	劇場 の活動 数(fg)	劇場 の活動 数(fh)	劇場 の活動 数(fi)	劇場 の活動 数(fj)	劇場 の活動 数(fk)	劇場 の活動 数(fl)	劇場 の活動 数(fm)	劇場 の活動 数(fn)	劇場 の活動 数(fo)	劇場 の活動 数(fp)	劇場 の活動 数(fq)	劇場 の活動 数(fr)	劇場 の活動 数(fs)	劇場 の活動 数(ft)	劇場 の活動 数(fu)	劇場 の活動 数(fv)	劇場 の活動 数(fw)	劇場 の活動 数(fx)	劇場 の活動 数(fy)	劇場 の活動 数(fz)	劇場 の活動 数(ga)	劇場 の活動 数(gb)	劇場 の活動 数(gc)	劇場 の活動 数(gd)	劇場 の活動 数(ge)	劇場 の活動 数(gf)	劇場 の活動 数(gg)	劇場 の活動 数(gh)	劇場 の活動 数(gi)	劇場 の活動 数(gj)	劇場 の活動 数(gk)	劇場 の活動 数(gl)	劇場 の活動 数(gm)	劇場 の活動 数(gn)	劇場 の活動 数(go)	劇場 の活動 数(gp)	劇場 の活動 数(gq)	劇場 の活動 数(gr)	劇場 の活動 数(gs)	劇場 の活動 数(gt)	劇場 の活動 数(gu)	劇場 の活動 数(gv)	劇場 の活動 数(gw)	劇場 の活動 数(gx)	劇場 の活動 数(gy)	劇場 の活動 数(gz)	劇場 の活動 数(ha)	劇場 の活動 数(hb)	劇場 の活動 数(hc)	劇場 の活動 数(hd)	劇場 の活動 数(he)	劇場 の活動 数(hf)	劇場 の活動 数(hg)	劇場 の活動 数(hh)	劇場 の活動 数(hi)	劇場 の活動 数(hj)	劇場 の活動 数(hk)	劇場 の活動 数(hl)	劇場 の活動 数(hm)	劇場 の活動 数(hn)	劇場 の活動 数(ho)	劇場 の活動 数(hp)	劇場 の活動 数(hq)	劇場 の活動 数(hr)	劇場 の活動 数(hs)	劇場 の活動 数(ht)	劇場 の活動 数(hu)	劇場 の活動 数(hv)	劇場 の活動 数(hw)	劇場 の活動 数(hx)	劇場 の活動 数(hy)	劇場 の活動 数(hz)	劇場 の活動 数(ia)	劇場 の活動 数(ib)	劇場 の活動 数(ic)	劇場 の活動 数(id)	劇場 の活動 数(ie)	劇場 の活動 数(if)	劇場 の活動 数(ig)	劇場 の活動 数(ih)	劇場 の活動 数(ii)	劇場 の活動 数(ij)	劇場 の活動 数(ik)	劇場 の活動 数(il)	劇場 の活動 数(im)	劇場 の活動 数(in)	劇場 の活動 数(io)	劇場 の活動 数(ip)	劇場 の活動 数(iq)	劇場 の活動 数(ir)	劇場 の活動 数(is)	劇場 の活動 数(it)	劇場 の活動 数(iu)	劇場 の活動 数(iv)	劇場 の活動 数(iw)	劇場 の活動 数(ix)	劇場 の活動 数(iy)	劇場 の活動 数(iz)	劇場 の活動 数(ja)	劇場 の活動 数(jb)	劇場 の活動 数(jc)	劇場 の活動 数(jd)	劇場 の活動 数(je)	劇場 の活動 数(jf)	劇場 の活動 数(jg)	劇場 の活動 数(jh)	劇場 の活動 数(ji)	劇場 の活動 数(jj)	劇場 の活動 数(jk)	劇場 の活動 数(jl)	劇場 の活動 数(jm)	劇場 の活動 数(jn)	劇場 の活動 数(jo)	劇場 の活動 数(jp)	劇場 の活動 数(jq)	劇場 の活動 数(jr)	劇場 の活動 数(js)	劇場 の活動 数(jt)	劇場 の活動 数(ju)	劇場 の活動 数(jv)	劇場 の活動 数(jw)	劇場 の活動 数(jx)	劇場 の活動 数(jy)	劇場 の活動 数(jz)	劇場 の活動 数(ka)	劇場 の活動 数(kb)	劇場 の活動 数(kc)	劇場 の活動 数(kd)	劇場 の活動 数(ke)	劇場 の活動 数(kf)	劇場 の活動 数(kg)	劇場 の活動 数(kh)	劇場 の活動 数(ki)	劇場 の活動 数(kj)	劇場 の活動 数(kk)	劇場 の活動 数(kl)	劇場 の活動 数(km)	劇場 の活動 数(kn)	劇場 の活動 数(ko)	劇場 の活動 数(kp)	劇場 の活動 数(kq)	劇場 の活動 数(kr)	劇場 の活動 数(ks)	劇場 の活動 数(kt)	劇場 の活動 数(ku)	劇場 の活動 数(kv)	劇場 の活動 数(kw)	劇場 の活動 数(kx)	劇場 の活動 数(ky)	劇場 の活動 数(kz)	劇場 の活動 数(la)	劇場 の活動 数(lb)	劇場 の活動 数(lc)	劇場 の活動 数(ld)	劇場 の活動 数(le)	劇場 の活動 数(lf)	劇場 の活動 数(lg)	劇場 の活動 数(lh)	劇場 の活動 数(li)	劇場 の活動 数(lj)	劇場 の活動 数(lk)	劇場 の活動 数(ll)	劇場 の活動 数(lm)	劇場 の活動 数(ln)	劇場 の活動 数(lo)	劇場 の活動 数(lp)	劇場 の活動 数(lq)	劇場 の活動 数(lr)	劇場 の活動 数(ls)	劇場 の活動 数(lt)	劇場 の活動 数(lu)	劇場 の活動 数(lv)	劇場 の活動 数(lw)	劇場 の活動 数(lx)	劇場 の活動 数(ly)	劇場 の活動 数(lz)	劇場 の活動 数(ma)	劇場 の活動 数(mb)	劇場 の活動 数(mc)	劇場 の活動 数(md)	劇場 の活動 数(me)	劇場 の活動 数(mf)	劇場 の活動 数(mg)	劇場 の活動 数(mh)	劇場 の活動 数(mi)	劇場 の活動 数(mj)	劇場 の活動 数(mk)	劇場 の活動 数(ml)	劇場 の活動 数(mn)	劇場 の活動 数(mo)	劇場 の活動 数(mp)	劇場 の活動 数(mq)	劇場 の活動 数(mr)	劇場 の活動 数(ms)	劇場 の活動 数(mt)	劇場 の活動 数(mu)	劇場 の活動 数(mv)	劇場 の活動 数(mw)	劇場 の活動 数(mx)	劇場 の活動 数(my)	劇場 の活動 数(mz)	劇場 の活動 数(na)	劇場 の活動 数(nb)	劇場 の活動 数(nc)	劇場 の活動 数(nd)	劇場 の活動 数(ne)	劇場 の活動 数(nf)	劇場 の活動 数(ng)	劇場 の活動 数(nh)	劇場 の活動 数(ni)	劇場 の活動 数(nj)	劇場 の活動 数(nk)	劇場 の活動 数(nl)	劇場 の活動 数(nm)	劇場 の活動 数(nn)	劇場 の活動 数(no)	劇場 の活動 数(np)	劇場 の活動 数(nq)	劇場 の活動 数(nr)	劇場 の活動 数(ns)	劇場 の活動 数(nt)	劇場 の活動 数(nu)	劇場 の活動 数(nv)	劇場 の活動 数(nw)	劇場 の活動 数(nx)	劇場 の活動 数(ny)	劇場 の活動 数(nz)	劇場 の活動 数(oa)	劇場 の活動 数(ob)	劇場 の活動 数(oc)	劇場 の活動 数(od)	劇場 の活動 数(oe)	劇場 の活動 数(of)	劇場 の活動 数(og)	劇場 の活動 数(oh)	劇場 の活動 数(oi)	劇場 の活動 数(oj)	劇場 の活動 数(ok)	劇場 の活動 数(ol)	劇場 の活動 数(om)	劇場 の活動 数(on)	劇場 の活動 数(oo)	劇場 の活動 数(op)	劇場 の活動 数(oq)	劇場 の活動 数(or)	劇場 の活動 数(os)	劇場 の活動 数(ot)	劇場 の活動 数(ou)	劇場 の活動 数(ov)	劇場 の活動 数(ow)	劇場 の活動 数(ox)	劇場 の活動 数(oy)	劇場 の活動 数(oz)	劇場 の活動 数(pa)	劇場 の活動 数(pb)	劇場 の活動 数(pc)	劇場 の活動 数(pd)	劇場 の活動 数(pe)	劇場 の活動 数(pf)	劇場 の活動 数(pg)	劇場 の活動 数(ph)	劇場 の活動 数(pi)	劇場 の活動 数(pj)	劇場 の活動 数(pk)	劇場 の活動 数(pl)	劇場 の活動 数(pm)	劇場 の活動 数(pn)	劇場 の活動 数(po)	劇場 の活動 数(pp)	劇場 の活動 数(pq)	劇場 の活動 数(pr)	劇場 の活動 数(ps)	劇場 の活動 数(pt)	劇場 の活動 数(pu)	劇場 の活動 数(pv)	劇場 の活動 数(pw)	劇場 の活動 数(px)	劇場 の活動 数(py)	劇場 の活動 数(pz)	劇場 の活動 数(qa)	劇場 の活動 数(qb)	劇場 の活動 数(qc)	劇場 の活動 数(qd)	劇場 の活動 数(qe)	劇場 の活動 数(qf)	劇場 の活動 数(qg)	劇場 の活動 数(qh)	劇場 の活動 数(qi)	劇場 の活動 数(qj)	劇場 の活動 数(qk)	劇場 の活動 数(ql)	劇場 の活動 数(qm)	劇場 の活動 数(qn)	劇場 の活動 数(qo)	劇場 の活動 数(qp)	劇場 の活動 数(qq)	劇場 の活動 数(qr)	劇場 の活動 数(qs)	劇場 の活動 数(qt)	劇場 の活動 数(qu)	劇場 の活動 数(qv)	劇場 の活動 数(qw)	劇場 の活動 数(qx)	劇場 の活動 数(qy)	劇場 の活動 数(qz)	劇場 の活動 数(ra)	劇場 の活動 数(rb)	劇場 の活動 数(rc)	劇場 の活動 数(rd)	劇場 の活動 数(re)	劇場 の活動 数(rf)	劇場 の活動 数(rg)	劇場 の活動 数(rh)	劇場 の活動 数(ri)	劇場 の活動 数(rj)	劇場 の活動 数(rk)	劇場 の活動 数(rl)	劇場 の活動 数(rm)	劇場 の活動 数(rn)	劇場 の活動 数(ro)	劇場 の活動 数(rp)	劇場 の活動 数(rq)	劇場 の活動 数(rr)	劇場 の活動 数(rs)	劇場 の活動 数(rt)	劇場 の活動 数(ru)	劇場 の活動 数(rv)	劇場 の活動 数(rw)	劇場 の活動 数(rx)	劇場 の活動 数(ry)	劇場 の活動 数(rz)	劇場 の活動 数(sa)	劇場 の活動 数(sb)	劇場 の活動 数(sc)	劇場 の活動 数(sd)	劇場 の活動 数(se)	劇場 の活動 数(sf)	劇場 の活動 数(sg)	劇場 の活動 数(sh)	劇場 の活動 数(si)	劇場 の活動 数(sj)	劇場 の活動 数(sk)	劇場 の活動 数(sl)	劇場 の活動 数(sm)	劇場 の活動 数(sn)	劇場 の活動 数(so)	劇場 の活動 数(sp)	劇場 の活動 数(sq)	劇場 の活動 数(sr)	劇場 の活動 数(ss)	劇場 の活動 数(st)	劇場 の活動 数(su)	劇場 の活動 数(sv)	劇場 の活動 数(sw)	劇場 の活動 数(sx)	劇場 の活動 数(sy)	劇場 の活動 数(sz)	劇場 の活動 数(ta)	劇場 の活動 数(tb)	劇場 の活動 数(tc)	劇場 の活動 数(td)	劇場 の活動 数(te)	劇場 の活動 数(tf)	劇場 の活動 数(tg)	劇場 の活動 数(th)	劇場 の活動 数(ti)	劇場 の活動 数(tj)	劇場 の活動 数(tk)	劇場 の活動 数(tl)	劇場 の活動 数(tm)	劇場 の活動 数(tn)	劇場 の活動 数(to)	劇場 の活動 数(tp)	劇場 の活動 数(tq)	劇場 の活動 数(tr)	劇場 の活動 数(ts)	劇場 の活動 数(tt)	劇場 の活動 数(tu)	劇場 の活動 数(tv)	劇場 の活動 数(tw)	劇場 の活動 数(tx)	劇場 の活動 数(ty)	劇場 の活動 数(tz)	劇場 の活動 数(ua)	劇場 の活動 数(ub)	劇場 の活動 数(uc)	劇場 の活動 数(ud)	劇場 の活動 数(ue)	劇場 の活動 数(uf)	劇場 の活動 数(ug)	劇場 の活動 数(uh)	劇場 の活動 数(ui)	劇場 の活動 数(uj)	劇場 の活動 数(uk)	劇場 の活動 数(ul)	劇場 の活動 数(um)	劇場 の活動 数(un)	劇場 の活動 数(uo)	劇場 の活動 数(up)	劇場 の活動 数(uq)	劇場 の活動 数(ur)	劇場 の活動 数(us)	劇場 の活動 数(ut)	劇場 の活動 数(uy)	劇場 の活動 数(uz)	劇場 の活動 数(va)	劇場 の活動 数(vb)	劇場 の活動 数(vc)	劇場 の活動 数(vd)	劇場 の活動 数(ve)	劇場 の活動 数(vf)	劇場 の活動 数(vg)	劇場 の活動 数(vh)	劇場 の活動 数(vi)	劇場 の活動 数(vj)	劇場 の活動 数(vk)	劇場 の活動 数(vl)	劇場 の活動 数(vm)	劇場 の活動 数(vn)	劇場 の活動 数(vo)	劇場 の活動 数(vp)	劇場 の活動 数(vq)	劇場 の活動 数(vr)	劇場 の活動 数(vs)	劇場 の活動 数(vt)	劇場 の活動 数(vu)	劇場 の活動 数(vv)	劇場 の活動 数(vw)	劇場 の活動 数(vx)	劇場 の活動 数(vy)	劇場 の活動 数(vz)	劇場 の活動 数(wa)	劇場 の活動 数(wb)	劇場 の活動 数(wc)	劇場 の活動 数(wd)	劇場 の活動 数(we)	劇場 の活動 数(wf)	劇場 の活動 数(wg)	劇場 の活動 数(wh)	劇場 の活動 数(wi)	劇場 の活動 数(wj)	劇場 の活動 数(wk)	劇場 の活動 数(wl)	劇場 の活動 数(wm)	劇場 の活動 数(wn)	劇場 の活動 数(wo)	劇場 の活動 数(wp)	劇場 の活動 数(wq)	劇場 の活動 数(wr)	劇場 の活動 数(ws)	劇場 の活動 数(wt)	劇場 の活動 数(wu)	劇場 の活動 数(wv)	劇場 の活動 数(wx)	劇場 の活動 数(wy)	劇場 の活動 数(wz)	劇場 の活動 数(xa)	劇場 の活動 数(xb)	劇場 の活動 数(xc)	劇場 の活動 数(xd)	劇場 の活動 数(xe)	劇場 の活動 数(xf)	劇場 の活動 数(xg)	劇場 の活動 数(xh)	劇場 の活動 数(xi)	劇場 の活動 数(xj)	劇場 の活動 数(xk)	劇場 の活動 数(xl)	劇場 の活動 数(xm)	劇場 の活動 数(xn)	劇場 の活動 数(xo)	劇場 の活動 数(xp)	劇場 の活動 数(xq)	劇場 の活動 数(xr)	劇場 の活動 数(xs)	劇場 の活動 数(xt)	劇場 の活動 数(xu)	劇場 の活動 数(xv)	劇場 の活動 数(xw)	劇場 の活動 数(xx)	劇場 の活動 数(xy)	劇場 の活動 数(xz)	劇場 の活動 数(ya)	劇場 の活動 数(yb)	劇場 の活動 数(yc)	劇場 の活動 数(yd)	劇場 の活動 数(ye)	劇場 の活動 数(yf)	劇場 の活動 数(yg)	劇場 の活動 数(yh)	劇場 の活動 数(yi)	劇場 の活動 数(yj)	劇場 の活動 数(yk)	劇場 の活動 数(yl)	劇場 の活動 数(ym)	劇場 の活動 数(yn)	劇場 の活動 数(yo)	劇場 の活動 数(yp)	劇場 の活動 数(yq)	劇場 の活動 数(yr)	劇場 の活動 数(ys)	劇場 の活動 数(yt)	劇場 の活動 数(yu)	劇場 の活動 数(yv)	劇場 の活動 数(yw)	劇場 の活動 数(yx)	劇場 の活動 数(yy)	劇場 の活動 数(yz)	劇場 の活動 数(za)	劇場 の活動 数(zb)	劇場 の活動 数(zc)	劇場 の活動 数(zd)	劇場 の活動 数(ze)	劇場 の活動 数(zf)	劇場 の活動 数(zg)	劇場 の活動 数(zh)	劇場 の活動 数(zi)	劇場 の活動 数(zj)	劇場 の活動 数(zk)	劇場 の活動 数(zl)	劇場 の活動 数(zm)	劇場 の活動 数(zn)	劇場 の活動 数(zo)	劇場 の活動 数(zp)	劇場 の活動 数(zq)	劇場 の活動 数(zr)	劇場 の活動 数(zs)	劇場 の活動 数(zt)	劇場 の活動 数(zu)	劇場 の活動 数(zv)	劇場 の活動 数(zw)	劇場 の活動 数(zx)	劇場 の活動 数(zy)	劇場 の活動 数(zz)	
							展示	学習	上映	制作	集会	その他	合計	展示	学習	上映																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					制作

表 23 劇場的空間の機能と劇場的活動の実施時間と施設閉館時刻

劇場的活動 の実施時間 と閉館時刻	(※)記 載数 (a)	閉館時刻以前に開始								閉館時刻以後 に開始	
		閉館時刻以前 に終了		閉館時刻以後 に終了		終了時刻記入 なし(※)					
		数(b)	割合 (b/a)	数(b)	割合 (b/a)	数(b)	割合 (b/a)	数(b)	割合 (b/a)	数(b)	割合 (b/a)
空間の形式											
合計	1411	1271	90%	881	62%	26	2%	364	26%	140	10%
i	425	331	78%	243	57%	8	2%	80	19%	94	22%
ii	114	113	99%	55	48%	3	3%	55	48%	1	1%
iii	346	335	97%	186	54%	12	3%	137	40%	11	3%
iv	500	472	94%	389	78%	2	0%	81	16%	28	6%
v	26	20	77%	8	31%	1	4%	11	42%	6	23%

(※) 公式HPIに実施時刻(開始・終了時刻)、会場空間について記載されているものをそれぞれ対象とする。
また金沢21世紀美術館の閉館時刻はエリアごとに設定されているため対象外とする。

まず動線空間を軸とするiv形式の空間では閉館時間以後の活動が28あるが、同形式の空間はエントランスホールなど出入口に面した空間が含まれるため、他の空間を閉館した後も出入りできることが考えられる。屋外空間であるv形式の空間も同様であるが、舞台と客席を有する劇場性の強いi形式の空間でも動線分離が考慮されているものと推察される。

4-5 劇場的空間と料金の相関性

次に劇場的空間と料金の相関性をみる。劇場的活動の料金タイプについては前章で示したように4パターンであり、劇場的空間の機能・形式ごとに料金パターンの区分を示したものをそれぞれ表24、表25に記し、特徴的なものについて言及する。

表 24 劇場的活動の料金と空間の機能の関係

劇場活動 の料金 空間の 機能	(※)記 載数 (a)	タイプ1		タイプ2		タイプ3		タイプ4	
		数(b)	割合 (b/a)	数(b)	割合 (a/b)	数(b)	割合 (a/b)	数(b)	割合 (a/b)
合計	1824	935	51%	224	12%	521	29%	244	13%
展示	225	30	13%	180	80%	13	6%	2	1%
上演	141	69	49%	6	4%	35	25%	11	8%
上映	1	1	100%						
創作	181	95	53%	3	2%	52	29%	31	17%
集金	1300	739	57%	35	3%	481	37%	11	1%

タイプ1…劇場的活動観覧料は不要で、展示観覧料も不要
タイプ2…劇場的活動観覧料は不要で、展示観覧料が必要
タイプ3…劇場的活動観覧料が必要で、展示観覧料が不要
タイプ4…劇場的活動観覧料が必要で、展示観覧料も必要

(※) 記載数…公式中に会場空間と料金についての記述があるもの

表 25 劇場的活動の料金と空間の形式の関係

劇場活動 の料金 空間の 形式	(※)記 載数 (a)	タイプ1		タイプ2		タイプ3		タイプ4	
		数(b)	割合 (b/a)	数(b)	割合 (a/b)	数(b)	割合 (a/b)	数(b)	割合 (a/b)
合計	1824	935	51%	224	12%	521	29%	244	13%
i	756	269	36%	23	4%	463	61%	7	1%
ii	111	74	67%			26	23%	11	10%
iii	367	141	38%	140	38%	20	5%	2	1%
iv	544	423	78%	42	8%	13	2%	4	1%
v	44	29	66%	1	2%	14	32%		

まず劇場的空間の機能について見るが、料金タイプ1の全体合計に占める割合は55%であるが展示機能の空間では13%と他の機能の空間での活動と比較しても極端に少なく、逆に料金タイプ2では全体合計に占める割合は12%の中、展示機能の空間では80%と他の機能での空間での割合とも比較すると高くなっている。展示機能の空間は展示を享受するための空間であるため展示観覧料のみが設定されていて、ギャラリー等無料開放する空間も含まれているものと考えられる。次に空間の形式に関してみると、料金タイプ1の活動は全体合計に占める割合は55%であるが、i形式の空間では35%と他の形式と空間と比較しても占める割合は少ない。逆に料金タイプ3の活動は全体合計に占める割合は32%であるが、i形式の空間では60%で過半数を占める。ここからi形式の空間が劇場的活動の為に設置された空間であることが伺える。

4-6 まとめ

本章での研究結果を以下にまとめる。

①劇場的活動の実施の数は客席と奥行き3間以上の舞台を有す形式の空間に次いで動線空間が多い。②上演機能の空間は1だけであり、活動も1のみ。③青森県美術館、世田

谷美術館、金沢21世紀美術館、兵庫県立美術館、長崎県美術館は多岐にわたるジャンルの活動が上演され、WSも開催されているが、会場空間の種類も豊富であり、劇場的活動の充実度に即した空間を備えている④北海道立三好太郎美術館、静岡県立美術館で行われる劇場的活動はほぼ全て音楽上演であり、展示観覧料が必要、活動観覧料は不要であり、単一の展示空間を会場としている。⑤展示機能、創作機能の空間、動線形式の空間で実施される活動のほとんどが音楽上演。⑥展示機能、動線形式の空間では劇場的活動の平均実施時間が短い。⑦屋外空間、客席と奥行き3間以上の舞台を有す形式の空間では劇場的活動の平均実施時間が長い。⑧閉館時間以降の活動は客席と奥行き3間以上の舞台を有す形式の空間で多く実施されており、動線空間でも数は多くはないが実施されている。⑨展示機能の空間で実施されている活動のほとんどは展示のための観覧料のみで観覧可能である。⑩客席と奥行き3間以上の舞台を有す形式の空間で実施される劇場的活動は、展示のための観覧料ではなく、劇場的活動に対して設定された観覧料を徴収するものが過半数を占める。

5. 金沢21世紀美術館における劇場的空間・活動の特性

劇場的空間・劇場的活動についてみてきたが、その中でも金沢21世紀美術館は劇場性の強い空間を2つ有し、劇場的活動の数は最も多く、多種多様なジャンル、形式、会場空間において実施されており、また、他の施設とは異なり開館時間はエリアごとに設定されていた。本章ではその性質について言及する。まず劇場的活動の開館時間について表26に示す。さらに開館時間の区分と実施される劇場的活動の場所を示したものを図7として記す。

表 26 金沢21世紀美術館における開館時間

施設名	利用時間	閉館時刻区分
市民ギャラリー・シアター21	9:00 ~ 22:00 ※催物により異なる	C
交流ゾーン	9:00 ~ 22:00	
ミュージアムショップ	10:00 ~ 18:30 ※金・土曜日は、20:30まで	
カフェレストラン	10:00 ~ 20:00	B
展覧会ゾーン	10:00 ~ 18:00 ※展覧会チケットの購入は30分前まで (金・土曜日は、20:00まで)	
長期インスタレーションルーム デザインギャラリー アートライブ러리 授乳室・託児室	10:00 ~ 18:00 ※金・土曜日は、20:00まで	
茶室	9:00 ~ 17:00 (一般公開)	A

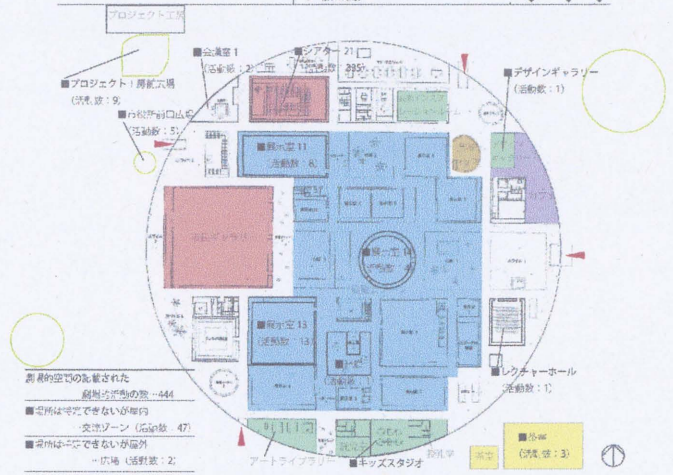


図 7 金沢21世紀美術館における開館時間と劇場的活動の分布

表中に示すように開館時間の区分は A：茶室、交流ゾーン（シアター・ギャラリー）、展示ゾーンの開館時間内、B：交流ゾーン（シアター・ギャラリー等）、展示ゾーンの開館時間内で、茶室は開館時間外、C：交流ゾーン（シアター・ギャラリー等）が開館時間内となる。なお、全てのエリアで開館時間外である 22 時以降に実施される活動は確認されなかった。

図で示すように会場空間の記載がある 444 の劇場的活動のうち 335 という大半がシアター 21 で実施されている。

次に上で示した開館時間の区分した空間ごとに劇場的活動を示したものを表 27 に記す。

表 27 会場空間の時間区分と劇場的活動の実施時間の時間区分の対応

会場空間(使用人数)		劇場空間 劇場座席数 劇場座席数		(A)茶室										(B)交流ゾーン										(C)展示ゾーン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				前中後 前中後		前中後 前中後		前中後 前中後		前中後 前中後		前中後 前中後		前中後 前中後		前中後 前中後		前中後 前中後		前中後 前中後		前中後 前中後		前中後 前中後		前中後 前中後		前中後 前中後		前中後 前中後		前中後 前中後																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
会場空間(使用人数)	劇場空間 劇場座席数 劇場座席数	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後	前中後